

昭和62年1月15日印刷

昭和62年1月20日発行

日本シーリング工業会

シーリング 24

VOL.19.NO.24

JANUARY '87

◆特集◆
外壁化粧防水材と
シーリング材の取合い



「地球って複雑だから困る」

地球の上に建っているすべての建築物は、厳しい自然現象にさらされています。そして、ますます複雑化・高層化する現代建築は、工法そのものも日を追って進歩しています。そこで、カーテンウォール工法、あるいはガラス・サスペンション工法などの建築工法に欠くことのできないのがシリコーン・シーリング材です。

トーレ・シリコーン建築・土木用シーリング材は、建築物のファッション化に役立つことはもちろん、その優れた接着力と耐久性がパネルの伸縮目地やガラスまわりのグレージングに注目をあつめ、耐天候・耐気温・耐地震で、明日の建築物に対応いたします。



信頼と実績でお客様のニーズに応えるトーレ・シリコーンの建築・土木用シーリング材

1成分形 一般用 無酸タイプ
SH780

1成分形 建築・土木用 無酸タイプ
SH790

2成分形 難燃タイプ
SE794

1成分形 中モジュラス
SE786

1成分形 溶剤タイプコーティング材
SE5060

1成分形 一般用 酢酸タイプ
SH781

2成分形 建築・土木用 無酸タイプ
SH792

1成分形 無酸・マスチックタイプ
SE9090

1成分形 速乾タイプ
SE5012

1成分形 溶剤タイプコーティング材
SE5070

1成分形 防カビ・無酸タイプ
SE5010

1成分形 高透明・酢酸タイプ
SE777

1成分形 プラスチック用
SE555

1成分形 流動タイプ
SE5002

2成分形 難燃フォーム
SE1900

1成分形 防カビ・酢酸タイプ
SE5011

1成分形 難燃性・無酸タイプ
SE5003

2成分形 高モジュラス
SE9500

1成分形 水性タイプコーティング材
SE1980

1成分形 溶剤タイプトップコート材
SR2405

◀シリコーンのことならなんでもお気軽にご相談ください▶

シリコーン技術で明日のニーズに応える



トーレ・シリコーン株式会社

本店・営業本部 / 東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館) 千103 TEL.03(246)1641

大阪営業部 TEL.06(376)1251 代表 北陸営業所 TEL.0762(23)1585 代表
名古屋営業部 TEL.052(563)3951 代表 仙台営業所 TEL.022(227)9528 代表
九州営業所 TEL.092(712)6158 代表 東関東営業所 TEL.0436(22)5743 代表
広島営業所 TEL.082(249)7811 代表 北海道営業所 TEL.011(231)5281 代表

主成分カネカMSポリマー®が
 耐久性、耐候性、石材への非汚染性、
 塗装性などの優れた特性を
 バランスよく発揮する
 変成シリコンシーリング材。
 建築界の高度で多様なニーズに対応する
 新時代のシーリング材として、
 幅広い用途で注目を集めています。

▼大正海上火災本社ビル



▲都ホテル大阪

時代が求めた高性能。

変成シリコンシーリング材
 カネカMSポリマー®

超高層ビルからプレハブ住宅まで、
 幅広い用途で大躍進。

鐘淵化学工業株式会社

特殊樹脂三部

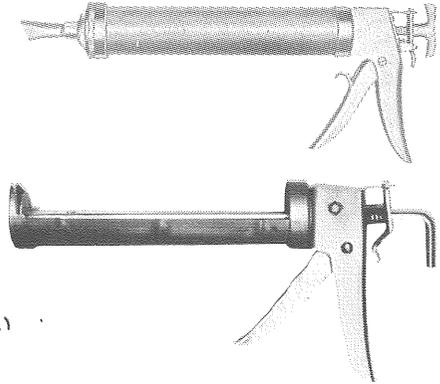
- 本 社 〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
 電話：大阪(06)208-6220(ダイヤルイン)
- 東京支社 〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
 電話：東京(03)405-6063(セクションイン)

コーキングガン カートリッジガン

専門メーカー

創業30余年

- 〈特長〉
- 能率的設計ワンタッチキャップで詰替えが数倍早い
 - 軽量で丈夫、しかも携帯が楽
 - 作業が軽く疲れない
 - 電動式ガン
 - その他特殊注文も承ります



株式会社 菅野製作所

本社工場

代表取締役 菅野 庄一

東京都北区志茂3丁目3番26号
TEL. 03 (903) 3 1 4 0 番
FAX. 03 (903) 5 0 3 0 番
TEL. 03 (961) 1 2 4 6 番(夜間)

歴史と実績—それが信頼をつくります

シーリング業界のリーダー

シーリング材の草分けであるエービーシー商会は、JIS商品の製造販売など常に品質重視の姿勢を貫いてまいりました。

ポリサルファイド系シーリング材

チオコーク®

(JIS認定品)

ウレタン系シーリング材

ABC®ウレタン80

(JIS認定品)

ABC®コーキングウレタン

カートリッジ
(一成分型)

変成シリコン系シーリング材

ABC®変成シリコンM

(二成分型)

シリコン系シーリング材

ABC®シリコンカートリッジ

(一成分型)

ABC商会では、使用目的に応じて各種シーリング材を用意しております。用途に合わせてお選びください。

(株) **ABC** 商 東京都千代田区永田町2-12-14
会 TEL 03 (507) 7 1 1 1 (案内)

NITTO

吹付塗料を汚染 しないニトシールA2000

ニトシールA2000は、耐熱性・耐候性に特にすぐれた2成分形シーリング材です。素材は、イソシアネート基(-NCO)を有する基材成分と官能基を有するアクリルオリゴマーとが反応して得られる新しい「アクリルウレタン系」で、主に金属パネル、PCカーテンウォール、石目地、タイル目地などに適しています

アクリルウレタン系2成分形シーリング材

ニトシールA2000



日東電工

日東電気工業株式会社 東京支店03(295)4441 北関東支店0272(21)1634 名古屋支店052(221)7811 大阪支店06(341)9531 九州支店092(441)5426

FREE HOOP

ミキスタシリーズに頼れる助っ人

ワンタッチ・ロックシステム

フリーフープ 新発売

☆材料缶 **174φ**～**232φ** まで **3** 段切換ノブでフィットします。 (多少の缶径の違いは)
当社フープ径 186φ～229φ～244φ (調整ボルトで可能)

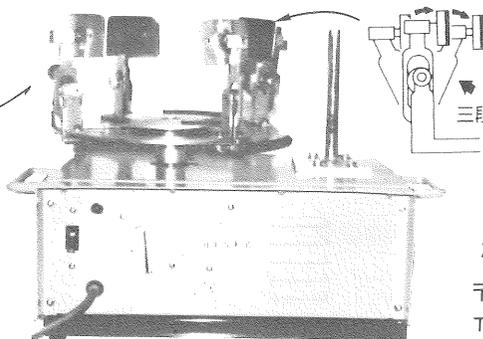
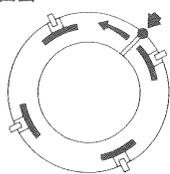
☆缶を確実に安定させる **4** 箇所を押えはワンタッチロックシステムによりハンドルを廻すだけ。

☆当社 **A** 型ミキスタ、**B** 型ミキスタ、真空脱泡ミキスタ **250** 型の機種に使用できます。 <実用新案 申請済>
意匠登録

☆当社の従来フープより軽量です。

フープ単体 ¥38,000

ワンタッチ
ロックハンドル
上面図



三段切換ノブ

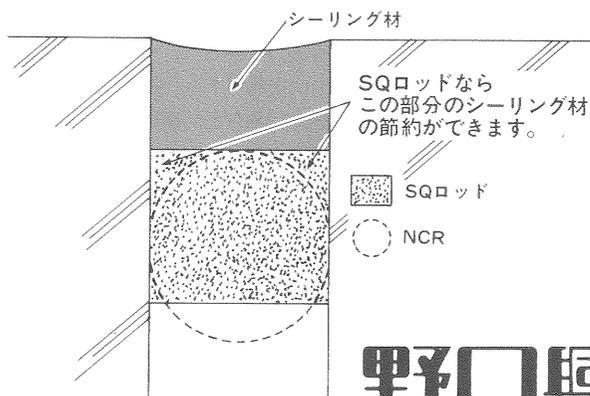
mixter

ミキスタ工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7
TEL. 03(669)9471(代) FAX. 03(667)9337

SQ=角棒×長尺

シーリング材の寸法管理を正確にしたSQ
材料ロスが1割強も防げるバックアップ材です！



日立興産ポリエチレンバックアップ材

ハイエチレン
SQロッド 実用新案申請中

■標準規格

記号	幅(mm)	長さ(m)
NCS 13×10	13 10	180
NCS 18×15	18 15	100

(注) 上記サイズ以外のご注文は別途ご相談ください。

野口興産株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2-10

TEL.03(994)5601 FAX.03(994)1091

コンボンド

BOND CIVIL ENGINEERING SYSTEM

ポリサルファイド系二成分形 建築用シーリング材

ボンドシール#10

その他のシーリング材

A575B
PS-2-9030-A-N
578052

ボンドアクリルコーク … 一成分アクリル系
(JIS商品)

ボンドウレタンコーク … 一成分ウレタン系

ボンドUシール … 二成分ウレタン系
(JIS商品)

ボンド変成シリコンコーク … 一成分変成シリコン系

ボンドMSシール … 二成分変成シリコン系
(JIS商品)

ボンドシリコンコーク … 一成分シリコン系

Kコニシ株式会社 ボンド建設部

本社ボンド部 / 大阪市東区平野町2-10(沢の鶴ビル) 〒541 TEL 06 (228) 2963
東京支店 / 東京都中央区日本橋室町4-1-21(近三ビル) 〒103 TEL 03 (245) 6941
名古屋支店 / 名古屋市中区西区菊井2-6-5 〒451 TEL 052 (563) 6551
福岡支店 / 福岡市南区清水3-24-19 〒815 TEL 092 (551) 1761

営業所

札幌 / TEL 011 (612) 0211

仙台 / TEL 022 (235) 3178

新潟 / TEL 025 (231) 5577

金沢 / TEL 0762 (23) 1565

北関東 / TEL 0285 (25) 2501

静岡 / TEL 0542 (55) 5131

高松 / TEL 0878 (35) 2020

岡山 / TEL 0862 (25) 1961

広島 / TEL 082 (294) 8811

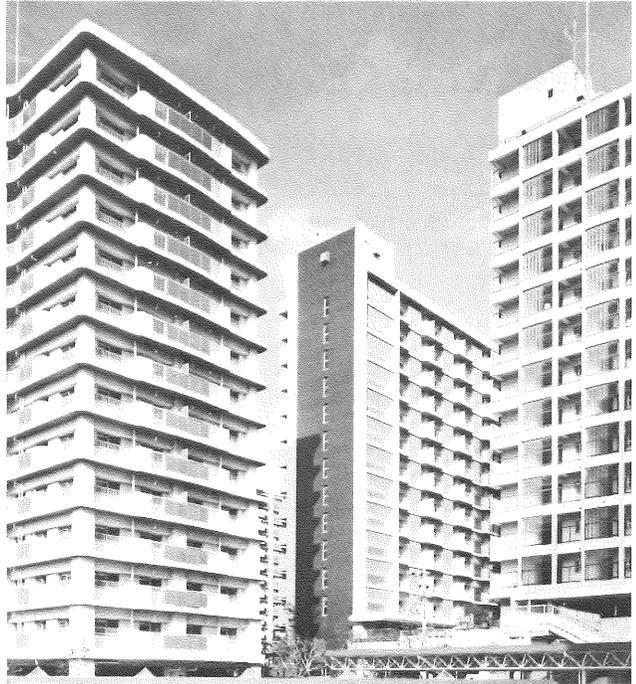
鹿児島 / TEL 0992 (50) 1171

シーリング材のことなら…

セカイチョーシーラー

● 建築・土木用

- セカイチョーシーラーMS
(変成シリコン系 (㊟) JIS A 5758)
- セカイチョーシーラーTH
(ポリサルファイド系 (㊟) JIS A 5758)
- セカイチョーシーラーPU-213
(ポリウレタン系 (㊟) JIS A 5758)
- セカイチョーシーラーU-I
(ポリウレタン系、1成分形)
- セカイチョーシーラーEA
(アクリル系)
- セカイチョーシーラーRB
(ブチルゴム系)
- ケミコーク
(油性コーキング (㊟) JIS A 5751)
- セカイチョーシーラーSI
(シリコン系)
- セカイチョーシーラーV
(ブチルゴム系ひも状)
- セカイチョーシーラーVN
(自己消火性、ひも状)
- セカイチョーシーラーVC
(シールド工法セグメント用、ひも状)
- エバートーン
(クッション性複合シーリング材)



(施工例 大阪府 北緑ヶ丘公園住宅)

● 工業用

- 難燃性シーリング材……弱電機器用、空調機器用
- 熱伝導性シーリング材……弱電機器用、空調機器用
- 断熱性シーリング材……弱電機器用、空調機器用
- その他………車輛用、コンテナ用、太陽温水器用 等

〔その他建築用・工業用関連製品〕

● 防水関連

- マグネトーン(非加硫ブチルゴム系防水・防湿シート：住宅浴室内壁やベランダ、冷凍冷蔵倉庫に)
- ツーバイテープ(非加硫ブチルゴム系複合テープ：住宅サッシ廻り、パネル目地屋根防水に)

● 注入関連

- S.Kグラウトプラグ工法EP-A (エポキシ樹脂の大量注入と圧力タンクによる低圧・低速の自動注入とを連続的に行なう工法)
- スラリーグラウト工法SG-B, SG-D (セメントスラリーの特性に合せた専用注入ガンによる注入工法)



世界長株式会社

化成品事業部
〒663 兵庫県西宮市津門大筒町8-39
TEL 0798 (26) 5724

名古屋：052 (722) 3301
東京：03 (462) 5161
前橋：0272 (23) 5675
仙台：022 (295) 7051
広島：082 (295) 0371
福岡：092 (474) 5582

今こそ信用の重さが問われます！ だから………ボースの建設資材！！

●ウレタン塗膜防水材

ウレボンN&R

ウレボンNはノンタールの露出用シルバー仕上です。ウレボンRは美しい色調のカラー仕上露出工法です。

●加硫型合成ゴムシート

ボンシートK

E.P.TとI.L.Rを主原料とした高性能ゴムシートで耐候性、耐オゾン性、耐摩耗性に富む強力弾性体です。

●ウレタン厚塗用弾性床材

パールフロアー

歩く人が疲れない踏み心地と、生活空間にマッチした美しいデザイン性を持ち機能性も抜群です。

●エポキシ2液型ライニング材

エピール

エポキシ樹脂の特性をフルに活用した防塵用美粧床塗料です。種類も多く多方面に利用されています。

●水溶性防塵床塗料

ボスパワーコート

従来の溶剤タイプには保管上、施工上の注意が多くこれらの難点を一気に解決した水溶性床塗料です。

●セメント強化用混和剤

ベースタック

セメントと混合することによりすぐれた特性を発揮する多目的複合強化ポリマーです。特殊下地調整に。

●I液型ワンタッチ塗膜防水材

ユニボン

●セメント白華防止剤

ボースパックス

●モルタル・コンクリート用防水剤

ボース防水剤

●ポリウレタン系シーラント

ウレボンシール

●住まいを守る撥水剤

ウォーターカット



株式会社 **東京ボース工業社**

詳細は単品カタログを御申込下さい

本社／東京 〒116 東京都荒川区西日暮里2-45-2 ☎03-801-1151
 大阪 〒530 大阪市北区神山町8-20 第二若葉ビル ☎06-313-0148
 仙台 〒983 仙台市東照宮二丁目6-3 ☎0222-34-0023
 春日部 〒344 埼玉県春日部市梅田2-4-28 ☎0487-63-0037

工事のお申付けは

(株)ボース工事センター 〒116 東京都荒川区西日暮里2-31-10 ☎03-891-6693

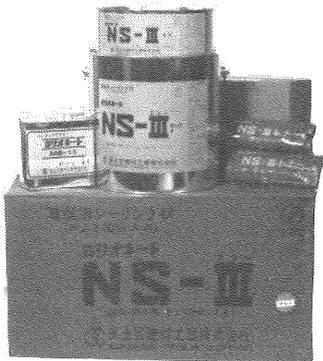
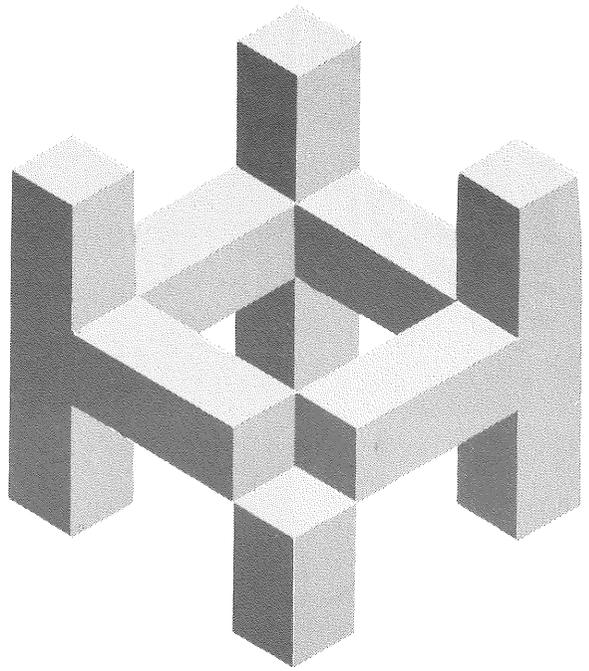
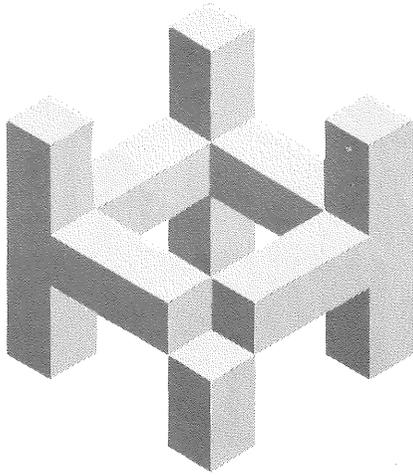
建築用2成分ウレタンシーリング材

ミリオネートNS-Ⅲ スリー

永年の歴史と実績が光る

ミリオネートNS-Ⅲ^{スリー}はウレタン建材の分野で永年の歴史と実績を誇る弊社が開発した常温硬化性2成分ウレタンシーリング材です。

カラートナー方式を採用して作業性を安定させるとともに、耐久性を向上させました。JIS A 5758（耐久性区分8020）認定商品で、接着性、作業性が良く、伸縮、振動、温度変化に対し安定した弾力性を与えます。



 保土谷建材工業株式会社

●本社

〒105 東京都港区浜松町1丁目18番14号 TEL03(437)9471(代)

スパックスビル

●大阪営業所 ☎ 06(203)4651

●名古屋営業所 ☎ 052(231)7225

●札幌出張所 ☎ 011(231)7618

●新南陽出張所 ☎ 0834(63)2584

●福岡出張所 ☎ 092(751)3506

二液チオコールシーラントは
 弊社製品“チオコールLP”を主原料として
 国内主要シーラントメーカー各社で
 製造販売されており
 他の追随をゆるさない豊富な実績で
 絶大なご信頼をいただいております

- 接着性がよい
- 耐久性がよい
- 汚れない・汚さない
- 作業性が抜群

一液 ポリサルファイト チオコール シーラント

豊 確
 か っ
 か っ
 な な
 な な
 実 績
 信 頼

速硬化

- 抜群の作業性
- カビが生えにくい
- 汚れない・汚さない
- ヘラ仕上げが容易

一液 ポリサルファイト チオコール シーラント トブコールS



“トブコールS”は
 従来の“トブコール”の硬化性を大幅に改良した
 新製品シーラントで
 いままでより約2倍の硬化速度を実現しました
 接着性・耐久性・耐カビ性・作業性・耐貯蔵安定性
 など優れた性能をバランスよく備え
 冬場の押し出し性も良好で使い勝手の良いシーラントです

代理店

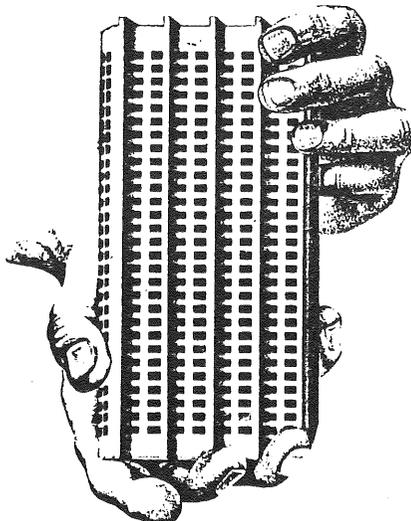
株式会社野村事務所

- 本社営業2部 〒105 東京都港区西新橋1-1-15(物産ビル別館) ☎03(502)1468(代)
- 大阪出張所 〒542 大阪市南区南船場4-12-8(関西心斎橋ビル) ☎06(243)0341(代)

東レチオコール株式会社

- 本社 〒103 東京都中央区日本橋本石町3-3-16 (日本橋室町ビル) ☎(03)241-1845(代表)

■会長挨拶，顧問・日シ工連会長近況報告……………(11)	
◎真価を問われるシーリング事業……………太田 稔	◎もう“娘よ”は唄えない……………小池迪夫
◎米国でのはなし……………加藤正守	◎全国 8 地区協で21世紀へ前進……………山本 勇
■工業会 1 年のあゆみ……………(14)	
■62年を展望する——関連業界動向を中心として……………広報委員会……………(16)	
■技術特集（最近の活動成果など）	
「シーリング材と外壁化粧防水材の取合い」共同研究報告……………技術委員会……………(37)	
サイディング材の現況と課題……………日本乾式防火サイディング協会技術部会……………(48)	
■シーリング雑感「朝，街を歩いて」……………吉本亮三……………(46)	
◇全会員の参画意識高揚にきめ細かい配慮	◇昭和61年度日本シーリング工業会機構表……………(74)
……………総務委員会(51)	◇日本シーリング工業会会員名簿……………(75)
◇成果の普及で研究活動も広範化	◇日本シーリング工事業団体連合会の歩み
……………技術委員会(52)	……………山本 勇(82)
◇材販工運営正常化への足固め	◇日本シーリング工事業団体連合会会員名簿……………(83)
……………調査委員会(53)	◇関連会社，団体一覧……………(91)
◇「シーリング管理士」制度10年を迎えて	◇「シーリング技術管理士」に関する規約……………(94)
……………検定委員会(54)	◇「シーリング管理士」に関する規約……………(95)
◇各地からのたより……………(58)	◇シーリング技術管理士・管理士名簿……………(97)
◇建築用シーリング材参考標準設計価格……………(61)	◇編集後記……………(102)
◇建築用シーリング材市販製品一覧表……………(63)	



建築の革新に応える。

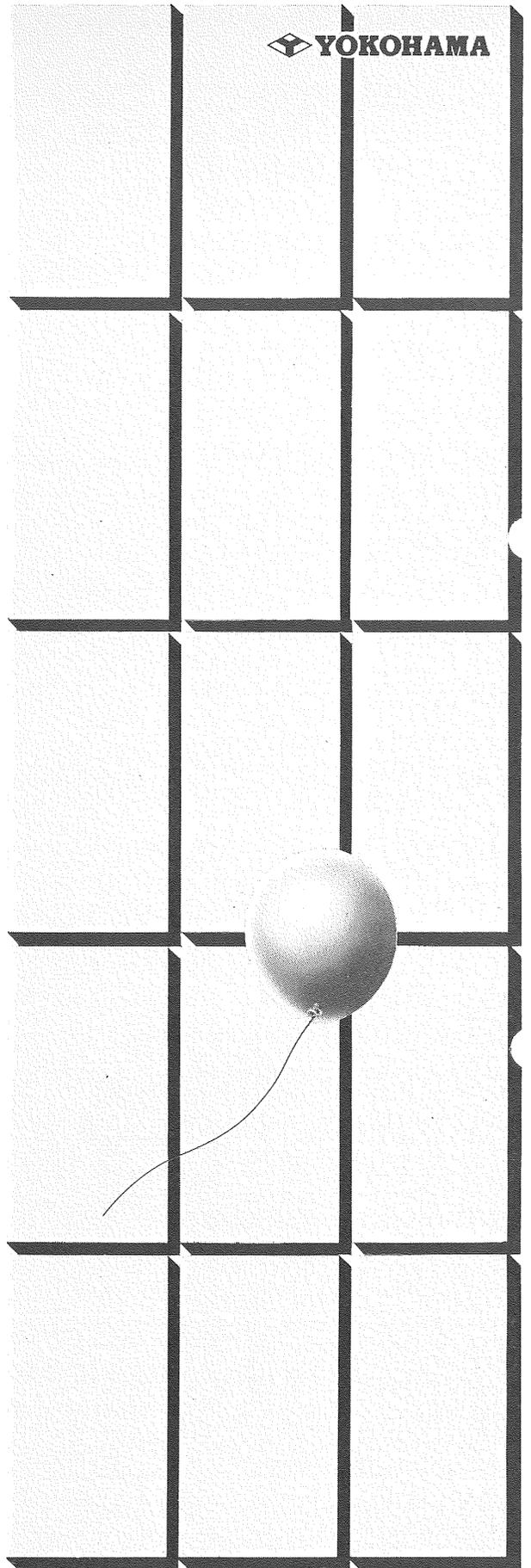
三星シーリング材

ポリサルファイド系シーリング材	一液性建築用変成シリコーン
三星シールPS (㊦)	三星シール変成シリコーンZ
ポリウレタン系シーリング材	プチルゴム系シーリング材
三星シールAU (㊦)	三星シールプチル
水性アクリル系シーリング材	油性系コーキング材
三星シールAC (㊦)	三星コーキン



三星産業株式会社

〒101 東京都千代田区神田小川町3-28 TEL (292) 1961(㊦) FAX 03 (293) 4570
 事務所： 仙台 (62) 5201(㊦) FAX 0222 (64) 3138 ・ 大坂 (443) 9721(㊦) FAX 06 (443) 9720
 出張所： 札幌 (551) 3781(㊦) FAX 011 (551) 5304 ・ 横浜 (261) 5411 FAX 045 (261) 9117
 名古屋 (931) 3390(㊦) FAX 052 (932) 3977 ・ 新潟 (43) 5519(㊦)
 福岡 (781) 3361(㊦) FAX 092 (741) 1737 ・ 長崎 (25) 3266(㊦) FAX 0958 (27) 6825
 連絡所： 富山0766 (68) 1071(㊦) ・ 広島0829 (32) 3937(㊦)



もうひとつの

たとえば、ハマタイト。横浜ゴムのハイテクノロジーの顔です。○建築用弾性シーリング材・ハマタイトは、地震に強い（柔構造）の超高層ビルの建設に欠かせない存在です。建築物の外壁パネルやサッシ、ガラスの継ぎ目に使用し、風雨

顔

から建物の気密性を守っています。○昭和38年に、国産初の弾性シーリング材として登場した横浜ゴムのハマタイトは、以来、新宿の超高層ビルの建設に活躍する一方、中・低層ビルからプレハブ住宅に至るまで、あらゆる建築物に対して、適材適所で、お応えしています。○2成分形シリコン（シリコン70）○2成分形変成シリコン（スーパーII）○2成分形ポリサルファイド（SC1500）○2成分形ポリウレタン（UH30）○1成分形シリコン（SS300）○1成分形変成シリコン（スーパーワン）○1成分形ポリウレタン（シールエース）——いずれも、総合シーリング材メーカー横浜ゴムの、まさにハイテクの顔となっています。

ハマタイト®

ニーズをかたちに
 横浜ゴム株式会社ハマタイト事業部
 神奈川県平塚市中原上宿300 千254 ☎0463(31)300240

真価を問われるシーリング事業

日本シーリング工業会

会長 太田 稔



新春を迎えるに当り、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

建築用シーリング材の出荷動向は、昭和60年には対前年比5%の生産量増加により、

5万トンを超えることができましたが、昨61年は微増もしくは横ばいに止まるものと思われま。年後半からは、内需拡大の趨勢により、やや明るさも出てきましたので、62年度における業界の活性化がみられるものと期待しております。

このように建設業界は、いくらか明るさを取り戻してきているように思われますが、従来から引続いております烈しい受注競争により販売価格の低下を招き、建築シーリング事業が企業経営の中で真価を問われる段階に入っているものと考えられます。

私どもシーリング工業会は、昨年度の課題として技術レベルの向上と普及、健全な市場形成のための材販工の連携、関連事業団体とのコミュニケーションの促進、それにそれらの活動を活性化するための理事会、幹事会、各委員会の積極的な運営を図ることなどを諸施策として運営して参りました。

技術面におきましては、建設省建築工事施工監理指針、JIS A 5758 改正について、審議検討の上、答申を完了し、建設省総合技術開発プロジェクトと建築学会建築工事標準仕様書の改定の成果については、それぞれの成果を全国的に普及活動を行なうことにより、シーリング材の適材適所への適用を図るなど業界の技術レベルの向上および普及の面で、大いに成果を挙げ得たものと自負しております。さらに、当工業会では、これらの諸成果を「シーリング材ハンドブック」に集大成し、昨年9月に発行、頒布しておりますが、これは必ず関連業界の皆様にお役に立つものと確信しております。また総プロの成果の

近況報告

一つとして、シーリング材推定耐用年数算定に係る「シーリング管理士」の在否が算定に影響を与えるものとして、業界で御注目、御認識戴いたことは、当工業会が「管理士」認定制度を永年に亘り、育成普及を図った成果が認められたものと喜んでいる次第でございます。

関連事業団体との共同研究面では外壁仕上塗材ならびに外壁化粧防水材に関する2団体との共同研究を行ない、外観、物性についての諸成果を本年度発表できる段階に来ておりますし、開口部シーリング防火問題につきましても、耐火に関する試験項目を決定し、諸テストを実施する段階に入っております。

健全な業界発展のための材販工の連携につきましては、コミュニケーションの密度は上がり、相互理解と技術向上の点で、中央でも各地域でも成果は出てきておりますが、未だ充分とは言えぬ段階であると存じます。三者が運命共同体であるという認識の上に立って、お互い忌憚ない意見を交すことにより、業界の発展に努めて参りたいと存じますので、より一層の御協力を賜りますよう御願ひ申し上げます。

最後に、ここ数年低迷が続いておりますシーリング業界が、さらには建設業界が本年は回復できますよう祈念しつつ、皆様方の御指導御鞭撻を心より御願ひ申し上げ、年頭の御挨拶とします。

もう“娘よ”は唄えない

日本シーリング工業会顧問

東京工業大学教授 小池 迪夫



テレビや新聞の報道によると、昭和61年11月27日、巨人軍の原辰徳選手が結婚し、赤坂プリンスホテルで盛大な披露宴が催されたという。同日、品川の高輪では、ちょっと変わった結婚式が行われた。

昔の武家屋敷を改装したカソリックの教会も風変

近況報告

わりだが、讚美歌がないのも珍しく、有難かった。参加者の中に信者はいても多分数名を超えないようでは、讚美歌など到底無理な相談と判断したのである。

夕方からの、S.T.P. ホテルの披露宴も、それにわを掛けて一風変わっていた。講談の田辺一鶴師の、出席者の名前を読み込んだ祝辞も楽しく、江戸文字の家元、立川文枝師の色紙サービスに、人気が集まった。そして、テレビでお馴染のアナウンスタレント仲間の祝辞も、流石と思わせた。

一才の時札幌へ連れて行って、雪の中で育てた娘が、九州は博多生まれの男と結婚しようとは、日本も狭いものだ。

「笑い話で すませるけれど 口じゃ言えない苦労もあった……」ふと、愛唱の一節が脳裏に浮かんだ。

娘を嫁にだす時、特に、男親は淋しがらものだという。祝福の挨拶と一緒に、必ず慰めともつかぬ言葉につきまとわれた。とりわけ困ったのは、家内の父親から言われたときである。私その張本人ではないか……。しかし、それが世間一般のとおり相場というものなのであろう。

「お父さんは、きっと披露宴で泣く。絶対に泣く」本人の抗弁を全く無視した、決め付けに近い賤の言葉を、何度聞かされたことか。

だが、私は泣かなかった。お涙頂戴の披露宴にはならないことを、十分に察知していたのである。

どうも、お生憎さまでした。

だが、もう“娘よ”は唄わない……いや、もう唄えない、というべきなのであろうか。

(昭和61年11月28日記)



米国でののはなし

日本シーリング工業会顧問

千葉大学助教授 加藤 正守



SGSの板ガラスの安全性は。

「ビルディング・コードに規定している耐震性、耐風圧性に適合している。特に耐風圧性については設計風圧力の1.5倍の圧力で動風圧試験を行い、その安全性について確認している」

ヒューストンではハリケーンの時に雨、霰のように板ガラスが降ってきたと聞いているが、その原因は。

「清掃に2日もかかりました。調査委員会を設置し、その原因を調査しましたが、屋上防水層の押えに用いられた小砂利の飛散、衝撃によるものであることが分かりました。板ガラスの破壊は風圧によるものでないことが確認されました」

2辺支持、4辺支持とも板ガラスの安全性は、ストラクチャルシーラントの耐久性、接着耐久性によるところが多いと思いますが、設計者としては、その耐久性はどの程度期待しているか。

「ストラクチャルシーラントの耐久性は一応20年を期待している。20年ももてばそれ以上の耐久性が期待できるでしょう」

20年という根拠は。

「シーラントメーカーが保証している。シーラントメーカーは、ウェザーメーターによる促進試験を6,000時間～10,000時間行っており、耐久性には特に問題は無い」

強化の熱線反射板ガラスがかなり使用されているが。

「製造時の歪が若干あり、反射像がゆがむが、それが問題になったことはない。また自然破壊についても特に問題は無いが、CWの場合運搬、施工時に強化ガラスが破壊することが多いので注意しなけ

ればならない。強化ガラスの使用は安全性を重視するからである」

SGSの施工性、経済性は。

「CWの場合、2辺支持、4辺支持とも施工性は高く、経済的にも他のCWと同程度である。2辺支持の現場施工の場合も施工は簡単である」

SGSにかぎらずグレージングジョイントにはガスケットが使用されているが。

「施工が簡単であり、経済的でもあるからである。また高層ビルに使用しても性能上（水密性、気密性、耐久性）特に問題はなく、ガスケットの使用は増加している」

米国と日本では違うかも知れない。だが、米国でこれだけ多くの実績を持つものが日本で不可能ということはないのではないか。熱線反射板ガラスの大量使用、ポストモダンの屋根表現の一つとしてSGSへの期待は極めて大きい。SGSの開発により、わが国のシーリング業界も新たな発展への道を歩みだすことを期待したい。

全国8地区協で21世紀へ前進

日本シーリング工事業団体連合会

会長 山本 勇



1987年新春明けましてお目度うございます。関係官庁、関連業界のお得意様各位には大変御支援を賜わり厚くお礼申し上げます。又、各地区協会員の皆様にも多大のご協力を

をいただき有難うございました。お蔭様にて、日シ工連は無事新しい年を迎えることが出来誠に同慶の至りです。円高攻勢による国の内外経済情勢は、まことに厳しくありましたが、幸いにして建築業界にある日シ工連が、全会員、多忙な中に昨年を終了出来ましたことは幸運の一語に尽きるものがあります。

受注単価の低落、利益率の減少による企業効率の悪化は拭えませんでした。余り贅沢を言う訳にも

近況報告

ゆきません。しかし、これから21世紀に向けての建築産業の行方は仲々厳しいものがあるようです。昨年下旬の建設省による行政指導方向も、建設産業ビジョンの見直し、関連する専門工事業者団体への活性化対策の早急策定、業界の自覚による不当競争防止要望等々、将来に向って業界姿勢の活性化を求めておられます。建設省自身も中建審の一日も早い答申を期待しており、早急に今後の建設産業の在り方を決定し、官民一体協力して、新しい時代に即応する行政指導を打ち出したいとしています。日シ工連としては、一昨年来、全防連傘下の防水団体の方々と共に社団法人全防協（仮称）の設立実現に参加協力すると共に、日シ工連自体の活性組織体制作りを如何にすべきか役員全員が知恵を絞って参りました。生むに易く、育て成長させるに難しいこの作業は、全会員の理解と協力なくしては実現は不可能なのです。

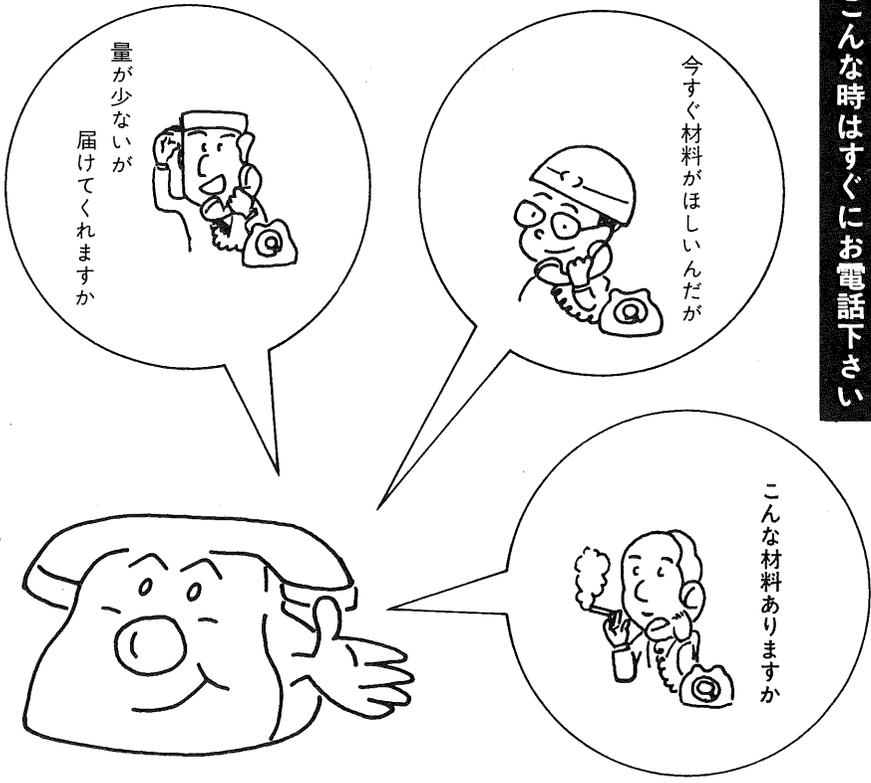
日本国も今迄の様に自国の繁栄のためのみに行動出来なくなってきました。日シ工連も周囲の環境変化を敏感にとらえ、情報入手と分析に力を注ぎ、常に客層のニーズに応えるプロ集団としての組織作りが一層大切な時代となって参りました。昨年5月下旬、種々問題点を残してはおりますが、中国シ協並びに関シ協所属会員中、四国在籍の有志会員が中心となり、少数乍ら松山市に於いて四国シーリング工事業協会（略称・四国シ協）を発足しました。この事により、日シ工連は10年間の歩みの後、正に8地区協制の完全なる全国組織団体を完成した訳であります。8地区協のリーダーは、今こそ持てる叡智を結集し、21世紀に向けての日シ工連丸の指針を打ち出してゆかねばなりません。又そうすべき義務があるともいえます。地区会員諸兄は一致協力して、温かく、且つ懸命にリーダーを支援していただきたい。今年は兎年です。堅実に“ぴょんぴょん”と前へ前へと飛び跳ねて行きましょう。全会員の背中に乗る日シ工連君も勿論ご一緒させてもらいます。御得意各位と全会員諸兄の素晴らしい新年になられんことを祈念し、又旧年にも増して本年も格別の御引立、御支援をお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

工業会 1 年の歩み

年月	主 な で き ご と	関 連 業 界
61. 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年総会および特別講演会 講師：松本洋一氏（清水建設）「シーリング防水における最近の技術動向」 ○ 「シーリング」№23発行。適材適所表，JIS A5758 改正の概要を掲載 ○ 開口部シーリング防火研究プロジェクト発足 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建専協が日建連に適正価格による発注を要望 ○ 施工監理指針（60年度版）発刊（建設省）
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第9回シーリング管理士，第7回シーリング技術管理士検定講習会開催 管理士35名，技術管理士87名が受検，合格者はそれぞれ19名，69名で合格率は72%。今回初めて女性技術管理士が誕生した。 ○ 通産省工業技術院建築部会で JIS A5758 改正(案)を審議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施工管理等の改善策検討（BCS） ○ 第1回アクリルゴム防水技能検定試験実施
3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国各地で改定 JASS 8 講習会（建築学会） ○ 第1回樹脂注入技能検定試験実施
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ シーリング管理士，シーリング技術管理士の更新講習開催 東京会場65名，大阪会場85名が参加，最近の技術動向（JIS，JASS，監理指針改正の骨子説明）ならびに適材適所表の解説につき受講。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建築改修設計指針発刊（建設省） ○ 官民一体で外壁材補修工法を技術開発へ（建設省） ○ 保全工事共通仕様書発刊（住・都公団）
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第23回通常総会開催（於ホテル国際観光） 60年度事業報告，会計報告，監査報告を承認，61年度会長，役員選出（会長太田稔氏留任），61年度事業計画案，予算案を承認，可決。 ○ 四国シーリング工事業協会発足 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 欠陥建築防止策を提案（日建士連） ○ 塩化物総量規制通達（建設省） ○ 日シ工連総会開催 ○ 全防連総会開催
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務合理化の一端として複写機を更新 ○ 接着剤工業会20周年記念行事として国際セミナーを開催，協賛。 ○ シーリングニュース夏号を発行延期し，夏・秋合併号とすることに決定。 ○ 61年度検定講習会の骨子を決定。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ シーリング材ハンドブックの原稿を完成，製作を依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 21世紀への不動産業ビジョン発表（建設省） ○ 防水業認可業者5000件突破 ○ 建築学会大会開催（札幌） ○ 日本 DIY 展開催，11万人を越す入場者
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ JIS A5758-1986が8月1日公布（8月2日官報告示） ○ 総プロ関連で各地の暴露3年経過試料を採取，物性試験を行う。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 61年度シーリング管理士，シーリング技術管理士の検定講習会参加者募集開始。 ○ シーリング材ハンドブック発刊（9月20日） 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 株式会社東郊産業（名古屋）が正会員として入会。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ SGS 構法・渋谷 NSW ビル竣工 ○ シーリング防水技能検定合格者340名。
11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 61年年間販売量を推計，数量を決定（シーリング№24に発表） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 40周年記念講演会（建研） ○ 新型間接税へ建設業各団体が反対陳情。
12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 顧問，相談役を囲み工業会の活動を報告，ご意見を拝聴し今後の運営に資す。 ○ 初の支部長会議を開催，本部・支部の意志疎通を行い工業会活動の活性化を図る。 ○ 62年度シーリング管理士用テキストを全面的に改正し発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALC 出荷量上半期横バイ（ALC協会） ○ ガラス開口部安全設計指針（日本建築防災協会）作成。

7日会のメンバーは安心して使っていただける製品をサービスを添えてお届けします。

こんな時はすぐにお電話下さい



—————建築用シーリング材・防水材・関連製品の御用命は当会メンバーに—————

東日本シーリング工事業協同組合協力店会

7 日 会

- | | | |
|----------------------|-----------------------------|-----------------|
| 化研マテリアル(株) | 〒105 東京都港区西新橋3-8-1 (第2鈴丸ビル) | TEL 03(436)3011 |
| 共成(株) | 〒104 東京都中央区新川1-25-11 | TEL 03(552)2031 |
| 光栄商事(株) | 〒177 東京都練馬区上石神井1-432-2 | TEL 03(928)5811 |
| 野口興産(株) | 〒176 東京都練馬区豊玉北2-10 | TEL 03(994)5601 |
| フヨ一(株) | 〒130 東京都墨田区業平5-5-6 | TEL 03(626)3371 |
| 藤本化成(株) | 〒150 東京都渋谷区渋谷3-27-12 (並木ビル) | TEL 03(407)4701 |
| ヨコハマゴム工業品
東京販売(株) | 〒105 東京都港区海岸1-9-15 (竹芝ビル) | TEL 03(436)5621 |

62年を展望する

《関連業界動向を中心として》

広報委員会

1. シーリング材の需要動向

政府の内需拡大策の標榜で61年は建設産業もある程度の回復が期待されたが、急激な円高は製造業を中心として企業経営の停滞感を生み全般的に活況を呈するには至らなかった。建築着工面ではやや回復の兆しを見せているものの、その内容は低水準化した受注価格、資材メーカーも含めた業者間の過当競争が一向に改善されぬままで厳しい環境が打続いている。こうした中、シーリング材の出荷動向はここ数年来1ケタ台の伸び率で推移してきた。建設業の中では相対的に見れば安定した需要を確保しているといえる数字だが、成長率は漸減、市況の混迷は採算割れを続発しかねない減益ベースにあり、材・販・工とも予断を許さぬ状況が続いている。

シーリング材全体の販売量は、2ケタ伸び率を示した50年代前半までの需要拡大期から、56年以降1ケタ台に定着、59年は前年比5.6%増、60年も5.8%増の安定成長期にはいり、61年については3.2%増とやや頭打ち傾向となった。シーリング材の中でも中心的な用途分野である建築用シーリング材も同様の傾向を見せ、59年6.1%増、60年6.0%増、61年は4.2%増の54,800トンをとどまった。

しかし、長期にわたる建設産業の不振の中で、建築用シーリング材の使用実績は数字の上では着実に伸展してきたといえるだろう。この背景には、設計伸縮率を考慮した目地設計の適正化に伴う目地幅の拡大・目地数の増加、海外プロジェクトへの進出、改修・打替え需要の増大などがあることはいうまでもない。そして、これらの経過に伴い、シーリング材自体の持つ建築材料としての特長——使用上の簡

便さと耐久性——がユーザー間に認識され、それが土台となってさらに新たなユーザーをとらえ底辺需要を拡大してきたこと、これが需要量増加の大きな支えとなってきたといえるだろう。材料メーカーの生産技術ならびに製品開発、各種の啓蒙的な宣伝活動が効果を生み、特に弾性系シーリング材がそれらの成果として果してきた役割には大きいものがある。しかし、これらの成長要素がここ数年鈍化傾向にあることも事実であり、数字の上からもシーリング材の需要趨勢は転換期に入っていることは間違いないだろう。

シリコーン系、変成シリコーン系、ポリサルファイド系、アクリルウレタン系、ポリウレタン系のいわゆる弾性系シーリング材は、すでに建築用シーリング材の中で主流の座を占めるに至っているが、その占有率は57年に70%を超え、61年実績では79.9%を示し、ALC目地を主要用途とするアクリル系をこれに加えれば、実に93.8%という数字になるのである。しかし、弾性系にしてもその伸び率は59年以降1ケタ台となり、61年では5.4%と全建築用シーリング材の伸び率とほぼ同レベルとなった。弾性系が非弾性系に置換わって需要を伸ばしてきた部分がある程度限界を迎えたとも読みとれる。一方、弾性系の中でも1成分形については、依然2ケタ伸び率を確保している。量的には2成分形が圧倒しているものの、弾性系の中での占有率を見ると57年に24.3%であったものが61年では31.7%に上昇している。シーリング材需要が専門工事以外の分野に拡大しているといえるだろう。

全体的な伸び率の低下が目立つなか、市況面の混迷も極に達している感があるが、材料・技術面については、ここ数年来の様々な研究活動が実を結び、

表一 シーリング材の年別販売推定量 (単位: トン)

基材	区分	年	建 築	輸送・機器	そ の 他	計
シリコーン系		57	6,115 (1成分 4,625 2成分 1,490)	55 (1成分 55 2成分 0)	260 (1成分 260 2成分 0)	6,430 (1成分 4,940 2成分 1,490)
		58	6,890 (1成分 5,320 2成分 1,570)	70 (1成分 70 2成分 0)	340 (1成分 340 2成分 0)	7,300 (1成分 5,730 2成分 1,570)
		59	7,250 (1成分 5,680 2成分 1,570)	100 (1成分 100 2成分 0)	410 (1成分 410 2成分 0)	7,760 (1成分 6,190 2成分 1,570)
		60	7,190 (1成分 5,850 2成分 1,340)	150 (1成分 150 2成分 0)	480 (1成分 480 2成分 0)	7,820 (1成分 6,480 2成分 1,340)
		61	7,250 (1成分 6,180 2成分 1,070)	200 (1成分 200 2成分 0)	540 (1成分 540 2成分 0)	7,990 (1成分 6,920 2成分 1,070)
変成シリコーン系		57	1,850 (1成分 350 2成分 1,500)			1,850 (1成分 350 2成分 1,500)
		58	2,210 (1成分 650 2成分 1,560)			2,210 (1成分 650 2成分 1,560)
		59	3,200 (1成分 1,500 2成分 1,700)			3,200 (1成分 1,500 2成分 1,700)
		60	4,390 (1成分 2,300 2成分 2,090)			4,390 (1成分 2,300 2成分 2,090)
		61	5,200 (1成分 2,800 2成分 2,400)	100 (1成分 100 2成分 0)		5,300 (1成分 2,900 2成分 2,400)
ポリサルファイド系 (1成分を含む)		57	9,592	200	1,260	11,052
		58	10,070	200	1,320	11,590
		59	10,600	200	1,400	12,200
		60	11,150	200	1,450	12,800
		61	10,930	250	1,620	12,800
アクリルウレタン系		60	620			620
		61	610			610
ポリウレタン系		57	13,640 (1成分 2,600 2成分 11,040)	4,700 (1成分 2,800 2成分 1,900)	850 (1成分 300 2成分 550)	19,190 (1成分 5,700 2成分 13,490)
		58	15,200 (1成分 3,350 2成分 11,850)	4,840 (1成分 3,840 2成分 1,000)	930 (1成分 680 2成分 250)	20,970 (1成分 7,870 2成分 13,100)
		59	16,650 (1成分 3,800 2成分 12,850)	5,100 (1成分 5,000 2成分 100)	930 (1成分 680 2成分 250)	22,680 (1成分 9,480 2成分 13,200)
		60	18,190 (1成分 4,440 2成分 13,750)	5,150 (1成分 5,150 2成分 0)	1,210 (1成分 980 2成分 230)	24,550 (1成分 10,570 2成分 13,980)
		61	19,800 (1成分 4,900 2成分 14,900)	5,150 (1成分 5,150 2成分 0)	1,180 (1成分 980 2成分 200)	26,130 (1成分 11,030 2成分 15,100)
アクリル系		57	6,030		760	6,790
		58	6,030		890	6,920
		59	6,500		890	7,390
		60	7,160		1,080	8,240
		61	7,600		1,080	8,680
S B R 系		57	400			400
		58	400			400
		59	400			400
		60	400			400
		61	320			320
ブチルゴム系		57	2,000	1,100	2,200	5,300
		58	1,800	1,100	2,100	5,000
		59	1,500	1,100	2,100	4,700
		60	1,200	1,100	2,000	4,300
		61	1,100	1,100	1,500	3,700
油 性		57	4,250	15	140	4,405
		58	3,600	10	140	3,750
		59	2,900	10	140	3,050
		60	2,270	10	140	2,420
		61	1,990	10	140	2,140
計		57	43,877	6,070	5,470	55,417
		58	46,200	6,220	5,720	58,140
		59	49,000	6,510	5,870	61,380
		60	52,570	6,610	6,360	65,540
		61	54,800	6,810	6,060	67,670

注) 日本シーリング工業会の調査による。

62年を展望する

それらの成果は本格的な普及段階を迎えている。

まずあげられるのは、建設省総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上技術の開発」である。今春より全国での講演活動が行われる見込みで、シーリング防水の劣化診断指針、補修・交換指針、総合耐久設計指針の詳細が本格的な運用に向けて解説される。建築改修設計指針で既にその成果の一部が反映されているが、広範なユーザー層へのシーリング材の適材適所と総合的な維持管理技術のアピールは大いに期待される場所である。次に、昨夏3年間にわたる改正作業を終え公布された JIS A 5758 ならびに昨春改定公布された JASS 8 があげられよう。これらは、当工業会で昨秋大幅に改訂し発刊した「シーリング材ハンドブック」に内容を反映し、広く普及を図っている。また、JIS については、今回の改正に盛り込めなかった懸案事項等を含め既に次回改正への準備作業が進められており、より使い易い規格体系作りが行われている。また、本誌および昨秋刊行したシーリングニュース28号でその成果を紹介しているシーリング材と外壁仕上塗材ならびに外壁化粧防水材との取合いに関する共同試験も、現実に発生している問題の解決に向け大きく前進した成果であろう。さらに日本乾式防火サイディング協会との技術協力、開口部シーリング防火研究などシーリング材の正しい使い方に対する研究努力は着々と成果を生み、広くユーザー層に浸透しつつあるといえよう。

これらに加え、実施工ならびに施工管理面でのレベルアップも着実に進められている。国家認定資格であるシーリング防水技能検定制度、当工業会が認定するシーリング管理士・技術管理士制度も、その内容とともに総プロ成果「推定耐用年数算定式」における上述資格のポイント化など対外的評価も高まっており、ますますその重要性を増している。

これら、技術面での成果はシーリング産業の充実に伴う所産である。ユーザーの期待に応えるシーリング防水の信頼性確立のために有意な運用を図ることが肝要であり、今後の発展・充実に向けての土台

となるものであることはいうまでもない。

基材別動向

◇シリコン系◇

一昨年の減少から61年はやや持直し、59年実績と同量の7,250ト(前年比0.8%増)となった。しかし2成分形の低迷は前年比20.1%減と目立っており、1成分形の好調に支えられてのものである。メタルカーテンウォール系の大型物件の減少、コンクリート系への汚染問題からの敬遠が2成分形の不振の原因であるが、1成分形についてはガラス、板金などのルート需要で相変わらず根強い支持を受け、性能面での信頼性から各種産業分野で設置が相次いでいるクリーンルームでの採用も目立っている。シリコン系としては、現在研究が進められている開口部防火シーリング材の有力な候補として、また、注目のSGS構法*に対応するシーリング材として新たな期待がかけられている。

* SGS構法 (Structural Glazing System) : 高性能の熱線反射ガラスを構造シーラントによって取付けるサッシレスのガラス・カーテンウォールの新構法。

◇変成シリコン系◇

ひと頃の驚異的な増加は見られなくなったが、水準以上の伸びは相変わらずで前年比18.5%増の5,200トとなった。やはり1成分形の好調が目立ち21.7%増の2,800トと、プレハブ住宅や塗装、建築金物などのルート需要への浸透を物語っている。また、2成分形も14.8%増の2,400トと順調に推移、カラーマスター方式の普及など使い易く作業性の良いシーリング材として定着、基材としての地歩を固めつつある。上市メーカーもふえており、また、汚染性を配慮した改良型ポリマーの開発など安心感に裏付けられたシーリング材としての評価は更に高まるものと思われる。

◇ポリサルファイド系◇

ここ数年5%台で安定した伸びを示していたが、61年は2%減の10,930トと統計上僅かながら前年実績を下回る結果となった。弾性系シーリング材としては最も歴史のある基材で、実績に基づく信頼感に

より汎用シーリング材としてユーザーの根強い支持を受けている。しかし、変成シリコン系の物量的な普及、ポリウレタン系の経済性など他基材の影響が多少出荷面に表われたようである。一方、上市5年を経過した1成分形は、硬化時間の短縮など作業性の改良が図られ、1成分形の特長を生かした用途分野への浸透が期待されている。

◇アクリルウレタン系◇

上市以来4年目を迎え、昨年改正公布されたJISで初めて規格化された新基材で、供給メーカーも2社と少ない。昨年実績をやや下回る610トンの出荷量にとどまり期待に反した感がなくもない。コンクリート目地を中心に採用されているが、外壁仕上塗材、外壁化粧防水材との馴染みが良い基材であることも立証され、性能的にも価格面とのバランスがとれていることからユーザー層にも受け入れられる要素は整っている。

◇ポリウレタン系◇

全体的に伸び率の低下が目立つ中で前年比8.9%増の19,800トンを示した点は評価されるところである。基材別に見ても断トツの出荷量で、手頃な価格の弾性タイプとして底辺需要の拡大を物語っている。2成分形は中低層のPC建物、油性系の打替え、土木分野などに安定した需要を見せ前年比8.4%増の14,900トんに、1成分形もプレハブ住宅や建築金物などのルート分野への進出が目立ち10.4%増の4,900トンとなった。汎用化も進んでいるだけにメーカー毎、製品間に性能差もかなりあり、昨年はJISの耐久性区分で1成分形の9030認定品も登場した。1成分形、2成分形とも各種ボード目地などへの適用が目立っている点も需要増に貢献している。

◇アクリル系◇

ALC板目地への用途が90%以上を占めるシーリング材で、そのALC板の出荷動向がここ数年好調に推移していることから59年、60年に引続き昨年実績も6.1%増の7,600トンと順調な結果となった。また、量的には僅かであるがDIYルートなどで手頃なシーリング材として支持を受けている。

◇その他◇

ブチルゴム系は外壁目地に用いられるケースが少なく、建築用途としては板金関係やシート防水の貼仕舞への使用がほとんどである。しかし、この分野も最近では弾性系に押され気味で前年比8.3%減の1,100トンとなった。SBR系も室内目地を除いては建築分野での大量使用は少なく前年比20%減の320トんに、また、油性コーキング材も年々減少を重ね61年実績も前年比12.3%減の1,990トンとなった。これらのシーリング材は、弾性系の普及につれ建物に使用されるケースは減少する一方というのが実情である。

このほか、昨年は新ポリマー「パーマポール」(商品名)ベースの変成ポリサルファイド系1成分形シーリング材が新基材として先発メーカー(1社)により上市された。本年は新たに2~3社ほどが上市する見込みである。営業体制の本格化も予想されるところで、その動向が注目されよう。

2. 建築業界の動向

2-1 建設投資の動き

昭和61年度の建設投資は、政府投資、民間投資とも増加を示し、名目で前年度比3.9%増の51兆5,800億円、実質(昭和55年度価格)で前年度比4.1%増の50兆7,200億円となる見通しである。このうちわけは概ね政府4割・民間6割、建築6割・土木4割とな

表-2 昭和61年度建設投資見通し(単位:億円,%)

項目	年度			増加率	
	59年度 (実績見込み)	60年度 (見込み)	61年度 (見通し)	60/59	61/60
総額	479,100	496,300	515,800	3.6	3.9
(同実質)	(467,900)	(487,400)	(507,200)	(4.2)	(4.1)
建築	287,100	299,900	314,800	4.4	5.0
(同実質)	(279,600)	(292,300)	(307,300)	(4.5)	(5.1)
住宅	150,800	156,700	166,000	3.9	6.0
非住宅	136,300	143,200	148,800	5.1	3.9
土木	192,000	196,400	201,000	2.3	2.3
(同実質)	(188,200)	(195,100)	(199,900)	(3.7)	(2.5)
公共事業	123,500	130,700	134,900	5.8	3.3
公共事業以外	68,600	65,800	66,000	△4.0	0.4
再政	193,100	193,200	195,900	0.1	1.4
(同実質)	(188,700)	(191,300)	(194,200)	(1.3)	(1.6)
民間	286,100	303,100	319,900	6.0	5.5
掲(同実質)	(279,100)	(296,200)	(313,000)	(6.1)	(5.7)

(注)1. 下段()内は実質値(55年度価格)である。
2. 四捨五入により100億円単位の値としたため、各項目の合計は必ずしも総計と一致しない。

62年を展望する

っている。

建設投資を政府、民間に分けてみると、政府投資は名目で19兆5,900億円(1.4%増)、実質で19兆4,200億円(1.6%増)、民間投資は名目で31兆9,900億円(5.5%増)、実質で31兆3,000億円(5.7%増)といずれもプラスとなっている。政府建設投資については、財政投融资資金の大幅な増加が図られたことなどが増加の要因となっているが、全体としては民間住宅投資の堅調な推移、内需拡大策がとられたことなど、61年度においても民間投資が建設投資を下支えする傾向にある。特に政府建設投資のうち、建築投資や政府住宅投資(公営住宅、公団賃貸住宅等)は前年度プラスとなるものの、政府非住宅(公立、文教施設、社会福祉施設等)は前年度比マイナスである。一方、民間投資は、民間建築(民間住宅、民間非住宅)を中心に相当程度の伸びが見込まれている。

建築、土木の別では、土木は公共事業および民間土木の増加により、建築は民間住宅、民間非住宅の伸びによりそれぞれ増加の見込みである。特に建築投資については、住宅投資の9割以上を占める民間住宅投資の増加(6.3%)、さらに民間非住宅投資の増加(5.2%)により全体では5.0%の増加が見込まれている。

また61年度の住宅着工戸数については、住宅減税の拡充、住宅金融公庫の融資改善等の措置などで、順調な増加を示すものと見込まれている。

2-2 建築着工の動向

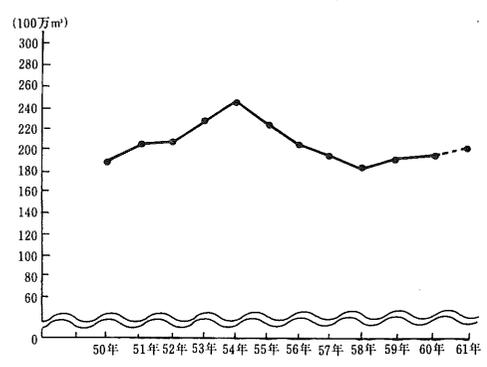
昭和61年の建築着工動向は、第1四半期(1月～3月)43,493,000m²(前年同期比2.0%増)、第2四半期(4月～6月)55,531,000m²(同2.2%増)、第3四半期(7月～9月)56,235,000m²(同8.0%増)と緩やかながら増加傾向にある(表-3参照)。この中でも、第2次オイルショック以降減少傾向にあった公共建築物の着工床面積が、第1および第2四半期で、それぞれ3.8%、3.4%増、第3四半期も0.9%増とプラスに転じている。これは、我が国の経済状況が内需主導型となり、公共事業の大幅な前倒し発注が好影響をもたらしたものと思われる。

シーリング材と関連の深い不燃建築物の着工動向も同様の傾向にあり、対前年同期比が第1四半期4.0%増、第2四半期4.1%増、第3四半期6.0%増と好調である。ただし、円高の影響を受け輸出が弱含みのため鉱工業生産は停滞気味で、これは建築着工床面積にも反映している。

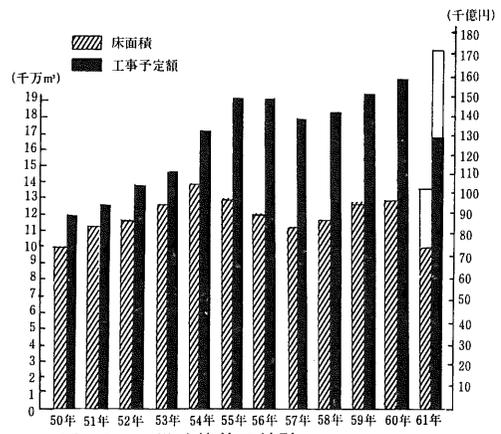
一方、居住専門の着工面積も表からわかるとおり好調に推移しているが、増改築の床面積はこのう

表-3 建築着工統計 ※次頁に続く(単位:千m²)

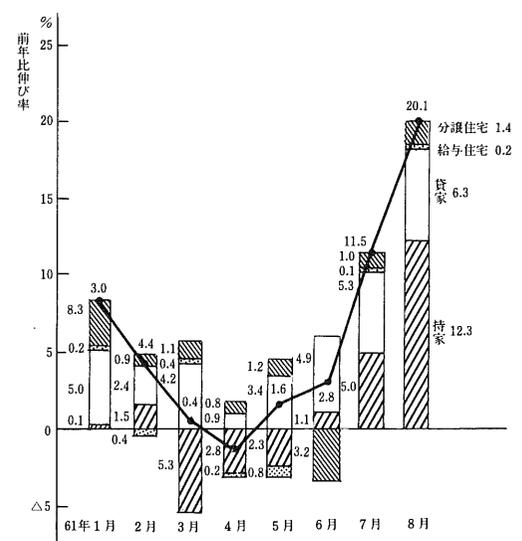
月 間 年 間	総 数 床 面 積	用 途 別 床 面 積							
		居住専門	居住産業 併 用	農林水産 業 用	鉱工業用	商業サー ビス業用	公益事業用	公務文教用	そ の 他
53 (対前年比)	231,997 (106.2)	124,797 (105.7)	24,954 (120.7)	8,637 (104.0)	16,340 (96.9)	28,157 (101.0)	4,848 (111.5)	24,018 (122.5)	245 (260.6)
54 (対前年比)	245,300 (105.7)	123,945 (99.3)	26,673 (106.9)	8,709 (100.8)	21,879 (133.9)	33,533 (119.0)	5,606 (115.6)	24,781 (103.2)	173 (70.6)
55 (対前年比)	221,722 (90.4)	109,807 (88.6)	22,468 (84.2)	7,665 (88.0)	22,688 (103.7)	29,735 (88.7)	5,337 (95.2)	23,919 (96.5)	104 (60.1)
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100,122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61第1四半期 (対前年同期比)	43,493 (102.0)	22,200 (103.3)	4,316 (104.4)	1,145 (94.8)	4,898 (90.8)	7,341 (108.9)	1,003 (76.9)	2,561 (109.8)	30 (66.7)
第2四半期 (対前年同期比)	55,531 (102.2)	27,211 (100.8)	5,554 (99.6)	1,523 (101.3)	6,132 (86.2)	9,920 (121.0)	1,614 (108.0)	3,531 (103.9)	46 (75.4)
第3四半期 (対前年同期比)	56,235 (108.0)	26,858 (115.5)	5,268 (108.7)	1,545 (103.7)	5,318 (81.3)	9,522 (114.4)	1,429 (97.9)	6,251 (103.0)	47 (79.7)



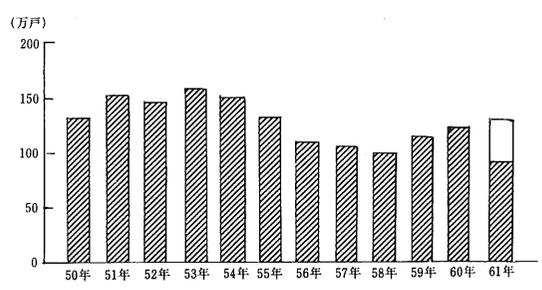
図一 建築着工面積(総床面積)
(61年は推定)



図三 不燃建築着工統計
(図一、三、四とも61年は9月までの実績)
(以降白い部分は推定)



図二 新設住宅着工床面積の増減内訳
(資料：住宅着工統計)



図四 新設住宅建設戸数

公共	民間		構造別床面積							
	会社・法人	個人	木造	不燃建築物小計	不燃建築物					その他
					鉄骨・鉄筋 コンクリート造	鉄筋 コンクリート造	鉄骨造	コンクリート ブロック造		
32,718 (114.5)	69,940 (100.7)	129,337 (107.3)	104,938 (106.7)	127,059 (106.2)	16,346 (100.1)	52,185 (113.7)	56,920 (102.0)	1,398 (105.8)	210 (78.9)	
34,367 (105.0)	80,326 (114.8)	131,148 (101.4)	104,874 (99.9)	140,424 (110.5)	18,333 (112.2)	54,081 (103.6)	66,625 (117.1)	1,100 (78.7)	285 (135.7)	
32,842 (95.6)	76,761 (95.6)	112,123 (85.5)	90,304 (86.1)	131,415 (93.6)	18,381 (100.3)	49,168 (90.9)	62,644 (94.0)	989 (89.9)	233 (81.8)	
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)	
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)	
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.1)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)	
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)	
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)	
3,696 (103.8)	17,274 (103.2)	22,523 (100.8)	15,483 (98.5)	28,010 (104.0)	4,904 (120.6)	8,797 (106.2)	14,154 (98.1)	83 (105.1)	72 (116.1)	
4,561 (103.4)	21,332 (102.8)	29,638 (101.5)	20,778 (104.1)	34,753 (104.1)	5,291 (116.4)	10,812 (103.2)	18,454 (101.8)	119 (89.5)	78 (83.0)	
6,891 (100.9)	20,948 (103.6)	28,395 (113.6)	19,423 (112.5)	36,876 (106.0)	4,987 (119.9)	13,118 (105.8)	18,452 (102.7)	178 (98.9)	77 (108.5)	

62年を展望する

ち%未満で、ほとんどは新設住宅である。61年上半期（1月～6月）で625,507戸（対前年同期比4.0%増）の新設住宅が建設され、着工床面積についても4月以降その伸び率は月を追うごとに上昇し、8月には20%以上になっている（図2参照）。この住宅建設の好調さの要因としては、住宅取得促進税制の創設および公庫融資の改善により、住宅建設の潜在需要が掘り起こされたことが考えられる。特に、8月の新設住宅着工床面積の伸びは公庫融資持家の床面積の伸びによっている。

昨年3月25日政府で閣議決定された、昭和61年度を初年度とする第五期住宅建設五箇年計画では、計画期間中における民間を含めた総住宅建設戸数を670万戸と見込んでおり、このうち、公的資金による住宅として総計330万戸の建設を図るとしている。住宅需要要因別の特徴としては、世帯数の増勢鈍化、住宅ストックの充実等を背景として、建替え等による建設戸数の比率が高まると見込んでいる。また、国民の持家に対する需要は基本的には根強いものがあるが、今後は借家を中心とした建替えの増大が見込まれることなどから、計画期間中の総住宅建設戸数に占める持家系の割合は約63%と見込まれている。長期的な視点としては、我が国の住宅政策はこれまで短期的な対応に追われる結果、現在から見ると低水準な住宅供給を進めざるを得ない面があったことから、こうした点を十分に踏まえた上で、昭和75年（西暦2000年）を目途とした新たな誘導居住水準を設定した政策が展開される。

一方、住宅・都市整備公団では、59年度までに約65万戸の住宅を供給、60年度の9,000戸に引続き、61年度も9,000戸の賃貸住宅の建設が計画されている。また60年度は既存賃貸住宅の建替え実施のための調査、市街地住宅供給促進事業による公団住宅の建設が実施されたが、61年度は新たに建替えの実施、木造賃貸住宅地区総合整備事業の総合整備地区では国庫助成を受けての公団住宅の建設が行われている。さらに、良質な賃貸住宅供給の促進を図ることを目的として、土地所有者等で借家経営を行おうとする

者に対し公団が住宅を建設し分譲する民営賃貸用特定分譲住宅制度では、60年は8,000戸の建設がなされ、61年度は9,000戸の建設が計画されている。

現在、我が国の経済状況は、物価の安定が続く中で急速な円高の進展等により、内需主導型の経済成長政策へと方向転換がなされている。このため、民間活力を活用した社会資本整備、良質な住宅・住環境整備等による国内投資機会の創出が求められており、公共事業の前倒し発注、規制緩和による市街地再開発、住宅建設の促進等が総合経済対策に盛り込まれている。

今後の我が国の住宅需要が昭和40年代のように大幅に増加することは望めないにしても、建替え需要も含めた潜在住宅需要の掘り起こしにより、建築着工面積は緩やかながら上昇カーブを描くものと思われる。

2-3 プレハブ住宅建築

昭和60年度（60年4月～61年3月）におけるプレハブ住宅販売戸数は、前年度の伸び4.9%を大幅に上回る対前年度比9.4%増の199,702戸となり、昭和48年度の206,732戸に次ぐ高い数値を示した。これは全着工新設住宅数の16.0%にあたり、過去最高値を示している。

構造別に見て行くと、表4からもわかるとおり、木質系が対前年度比5.9%増の34,957戸、鉄鋼系が同12.3%増の134,960戸とそれぞれ過去最高の販売戸

表4 プレハブ住宅販売戸数（単位：戸）

（社）プレハブ建築協会調べ

		56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
総	(A) プレハブ住宅販売戸数(完工)	155,441	166,348	173,939	182,497	199,702
	伸び率(%)		7.0	4.6	4.9	9.4
	(B) 全着工新設住宅数	1,142,732	1,157,100	1,134,867	1,207,147	1,250,994
数	(A) / (B)	13.6%	14.4%	15.3%	15.1%	16.0%
	(C) プレハブ住宅生産能力数	277,972 (186)	284,293 (187)	271,850 (180)	300,319 (184)	296,207 (183)
	(A) / (C)	55.9%	58.5%	64.0%	60.8%	67.4%
構	木質系住宅	26,529	29,570	32,003	33,007	34,957
	伸び率(%)		11.5	8.2	3.1	5.9
	鉄鋼系住宅	89,827	100,409	110,284	120,146	134,960
造	伸び率(%)		11.8	9.8	8.9	12.3
	コンクリート系住宅(低層)	9,967	10,227	7,649	7,842	6,656
	伸び率(%)		2.6	△25.2	2.5	△15.1
別	コンクリート系住宅(中高層)	29,118	26,142	24,003	21,502	23,129
	伸び率(%)		△10.2	△8.2	△10.4	7.6

62年を展望する

数であったが、コンクリート系では低層住宅が前年度から一転して6,656戸（15.1%減）と大幅に減少した。しかし中高層住宅は前年度より7.6%増の23,129戸となった。

階層別にみると、一戸建住宅は58年度から引き続きいていた減少傾向に歯止めがかかり、84,766戸

と横バイ状態にある。これに比して低層連続建住宅は60年度も高い伸びを見せ、前年度比21.3%増の90,270戸となり、一戸建住宅の販売戸数をはじめて上回った。中高層住宅も、24,666戸（前年度比6.0%増）と前年の大幅な減少から回復を示したが、鉄鋼系中層住宅は前年度比12.5%減の1,537戸にとどまっている。

昭和60年度のプレハブ住宅販売実績の特徴は、コンクリート系の落ち込みと、鉄鋼系、木質系低層連続建住宅の伸びにある。このようにコンクリート系が落ち込んでいることから、新築工事におけるシーリング材の需要も停滞しており、この傾向は今年も続くと思われる。一方、築後10年を過ぎたコンクリート系プレハブ住宅は年々増えつつあり、改修需要もこれにつれて増加傾向にある。このため、61年度は前年度に比べて約2割程度改修需要が伸びている。ところで、プレハブ住宅に使用されるシーリング材は8割以上がポリウレタン系である。そのうち2成分形は主にコンクリート系に使用されており、また木質、鉄鋼系一戸建ではポリウレタン系1成分形、次いで変成シリコン系1成分形、プシル系テープ

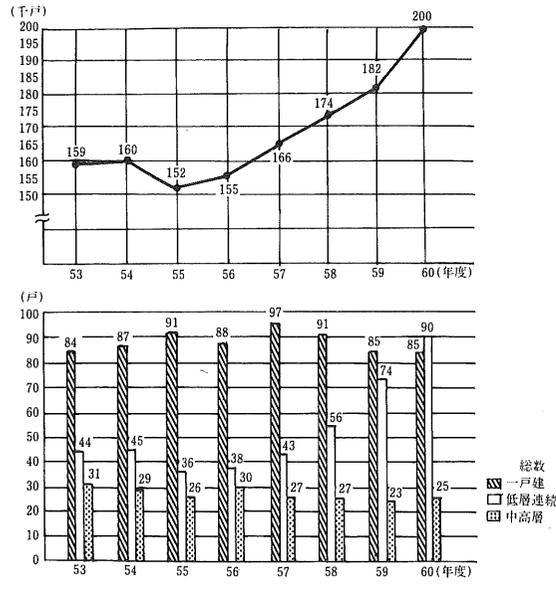


図-5 プレハブ住宅階層別販売戸数

表-5 階層別・構造別販売戸数(完工) (社)プレハブ建築協会調べ

		56年度		57年度		58年度		59年度		60年度	
			対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比
一戸建住宅	木質系	22,336	87.8	26,980	120.8	27,736	102.8	24,266	87.5	24,155	99.5
	鉄鋼系	59,435	100.6	63,615	107.0	58,404	91.8	55,979	95.8	56,437	100.8
	コンクリート系	5,801	91.3	6,004	103.5	5,163	86.0	4,554	88.2	4,174	91.7
	小計	87,572	96.5	96,599	110.3	91,303	94.5	84,799	92.9	84,766	100.0
共同建住宅	低層連続										
	木質系	4,193	115.4	2,590	61.8	4,267	164.7	8,741	204.9	10,802	123.6
	鉄鋼系	29,940	111.6	36,299	121.2	48,935	134.8	62,410	127.5	76,986	123.4
	コンクリート系	4,166	76.0	4,223	101.4	2,486	58.9	3,288	132.3	2,482	75.5
小計	38,299	106.6	43,112	112.6	55,688	129.2	74,439	133.7	90,270	121.3	
中高層住宅	鉄鋼系	452	164.4	495	109.5	2,945	594.9	1,757	59.7	1,537	87.5
	P C 工法	23,017	119.7	20,081	87.2	18,613	92.7	17,526	94.2	18,149	103.6
	P S 工法	387	35.6	116	30.0	160	137.9	126	78.8	56	44.4
	H P C 工法	5,503	110.5	5,945	108.0	4,840	81.4	3,463	71.5	3,880	112.0
	R P C 工法	211	109.9	-	-	390	-	387	99.2	1,044	269.8
	小計	29,570	114.8	26,637	90.1	26,948	101.2	23,259	86.3	24,666	106.0
共同建計	67,869	110.0	69,749	102.8	82,636	118.5	97,698	118.2	114,936	117.6	
合計	155,441	102.0	166,348	107.0	173,939	104.6	182,497	104.9	199,702	109.4	

62年を展望する

状シーリング材が多用されているのが現状である。また、今後ますます需要が増えるであろう、コンクリート系プレハブ住宅のシーリング材の打替えについては、住宅・都市整備公団や各地方自治体、各住宅管理組合が数年前から改修計画を具体的に検討し対策を施しているが、現在のところ使用されるシーリング材については、ポリウレタン系2成分形が一般的となっている。

3. 建築関連業界の動向

3-1 メタルカーテンウォール

メタルカーテンウォール（以下 MCW）の需要は、高層ビルが相次いで建設された40年代から50年代初期までは伸長してきたが、この建設ラッシュが去った54年以降は横バイもしくは減少を示している。日本カーテンウォール工業会の統計によると、54、55年度の国内工事受注総額はそれぞれ204億円、205億円と横バイ、56年度は188億円と大幅に減少、しかし、57年度は大規模物件の建設が集中し、受注額も231億円と再浮上した。58年以降は統計的数字が公表されなくなったため正確な受注額は不明であるが、日本軽金属、不二サッシといった大手サッシメーカーの売上げが減少気味であることから、高層建築に多用されているメタル系全体の使用面積も減少傾向にあると推測される。

MCW は一般にコンクリートカーテンウォール（以下 PCCW）より建設コストが高く、中層以下のビルでは PCCW の需要が圧倒的に多い。また、経年的な維持管理においてメタル表面の汚れなどを排除するためのメンテナンス費用がかさむ点もマイナスである。しかし、メタル系は軽量で高層建築に適する種々の物理的特性を持つほか、意匠性に富むなどの特徴がある。また、工期の短縮が図れ、耐久性に優れるといった利点もあり、高層建築では一応のシェアを示している。このほか最近ではコンクリートとメタルを混合し両方の利点を活かしたメタル・コ

ンクリートカーテンウォールも一般化している。

MCW のシーリング需要は、かつてはポリサルファイド系が用いられていたが、シリコン系2成分形、変成シリコン系2成分形の登場で、特に高層建築においては後者が完全に定着している。

ポリサルファイド系からシリコン系へと変化を見せてきたシーリング材は、その重要性に対する認識が高まる一方で、CW メーカーやユーザーからは、耐久性・機能上の不安もぬぐい切れず、性能改善が求められていることも事実である。こうしたことから、耐久性に限界のあるシーリング材に頼らぬ両仕舞工法が開発され、オープンジョイント構法として定着、大型物件での採用が目立ってきている。同工法はシーリング材を使用した従来工法に比べ、ディテールの複雑化、工程数の増加など割高となるが、メンテナンス上の問題がほとんどなく、シール切れで発生するような水密機能の急激な低下も考えにくい。現在では CW メーカーごとで独自の工法を開発し業界全体で従来のシーリング材に頼る目地充填方式からの脱皮を図ろうとしている。しかし、初期の事故で信頼性の低下を招いたシーリング工法は、その大半が2次シールでの配慮不足によるものであり、その後の関係者の研究開発により、最近では適切な目地設計も普及し、シーリング材自体の特性を活かした工法も見直されてきている。

超高層建築の減少は目立っているが、MCW については現在各地で進められている都市再開発や、高層マンション等への需要展開から発注量の増加を期待する見方もある。前述したオープンジョイント構法やゴム系の定形ガスケットの進出によりシーリング材需要の先行きは必ずしも楽観できない状況にあるが、信頼に応える技術的対応を図ることが肝要であろう。

3-2 コンクリートカーテンウォール

コンクリートカーテンウォール（以下 PCCW）は、施工単価が安い点、仕上材の先付技術の定着、防水性、耐火・耐震性が良好なことから、昭和53年

以降、それまで主流であったメタルカーテンウォールと、そのシェアを逆転し、現在も順調に売り上げを伸ばしている。このように PCCW が好調に推移したのは、おりからのホテル新・増設ブームが背景にあったと見ることができる。しかし最近では、超高層物件は減少傾向にあり、カーテンウォール工事需要の対象は、中高層、低層物件に移行してきている。

表からもわかるとおり、従来のコンクリートカーテンウォール (CW) は、その工事実績が横バイ状態であるのに対して、PCF (オムニア系の外壁板) や GRC (ガラス繊維補強コンクリート) は好調な伸びを示している。これは PCF や GRC が軽量で肉薄と、中高層、低層物件に適しているためである。

PCCW に使用されるシーリング材は、高層物件の場合は、耐久性、美観が重要視されるため、従来のポリサルファイド系に代わって変成シリコン系が主流である。一方、中高層、低層物件では耐久性、経済性からポリサルファイド系シーリング材が中心に使用されていると思われる。

昭和61年度の PCCW の工事量については、ほぼ横バイ状態か微増傾向と見込まれている。ところで、東京都の都庁新宿移転に伴う新庁舎建設ではかなりの量の PCCW が採用される予定である。

PCCW 業界では、今後ますます増えるであろう中低層物件を中心として、従来のカーテンウォールに加え、各種セラミックスとの複合コンクリートなど、耐久性と美装性を兼ね備えた新素材による営業展開を図っており、この方面での需要増が見込まれている。

表-6 60年度カーテンウォール工事受注実績

	59年度	60年度	60/59
C W	100,945m ²	95,768m ²	94.9%
P C F	10,172m ²	17,573m ²	172.8%
G R C	413m ²	498m ²	119.4%

3-3 サッシ

新設住宅着工戸数はここ2、3年増加傾向にあるが、アルミサッシの生産量は、60年度が369,650ト(前年比11.6%減)、61年1~6月では175,663ト(前年同期比0.7%増)と横バイ状態にある。一方、出荷量では、60年度が381,211ト(同2.0%減)、61年1~6月が182,318ト(同1.9%増)と振わない。これは住宅建設の回復の内容が貸家を中心とする集合住宅に大きく依存しており、窓枠数の多い戸建住宅が伸び悩んでいる点が影響しての結果であろう。サッシメーカー各社とも、新設住宅の増加や景気回復の影響を反映し需要拡大を図っていく方針だが、これに伴い現在では断熱や防音など付加価値の高い製品の開発も進められており、また、出窓の利用拡大などへの期待も大きいことから、今後は若干ではあるが需要増が見込まれている。

アルミサッシでシーリング材を使用する部位は、ガラスまわりおよびサッシと躯体との取合い部分である。ガラスまわり部へのシーリング材は、コストや施工技術の点から定形ガスケットが大部分を占め、一部でシリコン系1成分形が使用されているが、構造材的な性能改善がポイントとなっている。一方、躯体との取合い部ではポリサルファイド系が主流であり、次いでポリウレタン系や変成シリコン系の需要もある。近年は特に変成シリコン系が伸びて

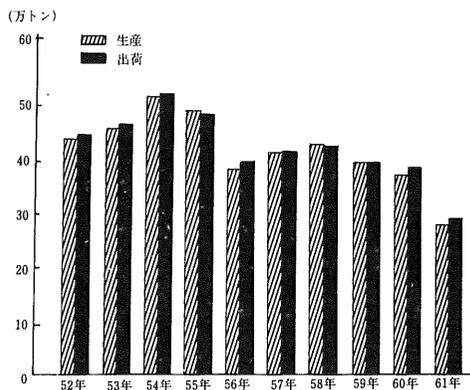


図-6 アルミサッシ合計年別生産・出荷実績 (建材統計年報・月報より、61年は1月~9月実績)

62年を展望する

いる。

近年の既存建築物における改修需要の増加から、アルミサッシも、この分野への需要が期待されている。現在採用されている具体的な改修工法としては従来のハツリ工法に代わるサッシカバー改窓工法が脚光を浴びている。同工法はスチールサッシなどの改修を目的として開発されたもので、現在改修物件の3分の2あまりにこのシステムが採用されている。腐食したスチールサッシに補強スペーサーを溶接し、その上にアルミサッシをビス止めあるいは溶接する工法で、従来のように居住者が工期中に移転したり、躯体部分の補修の必要がない点が大きな特徴である。さらに、工期も従来工法の約3分の2ですみ、コストも約80%と割安になっていることから、今後ますます普及するものと考えられる。この工法では、シーリング材もアルミサッシの裏込めに多用されている。

一方、住宅用の塩ビ製サッシも北海道など寒冷地を中心に需要を高めている。結露対策上、金属製サッシよりもメリットが多く、二重サッシが採用されるケースも多いが、メーカー各社とも現在この方向で製品開発を進めている。こうした分野へのポリウレタン系1成分形をはじめとするシーリング材の需要も大いに注目されるところである。

3-4 板ガラス

板ガラスの需要動向は表-7に示すように、普通板ガラス・変り板ガラスが生産量、出荷量とも依然減少傾向にあり、また、フロート・みがき板ガラスも生産量に関しては60年まで増加傾向にあったが、61年1～9月では前年同期比5.3%の減少を見ている。しかし出荷量については伸び率こそ低下したものの依然増加を続けている。これは最近の高層建築で要求される美観上の要素、すなわち表面の平滑性、優れた透視像や反射像に加え、耐久性に優れた長期間の使用に耐えるため高価ではあるが、結局経済的になることなどによっている。

このほか、現在も好調に推移しているものに断熱

複層ガラスおよび安全ガラスがある。断熱複層ガラスは、省エネルギーを目途としてすでに北海道など寒冷地で多用されており、関係各界から注目を集めている。通産省の統計では60年12.3%増、61年1～8月で前年同期比13.8%増と好調な伸びを見せている。

一方、安全ガラスである合せガラス、強化ガラスは破損しても飛散せず(合せガラス)、また飛散しても細粒状(強化ガラス)になり、安全性が要求される学校、病院、一般家庭、自動車等に普及している。特に昨年、日本建築防災協会がまとめた「ガラスを用いた開口部の安全設計指針」では、合せガラスおよび強化ガラスの採用が明記され、すでに建設省より全国都道府県等特定行政庁へ通達がなされていることから、今後の需要増もますます期待されることである。また合せガラスについては本年3月より自動車のフロントガラスへの適用が法制化されるためこの方面への需要増も見込まれる。

表-7 板ガラス生産・出荷量 (板ガラス協会調べ)
(単位: 1000換算箱)

種類 暦年	普通板・変り板ガラス				フロート・みがき板ガラス			
	生産		出荷		生産		出荷	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
55年	17,915	96.8	18,174	97.5	22,535	114.8	21,519	113.5
56年	10,964	61.2	13,315	73.3	23,508	104.3	20,947	97.3
57年	9,476	86.4	11,865	89.1	24,216	103.0	23,381	111.6
58年	7,497	79.1	7,604	64.1	26,427	109.1	25,965	111.1
59年	7,160	95.5	7,115	93.6	26,814	101.5	26,340	101.4
60年	6,982	97.5	7,008	98.5	28,411	106.0	27,568	104.7
61年1月～9月	4,788	92.0	4,899	95.6	19,714	94.7	20,468	102.0

換算箱: 種々の厚みの板ガラスを2mm厚みに換算して1箱=9.29㎡で計算

表-8 複層ガラス生産量(通産統計) (単位: 1000㎡)

種類 暦年	安全ガラス				複層ガラス	
	合せガラス		強化ガラス		数量	前年比
	数量	前年比	数量	前年比		
55年	5,292	135.5	34,472	120.4	733	—
56年	5,234	98.9	34,550	100.2	775	105.8
57年	5,375	102.7	34,188	99.0	974	125.6
58年	5,952	110.7	37,713	110.3	935	96.0
59年	6,489	109.0	38,843	103.0	1,003	107.3
60年	8,805	135.7	40,692	104.7	1,127	112.3
61年1月～8月	6,929	133.8	26,013	96.2	777	113.8

このように板ガラスの需要動向は、製品種類によってかなりの格差があるが、トータルではほぼ横バイと考えられ、業界では今後の需要拡大に力を注ぐ方針である。

窓ガラスには安全対策として弾性シーリング材およびゴムガスケットの使用が定着しており、かつてのガラスパテの打替えも行なわれている。今後は安全性など社会的なニーズにマッチした板ガラス製品の需要増に対応しシーリング材需要も徐々に増加していくものとみられる。

また、近年わが国でも注目を集め始めてきたSGS構法については、各ガラスメーカーともその営業的メリットから興味を示しているが、安全性など研究すべき課題や問題点が多いことも事実である。シーリング材メーカー、さらに設計者、施工者をも含めた今後の技術面での展開が期待されるところである。

3-5 ALC パネル

1934年にスウェーデンで初めて工業生産化されて以来、ALCパネルは着実に需要を拡大してきた。わが国では、1964年から生産が開始され、現在、イトン、シポレックス、ヘーベル、デュロックス（いずれも商品名）の4種がJIS製品として市販されている。

ALCパネルの最近の需要動向を見ると、昭和59年度の生産量が2,691,361㎡（前年比12.1%増）で、60年度も2,861,754㎡（同6.3%増）と好調に推移している。また、出荷量でも59年度が2,683,133㎡（同13.7%増）、60年度でも2,862,798㎡（同6.7%増）と増加傾向を示している。これは、ALCパネルがこれまでの主な需要分野であった中低層建築、店舗併用住宅だけでなく、内装間仕切など用途の多様化で、一般住宅分野にも需要が拡大されたことや、長年の実績から耐火建築材料として住宅金融公庫の融資対象にもなっていることなどがあげられている。また、60年2月に改定となった建設省建築工事共通仕様書で、ALCパネルの適用範囲が従来の間仕切壁、屋根に加え床と外壁にも適用されるようになったことも一因

となっている。しかし、61年に入ってから円高や設備投資手控えの影響などにより4～9月までではあるが、生産量が前年同期比0.9%減、出荷量が同0.6%減と減少もしくは横バイの状態となっており、ここ数年、順調に推移していた需要増にブレーキがかかっている。ALC業界としては、ひところの伸び率は期待できないものの、今後も断熱性を有し化粧性も備えた高付加価値製品としての拡販を狙い、需要拡大を図っていく考えである。

こうした高付加価値製品の特性については、まず断熱性が高いため、鉄筋コンクリート造に比べ暖房に必要なエネルギーが約半分で済み、防音材としての効果も高い。さらには現在、各地で進められている建築物の不燃化対策で耐火建材として大いに評価され、また、JASS 21でも昨年11月より耐震設計法の見直し作業が行なわれており、この分野での信頼度も高まるものと思われる。これらの要因を加えれば今後の需要増加も期待できるだろう。

ALCパネルが使用される部位は、外壁用が約70%、残りは屋根、床、間仕切である。使用されるシーリング材は、90%以上がアクリル系で、主にパネル間のジョイント部に使用されている。このほか用途、条件に応じてポリウレタン系、変成シリコン系など耐久性に優れた材料も使用されている。しか

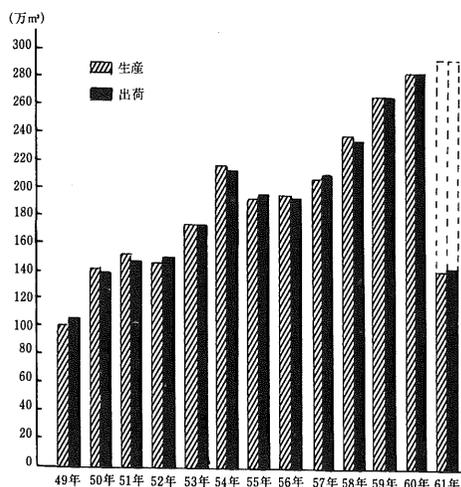


図-7 ALCパネル生産・出荷統計(通商産業省調べ)
(61年度は4月～9月の実績、点線は推定)

62年を展望する

し、量的には、安価であることや作業性の良さといった点から、依然としてアクリル系の主流は変わっていない。

ALCパネルの需要は、ここへきて若干停滞のみではあるものの、一般住宅への普及、省エネ、不燃化といった時代のニーズによって、現状維持以上のレベルになるものと推測される。一方、シーリング材に関しては、ユーザーの要求性能の高度化などから、適材適所にそった対応がなされるものと思われ、アクリル系一辺倒も徐々に変化していくものと考えられる。

4. メンテナンス用途のシーリング材

建築後10年以上を経過した建物の外壁を中心とした改・補修工事が、ここ数年来急激にふえている。近代建築の軽量・柔構造化とともに拡大普及したシーリング材であるが、これら改・補修期にはいった建物に対する需要も、ここにきて用途分野の一面を形成するに至っている。シーリング材自体の使用量としては、出荷量全体から見ればまだわずかであるが、これに伴う付帯工事も含めれば相当額にのぼるため施工店を中心として注目度は高まる一方である。

一般的にはメンテナンス用途として分類されるが、これを細かく分けると①シーリング材の寿命到達に伴う全面的再施工②建物の用途変更に伴う防水・気密性能向上を目的とした工事——となる。また、シーリング材自体とは関係なく、他部材の改修、例えばサッシの取替えなどに付随するシーリング工事、外装材塗替に伴うシーリング工事なども頻繁に行なわれている。

現在行なわれているメンテナンス用途としてのシーリング材で最も多量に使用されているのが、上記の②である。建物の経年別に見た外壁からの漏水は、8～15年に多発している傾向があることからシーリング防水の改修工事も、この時期に頻度が高くなっている。改修工法仕様の選定に当っては材料性能の

把握、特に、施工環境ならびに経年的な劣化条件にどう対応すべきかを知ることが重要である。また、シーリング材普及過程における設計伸縮率の漸減傾向と、それに伴う目地設計の変化なども改修工事の要因となっており、メーカー、施工業者（ゼネコンおよびサブコン）、さらに建物のオーナーに至るまで、その材料および施工・管理技術に注目するようになってきた。

そうした点で、ひとつの標準となるのが、建設省総プロ活動によるシーリング防水の劣化診断、補修・交換、総合耐久設計指針である。この運用により実際の補修工事への実施基準が得られ、また、適正な工事、目地設計、材料選定への目安としても適用できるのである。

当工業会もこの作成作業に協力させていただいたが、この成果はあくまで指針としてまとめられたもので絶対的な判断基準となるものではない。今後の実用を経て、試行錯誤的に運用が図られるものである。

前述したように、今年は総プロの成果が実用段階に移される年でもあり、従来のように劣化即打直しというパターンでは技術面でも対応しきれなくなるのは明らかである。劣化現象という現実に対し、その原因と解決策の究明がより厳格になると考えられ種々の情報に積極的に対応することが必要である。

5. 土木分野のシーリング材

ここ数年来、公共投資政策は、大幅な財政赤字や国債残高の累積といった財政事情に強く規制されて、抑制策がとられている。一方、民間消費・内需も、新設住宅着工戸数などに増加傾向が見られるものの、総体的には伸び悩みの傾向が顕著になっている。このような中で、政府施策として建築工事前倒し発注など公共事業の執行促進が図られているが、61年度についても建設省関係の予算規模は前年度より微減傾向で推移し、大幅な変動要素は見当たらないままである。このような状況を背景にして、治水、道路、

下水道、都市公園など現行の土木関連五箇年計画も、はかばかしい進捗が見られないというのが現状である。

土木分野で用いられているシーリング材には、注入タイプおよびエラストイトなどのアスファルト系を主流として、ポリウレタン系、ブチルゴム系、エポキシ系など各種あるが、このほかにもクロロプレンゴムやEPTを主成分とした成形タイプの目地材、強度・接着性を重視したポリマーセメント、発泡樹脂や木質材料を使用した板状のものなど多岐にわたっており、構造物の用途・種類、目地の目的によって選択使用されている。また、土木構造物の場合、目地幅が大きく、大規模物件が多いこともあり、性能とともに使い易さと価格が選択に当たっての大きなポイントとなっている。

〈道路・橋梁目地〉 目地材が使用されている道路はセメント舗装道であり、道路総延長はアスファルト舗装道に比べるとはるかに少ない。しかし、トータルコスト面の優位さから年間1,000km前後の施工が確保され、第9次道路整備五箇年計画のもと、本州四国連絡橋や、東北縦貫自動車道、九州横断自動車道などの高速道路を中心に施工実績を伸ばしている。

現在用いられている道路目地材は、成形タイプと注入タイプがあり、成形タイプには木質系、ゴム・樹脂発泡体、瀝青質繊維系、エラストイトなどがあり、木質系、瀝青質系が主流をなしている。注入タイプには、加熱注入タイプのゴムアスファルト系、常温硬化型のポリウレタン系、ポリサルファイド系、シリコン系などの弾性シーリング材があるが、これらの製品についてはコストを含め要求性能のすべてを満足させるものは見当たらず、(社)日本道路協会では加熱注入タイプのゴムアスが妥当としている。弾性タイプのシーリング材は、オイルピット、料金所、インター周辺など耐油性や施工性など特殊性能が要求される箇所に使用が限られているようだ。また、最近では化粧性が要求される遊歩道やコンクリート塀などに、ポリウレタン系を主体とした弾性シー

リング材が頻繁に用いられている。

〈鉄道・高架橋関係〉 補修も含め、近年、総体的には弾性シーリング材の使用が顕著になっている。なかでも、国鉄などではポリサルファイド系が一般的な普及を見せており、新幹線の駅舎など要求される仕様基準が高いところでは、外壁の金属パネルの目地止め用をはじめとしてシリコン系も使われている。また、駅舎のALCパネルなどにはポリウレタン系が用いられている。

高架橋の場合は、ゴム系のガスケットタイプが多用されているが、橋桁の鉄部とコンクリート部の境目に錆止めおよび亀裂誘発用の目地としてシリコン系が使用されているような例もあり、また、変形能力と結合接着性に富む低モジュラスタイプの弾性シーリング材の使用も検討されている。さらに、地下鉄のセグメント部や簡易補修材としてもシーリング材が採用されており、これらは成形タイプのゴムガスケットと併用されるケースも多い。

〈その他〉 近年、公共工事の中でも重要施策となっている市街地再開発での土木工事、共同溝、農業用水路、水処理施設などにシーリング材の適用が徐々に浸透してきている。特に、既に実用化されているNTTの日本縦貫光ファイバー網では、ケーブル伝送路に相当量のシーリング材が使用された模様でもあり、今後、新電電事業者による光ファイバー網の建設工事が注目的となっている。総体として変形能力とともに強度が要求されるこれらの土木分野では、作業性の良さを優先して使用している面もあるが、価格と要求性能に見合った適材適所の使い方が、今後は一層、進展していくものと思われる。

6. ルートセールス分野でのシーリング材

シーリング材のルートセールス分野すなわち、防水専門工事業以外の分野では、シーリング材について様々な認識が持たれている。要するに専門業者に依頼するまでもない工事内容——一般ユーザーを含む補助的防水工事に使用される場合が多い。

62年を展望する

この分野での傾向としては、1成分形のニーズが圧倒的に多い。基材別ではシリコン系が大部分を占め、変成シリコン系、ポリウレタン系の伸びが目立っている。DIY ホームセンター等では、価格が比較的安く、使い勝手のよいアクリル系がシリコン系に次いで人気を集めている。弾性シーリング材の各種性能特性が一般利用者に浸透し、特に1成分形の普及で手軽に利用されるようになったことが背景となっているようだ。

● 建築金物、機械工具関係

建築金物分野でのシーリング材の流れは、メーカー代理店もしくは1次問屋から建築金物問屋へ、ここから建築金物店、建材店などに流れるが、末端に行くほど不確定要素が強くなる。

取扱い量は、増加傾向にあり、建築金物問屋の中堅あたりでは、シリコン系を中心に月当り4,000～5,000本は販売している。大工や設備業者などを客筋とする一般金物店でも取扱い量が増えており、都内の中堅クラスでは月当り20～30万円程度の売上げがある。

一方、機械工具関係では、総合問屋と独自の専門分野を持つ専門問屋とがある。専門問屋関係ではシーリング材と全く関係のない業者も多いが、総合問屋では取扱い品目がかかなり豊富であり、近い将来取扱いを計画している者も多い。やはりここでもカートリッジタイプのシリコン系1成分形が99%を占め、例えば年間売上高12億円のある業者では2,000万円程度がシーリング材の売上高である。また末端工具店などでも数量的には少ないがシーリング材を取扱う店が年々増加しており、今回の取材範囲では総じて総売上げの1%程度（社員4～5人、年間30～40万円）、月当たり20本程度を販売している店が多かった。購入層は、鉄工所、精密機械メーカー、一般家庭などである。

● 配管設備等関係工事ルート

空調、水道衛生など配管設備工事でもダクトまわり、屋外での配管まわりなどにシーリング材を使用している。もちろん関連して漏水箇所、ひび割れ等

にも使用しているが、配管工事プロセスにおける簡単なシーリングのみを目的としているのが実情である。

シーリング材はカートリッジタイプのシリコン系1成分形が主流を占め、最近ではチューブタイプも多い。変成シリコン系も増加している。反面、ブチルゴム系も根強い支持がある。使用量については、工事の規模・内容でかなりの幅があり、1ヵ月2～3本程度の業者から100本以上になるところもある。この分野のユーザーのシーリング材の選択理由は、販売店の奨め、従来から使用している、設計事務所の指定、安価——といった要因がほとんどで、素材、メーカーについての関心は、さほどないように見受けられた。また使用上の要望として施工箇所が狭所の場合、使い勝手のよい小型容器が求められ様々な容量のチューブタイプが多用されている。大体が少量使用者であり、シーリング材は補助的な位置づけでしかなく、性能よりも容器の工夫や保存性などに関心が集まっているようである。

● その他工事ルート

工務店の場合、内装については自前で手掛けることが多く、特に補修、改修となると全面的に取扱うケースが増えてきている。浴槽や台所のタイル目地などにシリコン系、変成シリコン系などを使用しており、月に2～3件の新築工事では、内装のみで月当り10本前後の使用量である。

塗装業については様々で、大手・中小あるいは対象となる工事内容でシーリング材に対する取組み方も異なっているようだ。従来は大体が直接手掛けることは少なかったようだが、特に高度の技術を要さないような場合は営業的にも取組んでしまうことがふえており、これも需要の広がりを見せている分野であろう。

このほかガラス工事店、テント取付業、自動ドア取付業などの専門業者、あるいは一般住宅の簡易補修を手掛ける営繕業者もシーリング材のユーザーであり、使用量も増加の傾向にある。

● DIY ルート

わが国でDIY (Do It Yourself) が認知されはじめたのは第1次石油危機後のこと。昭和47年に本格的なホームセンターが2店誕生してから、おからの余暇利用ブームとあいまって、DIY産業は低迷している既存産業を尻目に急成長を続け、昭和60年現在でホームセンター1,500店、総売上高1兆円に達するに至った(表-9, 表-10)。

大ざっぱな感触では、金額面で全シーリング材中に占めるDIYシーリング材の割合は1割に満たないものと思われる。しかし、比率としては小さくても、価格的にバラツキがない点がメリットと考え各メーカーとも力を入れているようだ。

〈油性コーキング材〉 屋根、外壁のひび割れなど外まわりの補修にもっぱら用いられている。歴史も古く最もポピュラーな存在であるが、乾きが遅いことから家庭用としては使いにくい面があり、現在、売上は長く横バイの状態が続いている。

〈シリコン系〉 DIYシーリング材の6~7割を占めている。本来の用途は浴槽とその周囲の隙間やタイル目地、流し台の充てんであるが、素人でも失敗が少ないことから、窓ガラスやサッシまわり、また電気絶縁性があるので電気接続部分などあらゆる用途に使われる人気ぶりである。

〈アクリル系〉 内外壁の隙間やひび割れ充てんに使われている。安価で使いやすく、また、近年、インテリアに対する関心がとみに高まってきており、その影響もあって若年層を中心に売れ行きは順調。

〈エポキシ系〉 主に木製浴槽の水漏れ補修、タイルの接着などに使われている。売上は漸増ながら伸びているが、接着剤的な使われ方が中心であり、シーリング材としての用途は2次的なものとなっている。

〈その他のシーリング材〉 前述した4材料の他にもポリウレタン系、変成シリコン系、ブチルゴム系などがDIY市場に進出しつつある。

ポリウレタン系は建築工事分野では価格、性能の両面からすでに高い評価を得ているが、DIY分野にあってはその位置付けがはっきりせず、主にセミプロ向けのものである。変成シリコン系は、DIY分野ではまだなじみが薄い、徐々にではあるが一般家庭でも使われはじめている。しかし、米国のようにさまざまな変性タイプが本格的に登場するにはまだ時間がかかりそうである。

DIY業界におけるシーリング材の需要は今後も順調に伸びる傾向にある。慢性的な職人不足は人件費の高騰を生み、簡単な修理は自分でやらざるを得ない状況になっている。また、DIY全体のマーケット拡充によってシーリング材の売上にもはずみがつくものと思われる。

ただしここで留意しておかなければならないことは、近年わが国の場合、一般家庭でのシーリング材の用途は補修用に限られてきており、しかも使用者は主婦層にも広がっていることである。実際に素人にも分かるようなパッケージの表示法に改善し、また、ラミネート型式のチューブタイプも普及し好評を得ている。

したがって、ユーザーにますます主婦の増えることを想定し、よりわかりやすい商品表示、用途に合わせたパッケージの多様化、ホームセンターのアドバイス体制の確立などがさらに改善されるならば、今後ますます多岐にわたったDIY分野での需要が期待できるものと思われる。

表-9 全国ホームセンター店舗数推移

((社)日本DIY協会調べ)

	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年
ホームセンター数	店 550	店 670	店 880	店 1,050	店 1,220	店 1,340	店 1,500
伸び率(対前年比)	22.2%	21.8%	31.3%	19.3%	16.2%	9.8%	11.9%

表-10 全国ホームセンター総売上高推移

((社)日本DIY協会調べ)

	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年
総売上高(推定)	億円 3,850	億円 4,690	億円 5,600	億円 6,720	億円 8,130	億円 9,326	1兆円 以上
伸び率(対前年比)	22.2%	21.8%	19.4%	20.0%	21.0%	14.7%	

7. 自動車用シーリング材の動向

今や、自動車用シーリング材に求められるのは、単なる防水機能に止まらない。それらは、すでに当然の条件であり、新たな課題は、自動車の防錆力向上、空力特性の改良、軽量化、コスト低減、製造工程の自動化などをどうバックアップできるかという点である。

自動車の組立は、車体工程・塗装工程・艤装工程の3つに大別されるが、各工程において様々なシーリング材・接着剤が使用されている。ここで使用される材料は、接着用、シール用と明確に区別することは難しい。そこで、各工程を追ってシーリング・接着剤の現状と課題を紹介する。

車体工程においては、防錆に関するニーズが最も強く、従来、強度の要求が中心だったフードやドアのヘミング部に使用するエポキシ系接着剤にも防錆能力への期待が高まっている。さらにマッシュクタイプのクロロプレンゴムはPVCプラスチック系の無溶剤タイプに変わりつつある。さらにエポキシ樹脂系を中心とする構造用接着剤とスポット溶接を併用したウェルドボンド技術によってボデー剛性を高める検討が進められている。鋼板の薄肉化によって局部的に剛性を高める必要もあるため、鋼板とガラスクロス、金属箔、発泡体などをエポキシ系接着剤で積層した補強材がドア裏などに使用されている。また最近では、車体の軽量化技術として、ボデーパネルや部品のプラスチック化が進み、その接合技術として接着剤が欠かせなくなっており、ここでは二液性エポキシ系や二液性ウレタン系の構造用接着剤が用いられている。

アメリカでは「10-5-2」と呼ばれる厳しい防錆目標がかかけられ、耐孔あき10年、表面錆5年、エンジンルーム内耐錆2年という厳しい要求が出され、表面処理鋼板、塗装システム、局部防錆など総合的開発が進められている。またヨーロッパでは、すでに防錆鋼板を全面的に採用した車が市販されて

いる。新防錆鋼板の主流になっているのは、耐食性、塗装性、加工性の向上を目指した二層メッキ鋼板である。塗装システムにおいては、防錆性・外観の向上が期待される厚膜型カチオン電着塗装が実用段階に入り、今後各社で導入されるもようである。こうした新しい塗装・前処理に対してシーリング材・接着剤がどんな影響を与え、また受けるのか、建築における仕上材との関係同様、重要な問題となっている。

塗装工程においてはPVCプラスチック系のボデーシーラーによる防錆性向上と、ロボットによるシーラー塗布の自動化が検討されており、各社では、自動塗装機、ロボットの導入が主流となり、引き続き活発に行なわれている。特にモーター式ロボットはメンテナンスが容易で、使い易いことから注目され、今後油圧式ロボットに取ってかわりそうな勢いである。またCAD(コンピューター支援設計)を取り入れたロボットの開発、レーザー、各種センサーを用いた検査ロボットの実用化も注目されている。

艤装工程に使用されるシーリング材・接着剤は、従来の溶剤型から感圧系接着剤を用いた両面テープエマルジョン・ホットメルトなど無溶剤型に移行しており、クォータウィンドのシールや、リヤコンピランプレンズハウジングと車体との接着にホットメルトブチルが使用されている。

シーリング材が最も重要な役割を果たす、ウィンドガラスとボデーの接着は、ボデー剛性アップに寄与するものとして定着した。ここで使われるシーリング材は、湿気硬化型の一液ウレタンが一般化し、

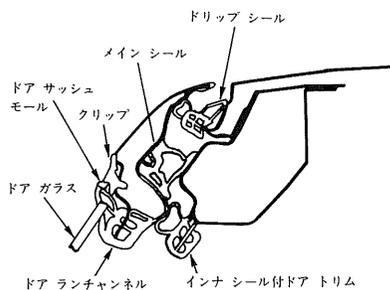


図-8 三重シール構造

シール性、接着性の良さから、リヤウィンド、クォーターウィンドの接着にも適用されている。

また空力特性向上、風騒音低減のために、ドアまわりに三重・四重シールを採用する車も増えている。

このように自動車用シーリング材・接着剤に求められる性能は年々、多方面に広がり厳しくなっている一方、円高による輸出不振解消のため自動車そのものの現地生産体制が整えられてきた。しかし現地

生産といっても地元の部品を直ちに全面的に使用するわけにはいかないため、国内部品メーカーも多数、米国等に工場建設を始めている。もちろんシーリング材もこの例外ではなく、一部メーカーでは、米国における現地生産準備を進めている。今後も、自動車用材料・構造の変化に対応したシーリング材・接着剤の開発が期待されている。

確かな信用をお届けする

なにわ会

建築用シーリング材・防水材・関連製品のご用命は
信頼に応える当会メンバーにお申しつけ下さい

大阪御国商事(株)	〒567 大阪府茨木市横江2-1-12	TEL 0726(34)8214
(株)ジャビコ大阪支社	〒530 大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル本館	TEL 06(345)6871
フヨー(株)大阪支店	〒532 大阪市淀川区宮原5-6-10	TEL 06(395)0201
(株)前田精市商店	〒541 大阪市東区道修町1-17	TEL 06(203)4641
モリシタ化学産業(株)	〒543 大阪市天王寺区勝山1-6-7	TEL 06(771)3929
鐘工業(株)	〒534 大阪市都島区高倉町1-11-12	TEL 06(921)4231
岸田資材工業(株)	〒652 神戸市兵庫区中道通5-1-13	TEL 078(575)2953
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	〒554 大阪市此花区西九条3-12-17	TEL 06(468)3521
(株)旭栄	〒530 大阪市北区天神橋1-1-1	TEL 06(354)0356
(株)宮崎商店	〒541 大阪市東区平野町4-53-2	TEL 06(231)5891
日東工材(株)	〒553 大阪市福島区吉野1-14-2	TEL 06(445)7621

オートンシーラー101N-LM

性能主義で仕上り上手。

1成分形ポリウレタン系シーリング材

〈非汚染タイプ〉

新発売!



オートンシーラー101N-LMは
当社のウレタン技術から生まれた
ノンブリージング低モジュラスタイプ(非汚染タイプ)の
1成分形ポリウレタン系シーリング材です。
JIS A 5758の耐久性区分では9030に
適合する高性能シーラントです。
幅広い用途に安心してご使用頂けます。

(カラー：グレー、ホワイト)
320mlカートリッジ

特長

- 各種の外壁仕上塗材を塗装しても目地汚染を全くおこしません。
- 低モジュラス高伸度で良好な弾性復元力を持っているため振動・伸縮に対する追従性に優れています。
- 伸びに対する内部応力が小さいため、ALCなど強度の弱い被着体にもうってつけです。
- 多くの被着体に対し優れた自己接着性を示します。
- 硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
- 作業性に優れ、低温での押出し性も良好です。
- 耐水性、耐熱耐寒性に優れ長期にわたり高性能を維持します。

何を塗っても
大丈夫!

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋 2-23-1 ☎(03)437-3482(代表)
大阪市淀川区宮原 1-8-12 ☎(06)396-1421

発売元

株式会社 岩田商会

仙 台	022-266-1007	名 古 屋	052-231-8591
東 京	03-438-0511	大 阪	06-356-1121
長 野	0262-24-0309	広 島	082-249-7642
浜 松	0534-64-6331	福 岡	092-472-0235

性質・用途	アミノキシ形			酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
	1成分形	2成分形	3成分形			
低モジュラス (メタル・PCカー テンウォール用)	トスシール 10 ※1	トスシール 361 ※2				
一般用 (ガラス・一般建材用)				トスシール 371	トスシール 380	トスシール 381
中・高モジュラス (ガラス用)		トスシール 62		トスシール 17		
防カビ性 (ハスタフ用)		トスシール 63		トスシール 73		トスシール 83
超透明 (ショーケース用)				トスシール 78		
難燃性 (防火区画内用)		トスシール 64				
流動性 (土木用)		トスシール 67				
マスチック型 (油性補修用)			トスシール 90			

※1 JIS A5758 SR-1-9030-A-N 認定品、許可番号第381142号 ※2 JIS A 5758「SR-2-9030-A-N」認定品、許可番号第381142号

信頼のブランド

トスシール

各種用途に適した 製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足のか製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

- 建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコンにご相談ください



東芝シリコン 株式会社
 本社/〒106 東京都港区六本木6-2-31 ☎ (03) 479-3501
 支店/大阪・名古屋 ● 営業所/札幌・仙台・金沢・広島・福岡

- 可使用時間が長く、しかも弾性の発現が早い。ため硬化途中の動きに対してすぐれた追随性を発揮し、動的耐久性にもすぐれています。
- 年間を通して広い温度範囲下で安定した良好な作業性が得られます。

- 目地を汚染することがありません。
- ほとんどすべての被着体にすぐれた接着性があります。
- 耐熱・耐水・耐候・耐オゾン・耐薬品性にすぐれ、安定した性能を維持します。

オールラウンド **新登場** シーラー!

メタルカーテンウォールから

一般RC造までピシリと決める。



2成分形変成シリコン系弾性シーリング材

POSY-ILタイプII

ボス

色	白	グレー	ブラック
	ブルー	グリーン	パープル



接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社

本社 〒141 東京都品川区東五反田4-5-9 ☎(03)442-1341

東京支社 ☎(03)442-1311 札幌営業所 ☎(011)261-1471 八王子営業所 ☎(0426)46-4851 神戸営業所 ☎(078)371-6291
 東京支社北分室 ☎(03)845-5461 仙台営業所 ☎(022)94-6167 静岡営業所 ☎(0542)52-3031 岡山営業所 ☎(0862)32-8412
 大阪支社 ☎(06)251-3555 新潟営業所 ☎(0252)45-2281 金沢営業所 ☎(0762)51-3501 広島営業所 ☎(082)249-0941
 名古屋支店 ☎(052)781-3166 石川営業所 ☎(0280)92-3338 豊橋営業所 ☎(0532)62-5164 福岡営業所 ☎(092)741-7188

「シーリング材と外壁化粧防水材の取合い」 共同研究の報告

技術委員会

はじめに

先に日本建築仕上材工業会（略称NSK）と日本シーリング工業会の両技術委員会による共同研究を実施し、その結果については“シーリングニュース第28号”誌上で報告した。今回はこれに引続き「外壁塗膜防水材協議会（現・日本アクリルゴム防水材工業会）」「日本シーリング工業会」の両技術委員会による共同研究を実施し、ここに所定の試験を終了したので発表する。

共同研究の目的

この共同研究の目的は、前報のNSKとの共同研究同様“材料別の傾向を明確にし、使用者に対しては現状の認識とともに材料の採用・施工時における注意の喚起、また、材料供給者としても現場でのクレームの減少に役立てる”ことであり、まず第1段階として、材料別の傾向を明確にすることを主目的に試験を行なった。

試験内容

1. 供試材料

試験にとり上げたシーリング材を表-1に、同じく外壁化粧防水材他を表-2に示す。

表-2において、外壁化粧防水材（JIS A 6021）に該当するものはアクリルゴム系のみであるが、この分類に入らないアクリル樹脂系（単層型弾性タイル）も今回あわせて試験に供した。

なお、バリアープライマーは、シーリング材メーカーごと個別に塗布されたものである。

2. 試験体の作製方法

図-1のアルミ製みぞ容器にシーリング材を充てんし、常温で7日間養生する。この間に、試験体

表-1 供試シーリング材一覧表（23社53点）

名 称	試料数	記 号
2成分形シリコン系	3	SR-2
1成分形変成シリコン系	4	MS-1
2成分形変成シリコン系	11	MS-2
2成分形ポリサルファイド系	12	PS-2
1成分形ポリウレタン系	5	PU-1
2成分形ポリウレタン系	16	PU-2
2成分形アクリルウレタン系	2	UA-2

表一 2 供試外壁化粧防水材他一覧表（4社12点）

成 分			試料数	記号
プライマー	主 材	トップコート		
溶 剤 型	アクリルゴム系	2液性アクリルウレタンエナメル	1	a
〃	〃	1液性アクリルエナメル	1	b
〃	アクリル樹脂系	な し	1	c
特殊変性エポキシ	アクリルゴム系	2液性アクリルウレタンエナメル	1	d
〃	〃	〃	1	e
〃	〃	〃	1	f
1液性溶剤型	アクリル樹脂系	な し	1	g
〃	アクリルゴム系	水性エナメル	1	h
〃	〃	1液性アクリルエナメル	1	i
水性アクリル樹脂	アクリルゴム系	1液性アクリルエナメル	1	j
〃	〃	2液性アクリルウレタンエナメル	1	k
〃	アクリル樹脂系	な し	1	l

(注)外壁化粧防水材に該当するもの：a, b, c, d, e, f, h, i, j, k
 弾性タイル（単層型）に該当するもの：c, g, l

表一 3 観察項目・内容と判定基準

観察項目	内容（欠陥現象）	観察方法	判 定 基 準
タック	表面タックの有無，程度	指 触	<ul style="list-style-type: none"> ●異常なし ●やや異常あり ●明らかに異常あり ●著しく異常あり
変 色 ^(注)	<ul style="list-style-type: none"> ●黄 色 ●ブルー ●汚 れ ●黒 色 ●黒しま } (汚れ) ●波むら } 	目 視	
表面形状	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくれ（全体） ●ふくれ（点在） ●しわ（ちぢみ） ●平滑化（パターンくずれ） ●ピンホール ●亀裂 		

(注)外観上で色調に異常が認められた場合は，すべて変色として判定した。従って，変色の項目にはホコリ付着による汚れも含む。

表-4 自然暴露観察結果 (次ページにつづく)

項目	シーリング材		SR-2			MS-1			MS-2			PS-2	
	バクリ期間(月)	パリアープライマー 塗膜	3	6	12	3	6	12	3	6	12	3	6
			3	6	12	3	6	12	3	6	12	3	6
変色	a	アリ	100	100	100	75	75	75	100	90	100	83	83
		ナシ	100	100	100	25	25	25	45	45	27	25	25
	b	アリ	100	100	100	100	100	75	100	100	100	91	91
		ナシ	100	100	100	100	100	75	100	100	81	41	41
	c	アリ	100	100	33	100	100	100	100	100	100	91	91
		ナシ	100	100	33	100	100	75	100	100	81	50	50
	d	アリ	100	100	100	100	100	75	100	100	90	91	91
		ナシ	100	100	100	75	75	0	54	45	0	16	16
	e	アリ	100	100	100	100	100	75	90	90	90	91	83
		ナシ	100	100	100	75	0	0	27	18	0	16	16
	f	アリ	100	100	100	100	75	75	100	100	90	75	83
		ナシ	100	100	100	100	75	0	90	90	0	16	16
	g	アリ	100	100	100	75	50	75	100	90	81	58	75
		ナシ	100	100	100	75	25	0	45	9	0	25	25
	h	アリ	100	100	100	75	75	75	100	90	90	83	83
		ナシ	100	100	100	0	0	0	18	0	0	8	16
	i	アリ	100	100	100	100	100	75	100	100	100	66	75
		ナシ	100	100	100	75	75	50	81	100	81	16	8
	j	アリ	100	100	100	50	50	50	90	72	72	58	33
		ナシ	100	100	100	25	0	0	0	0	0	0	8
k	アリ	100	100	100	75	75	25	90	90	81	25	16	
	ナシ	100	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	
l	アリ	100	100	100	75	75	75	100	100	100	75	75	
	ナシ	100	100	100	50	50	0	54	45	0	8	8	
平均	アリ	100	100	94	85	81	70	97	93	91	74	73	
	ナシ	100	100	94	58	43	18	51	46	22	18	19	
表面形状	a	アリ	100	100	100	100	75	100	100	100	90	100	91
		ナシ	100	100	100	100	75	75	100	90	54	100	66
	b	アリ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	91
		ナシ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	75	58
	c	アリ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		ナシ	100	100	100	100	100	100	100	100	90	91	100
	d	アリ	100	100	100	100	75	75	100	90	90	91	83
		ナシ	100	100	100	100	75	50	81	45	0	25	25
	e	アリ	100	66	100	100	100	75	90	27	90	91	83
		ナシ	100	66	100	100	25	0	54	27	0	16	8
	f	アリ	100	100	100	100	100	75	100	90	100	91	91
		ナシ	100	100	100	100	100	75	100	63	81	16	16
	g	アリ	100	66	100	100	25	75	100	63	100	83	75
		ナシ	100	66	100	75	50	75	100	54	100	50	25
	h	アリ	100	66	100	100	100	75	100	81	100	91	83
		ナシ	100	66	100	100	75	75	81	54	90	75	33
	i	アリ	100	66	100	100	75	75	100	45	100	83	75
		ナシ	100	66	100	100	75	75	100	45	90	8	16
	j	アリ	100	66	100	100	50	100	90	72	100	100	66
		ナシ	100	66	100	25	0	100	18	63	100	75	33
k	アリ	100	66	100	100	100	100	100	81	100	83	66	
	ナシ	100	66	100	25	75	75	90	81	90	58	8	
l	アリ	100	100	100	100	100	100	100	90	90	100	66	
	ナシ	100	100	100	100	75	100	100	72	72	33	8	
平均	アリ	100	83	100	100	83	87	98	78	96	93	81	
	ナシ	100	83	100	85	68	75	85	66	72	52	33	

12	PU-1			PU-2			UA-2			加重平均			全平均
	3	6	12	3	6	12	3	6	12	3	6	12	
83	100	100	100	87	92	93	100	—	100	90	89	92	90
33	20	40	40	75	87	87	50	100	100	49	56	54	53
83	100	100	100	100	100	93	100	—	100	98	97	92	96
25	80	80	60	100	100	93	100	100	100	84	84	71	80
58	100	100	100	100	92	93	100	—	100	98	95	84	92
33	60	80	80	100	93	93	100	100	100	84	84	71	80
75	100	100	100	93	92	87	100	—	100	96	95	86	92
0	60	60	40	87	87	62	100	100	100	62	60	32	51
75	100	100	100	93	92	75	100	—	100	94	91	83	89
0	40	60	40	81	81	50	100	100	100	52	47	28	42
50	100	100	100	93	92	93	100	—	100	92	91	83	88
8	40	60	40	93	93	68	100	100	100	71	71	35	59
58	100	100	100	93	92	81	100	—	100	86	85	79	83
8	40	40	40	75	62	50	100	100	100	56	41	30	42
75	100	100	100	93	92	81	100	—	100	92	89	84	88
8	60	40	40	37	50	43	100	100	100	32	32	28	30
33	100	100	100	93	92	93	100	—	100	90	91	81	87
0	40	60	20	81	81	75	100	100	100	64	67	54	62
41	60	25	80	50	71	68	100	—	100	66	58	66	63
0	20	20	40	12	31	31	100	100	100	16	22	22	20
16	80	100	40	56	71	43	100	—	100	64	66	49	59
0	0	20	20	12	18	12	100	100	100	13	16	15	15
66	100	100	100	93	92	81	100	—	100	90	89	84	88
0	40	40	40	75	68	56	50	100	100	50	49	30	43
59	95	93	93	87	89	82	100	—	100	88	86	80	85
9	41	50	41	69	71	60	91	100	100	53	52	39	48
91	100	100	100	93	42	81	100	—	100	98	79	90	89
91	80	60	40	93	37	75	100	100	100	96	66	73	78
100	100	100	100	100	85	87	100	—	100	100	93	96	96
91	100	100	60	100	87	81	100	100	100	94	86	88	89
100	100	100	100	100	57	81	100	—	100	100	87	94	94
100	100	100	100	100	50	81	100	100	50	98	84	90	91
66	100	50	100	93	28	81	100	—	100	96	66	83	82
0	60	60	60	87	18	75	100	0	100	71	37	41	50
83	100	100	100	93	71	87	100	—	100	94	68	88	84
16	80	40	80	93	37	81	100	100	100	67	32	45	48
75	100	100	100	93	35	93	100	—	100	96	77	90	88
8	100	100	100	93	50	87	100	100	100	79	58	69	69
100	100	25	100	100	42	93	100	—	100	96	54	96	83
100	80	40	100	100	31	87	100	100	100	84	41	94	73
91	100	50	100	100	35	93	100	—	50	98	66	92	86
83	100	80	100	100	31	93	100	100	100	90	49	90	76
83	100	0	40	81	35	81	100	—	100	90	50	83	75
33	80	60	80	93	37	93	100	50	100	75	41	77	64
91	100	50	100	100	28	87	100	—	100	98	54	94	83
83	60	20	100	93	25	93	100	50	100	66	35	94	65
83	100	75	100	93	35	93	100	—	100	94	64	94	85
33	40	20	80	81	37	93	100	100	100	71	45	77	64
91	100	75	100	100	35	100	100	—	100	100	68	96	88
25	100	80	100	100	31	87	100	0	100	84	45	73	67
88	100	68	95	95	44	88	100	—	95	96	69	91	86
55	81	63	83	94	39	85	100	75	95	81	52	76	70

表-5 加熱処理観察結果

項目	塗膜	シーリング材		SR-2	MS-1	MS-2	PS-2	PU-1	PU-2	UA-2	加重平均
		バリ	アプライマー								
変色	a	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	100	100	100
	b	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	100	100	100
	c	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	100	100	100
	d	アリ		100	100	100	91	100	100	—	97
		ナシ		100	100	100	91	100	93	100	96
	e	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	93	100	98
	f	アリ		100	75	100	100	100	100	—	97
		ナシ		100	75	100	100	100	100	100	98
	g	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	91	100	100	100	98
	h	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	87	50	94
	i	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	93	100	98
	j	アリ		100	75	100	100	100	100	—	97
		ナシ		100	75	100	100	100	93	100	96
k	アリ		100	75	100	100	100	100	—	97	
	ナシ		100	75	100	100	100	87	100	94	
l	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100	
	ナシ		100	75	100	100	100	87	100	94	
平均	アリ		100	93	100	99	100	100	—	99	
	ナシ		100	91	100	98	100	94	95	97	
表面形状	a	アリ		100	100	100	100	75	85	—	93
		ナシ		100	100	100	100	80	87	100	94
	b	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	100	50	98
	c	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	91	100	100	100	98
	b	アリ		100	75	63	50	50	64	—	62
		ナシ		100	75	36	16	20	43	100	41
	e	アリ		100	100	100	100	100	92	—	97
		ナシ		100	100	90	91	100	93	100	94
	f	アリ		100	100	100	83	100	92	—	93
		ナシ		100	75	81	25	100	93	100	75
	g	アリ		100	100	100	100	75	85	—	93
		ナシ		100	75	90	66	100	93	100	86
	h	アリ		100	100	100	100	100	100	—	100
		ナシ		100	100	100	100	100	100	100	100
	i	アリ		100	100	100	58	0	35	—	62
		ナシ		100	100	100	50	0	75	100	71
	j	アリ		100	100	100	100	75	92	—	95
		ナシ		100	100	100	100	100	100	100	100
k	アリ		100	100	90	83	100	85	—	89	
	ナシ		100	25	54	33	100	81	100	64	
l	アリ		100	100	100	100	100	92	—	97	
	ナシ		100	100	81	91	100	93	100	92	
平均	アリ		100	97	96	89	81	85	—	90	
	ナシ		100	87	86	72	83	88	95	84	

とに関しては機会をみて改めて論じてみたい。従って、ここではシーリング材と外壁化粧防水材他における類別的傾向を中心にして考察する。

1. 自然暴露について

(1) 材料の種類別傾向

○シーリング材

変色では、PS-2の変化が最も大きくPU-2

やMS-1がこれに次ぐ。

表面形状でもUA-2とSR-2以外はかなり変化があり、中でもPS-2の変化が最も大きい。

○外壁化粧防水材他

変色では、bとc以外はかなり変化があり、中でもjとkの変化が大きい。

表面形状でもbとc以外はかなり変化があり、d



写真-1

表一6 シーリング材各種類別の合格率の最大・最小値（自然曝露12カ月）

項目	シーリング材 バラストキ バリアープライマー	SR-2		MS-1		MS-2		PS-2		PU-1		PU-2		AU-2	
		最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小
変色	アリ	100	91	100	8	100	41	100	0	100	83	100	0	100	100
	ナシ	100	91	33	0	33	0	41	0	91	0	100	0	100	100
表面形状	アリ	100	100	100	50	100	66	100	41	100	91	100	25	100	91
	ナシ	100	100	91	41	83	58	83	41	100	50	100	16	100	91

とeの変化が最も大きい。

また、アクリルゴム系の外壁化粧防水材とアクリル樹脂系の弾性タイルと比較した場合には、その差異は明確ではなかった。

(2) 曝露期間との関係

変色は、曝露期間が長くなるに従い著しくなる傾向がある。

表面形状の変化は、時間の経過とともに増大するもの、逆に減少してくるものなどがあり、一概には傾向を論じられない。しかし、大部分が曝露6カ月後に変化が最大となることは注目される。

なお、この表面形状の変化が減少するということは、一時発生した“ふくれ”が次第に収まってきたものと解釈される。

(3) バリアープライマーの効果

バリアープライマーの塗布は、変色および表面形状変化に対して防止効果がある。PS-2やMS-2、MS-1などの問題の多いシーリング材には特に有効である。

2. 加熱処理について

(1) 材料の種類別傾向

○ シーリング材

変色は、MS-1、PU-2、PS-2などについて発生するものの、その変化の程度は小さい。

表面形状の変化は、SR-2以外で多かれ少なかれ現われる。

○ 外壁化粧防水材他

変色では、a、b、cが変化なく良好であり、その他は多少変化する。

表面形状は、h、jがほとんど変化なく良好であるが、その他は変化して、中でもdの変化が大きい。

また、アクリルゴム系の外壁化粧防水材とアクリル

ル樹脂系の弾性タイルとの差異はなかった。

(2) バリアープライマーの効果

変色および表面形状変化とともに、バリアープライマーによる防止効果は認められる。ただし、外壁化粧防水材i、jおよびaに対しては表面形状変化の防止効果が疑わしい。

3. シーリング材の合格率の最大・最小値について

上述の傾向は、種類別の性能比較を行なったものであるが、各種類内でも性能差は見られる。

合格率の最大・最小値の幅から判断して、シーリング材のPS-2、PU-2およびMS-1などは製品間の性能差が大きい。

ま と め

1. 前回報告したNSKの場合と欠陥現象を比べると、今回は、変色に加えて、表面形状の変化が顕著に現われる特徴があった。

2. シーリング材については、2成分形シリコン系と2成分形アクリルウレタン系を除いて、その他はいずれも注意が必要である。

3. 外壁化粧防水材（アクリルゴム系）と弾性タイル（アクリル樹脂系）では、前者にやや問題が多いようであるが、大差はなくいずれも注意が必要であろう。ただし、製品間の性能差はいくらか見受けられ、b、cは比較的良好である。

また、トップコートで見た場合でも傾向は掴みにくく、何とも言えない。

4. バリアープライマーの塗布はかなりの効果があり、現状では有力な予防策である。

5. シーリング材、外壁化粧防水材他とも製品によって性能差があるので、実際には現物確認試験を行

なう必要がある。

おわりに

この一連の共同研究は、1昨年初夏より開始してこの間に7万点余りに及ぶデータを採集した。これを集約して、前報と本報で報告を行なってきた。その内容は、材料別傾向と実用対策としてのバリアープライマーの有用性について明らかにしたものであるが、本報告が関係業界の啓蒙にいくらかでも資することができるのであれば幸いである。

今後、当技術委員会では更にデータを解析して、被塗装性試験方法の確立など次のテーマに取り組ん

でゆく所存であり、共同研究の報告はこれをもって一応の区切りとしたい。

おわりに、この共同研究にご協力頂いた多くの方々に深く感謝申し上げます。

NSKならびに外防協との共同試験は、本号およびシーリングニュース28の内容をもちまして一応の報告とさせていただきます。個々の製品についてのデータ等の当工業会あるいは会員各社への問合せは誤解、混乱を招きかねないとの判断により回答を差控えさせていただきますのでご諒承下さい。

(日本シーリング工業会)

エビ印 ダイヤモンドホイール

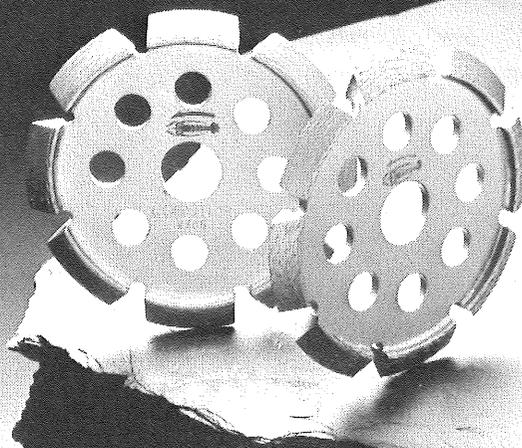
カッター

V-105

パーフェクトリフォーム

- モルタル・コンクリートに発生するヒビ割れの補修に最適。
- チップがV型先細形状の為、ヒビ割れへの喰い付きがよく、リフォーム作業時間も大巾にUPします。

品番	V-105
外径(D)	φ108mm
ダイヤモンド層厚(T)	10mm
ダイヤモンド層巾(W)	10mm
穴径(H)	φ 20mm
附属リング穴径	φ 15mm



日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎(0729)62-1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎(03) 550-3671(代)

朝、街を歩いて

吉本 亮三



昭和61年10月号の「建築雑誌」有脚書厨—建築の理論と実践—の特集で、古代ローマの建築家ウィトルウィウスが紀元前1世紀に著した「建築10巻」で建築家は文章・描画・幾何学・歴史・音楽・医術・法律・天文に通じていなければならぬと述べている。つまり当時のローマの建築家は、建築からやや離れているかに見えるものまで幅広く身につけた教養人であることが要求されていたのである。

よく言われていることだが「建築は雑学が10」だそうだ。「それに専門知識1」とも言われるので、他の人より1割余分の知識が必要かも知れない。実際に我々がやっている国立学校施設整備事業にしても、まさに揺籠から墓場までのありとあらゆる施設が対象となっている。大学の講義棟、研究実験

棟をはじめとして図書館、体育館、講堂、学生宿舎、食堂、附属病院、附属幼・小・中・高の校舎、更に留学生会館、国際交流会館のようなものから近年になってからは、電子と陽電子を光速に近い速さまで加速して衝突させ物質の究極を探り、物質の最も小さな構成要素と考えられている基本粒子クォークの一つである「トップクォーク」等をさがす筑波研究学園都市の高エネルギー物理学研究所の巨大加速器トリスタンのような施設や、「太陽をこの手に」と「人類永遠のエネルギー源」としての核融合炉発電の基礎研究である「プラズマ物理および制御核融合」を目的とする研究所のようなものまでと、すさまじいばかりの幅広さである。これらの施設の基本構想・基本計画・基本設計・実施設計・施工

監理、そして完成後の施設（現在保有面積1,800万㎡余）の維持管理・保全までとちょっと幅広すぎるようである。

従ってこの“シーリング雑感”を頼まれた時も何か書けるだろうと引き受けたが、何をテーマにしようかと考えているうちにどんどん日が経ってしまっている。小生にとっての幅広い知識とは、底の浅い、中身のない雑学かも知れぬ。まとまりのない文章になるだろうがお許し願いたい。

「路上観察学会」が昭和61年6月に旗揚げして「街歩きをおいしく、かつ学問的にしよう」と活躍し、半年間の成果を発表したようである。

小生は会員ではないが自分なりに路上観察をしている。通勤に営団地下鉄有楽町線を利用しているので“桜田門”で降りれば徒歩で6～7分であるが、朝のみ（帰りは何時になるかわからないので）は3つ手前の“市ヶ谷”で降りて歩くことにしている。地下鉄ホームより長い階段を上って国電の市ヶ谷駅前が出る。番町、麴町、平河町、永田町、虎の門とあまり車



の多くないところである。職業が
らやはり建物を中心としての路上
観察となっている。浜田ビル、文
芸春秋新館、新霞が関ビルをはじ
めとして現在も何件か工事中であ
るが、鉄骨の建方をしていたり、
コンクリート打設中であったりし
て、進捗状況とともに、仮設計画・
施工計画も観察させていただいて
いる（勉強させられたり、こんな
施工でと首をかしげたりしなが
ら）。永田町の衆議院第2議員会館
の道路側外壁には金属ネットが張
られ、1階の上には枠付の金網の
朝顔が巡らしてある。どこかの芸
術家が大きなものを白いキャンバ
スで覆うというようなことをして
いるので、芸術表現の一種かも知
れない（本当は外壁タイル剥落に
よる危険防止なのだが）。またある
ビルはメロンかと思われるほどの
縦横斜のシーリングが施されてい
たり、タイル張り外壁シーリング
部周辺が別の色（汚れ）になって
いたり、また工事中でもないのに
常時グリーンネットで覆われてい
るものもある。その他細部の石張
外壁のシーリング目地を見ると、
片面が切れてぱっくりと穴があい
ていたりする。etc. etc.

近年の建物は寿命が短くなった
とか、耐久性がなくなったとか言
われている。省力化、機械化によ
って建設工事現場はずいぶん変っ
て来ているが、分業化、専門化、
細分化によって各々の関連が少な
くなり建物全体をトータルで管理
する人がいなくなってしまったの
ではないだろうか。自分の専門分
野のみは詳しいが、他分野は知ら
ぬ、ということになっているので
はないだろうか。

基本は何かを考えるべきではな
いだろうか。例えばシールにしても、
何か穴がある、隙間がある、
仕上材の継目がうまくいかない。
それではシーリングで埋めましょ
うか。下地、部位、性能など関係
なしで、ともかく何でもかんでも
シーリングで埋めてしまう……と
考えるのは悪く見すぎだろうか。

外壁カーテンウォールのオーブ
ンジョイント工法が採用されたの
は7年ほど前の新宿超高層ビルだ
ったと思う。その頃でも既製金属
製笠木の数種のジョイント、もっ
と一般的には乗用車のボンネット
やトランク周辺にはシーリング施
工はしていない。

“ノンシーリング”のディテ-

ルをもっと考えたらどうだろうか。
何もかもシーリングに頼るのでは
なくて……。先般発注した延面積
1,100㎡の建物で、シーリング関係
の工事費は2,280円/㎡(建物延㎡)
で全工費の1.4%に当たった。金額は
たいしたことはないが、漏水等の
事故を起こすと結局高くつく。ま
たシーリングの劣化による改修を
考えると、ライフサイクルコスト
はもうちょっと上かも知れない。

現在お茶の水の“史跡湯島聖堂”
の改修工事を実施しているが、こ
の建物は昭和10年に改築された鉄
骨鉄筋コンクリート造である。建
築後、半世紀を経ているので、屋
根銅板の損傷、外壁塗装の剥離等、
老朽化は進んでいるものの、構造
体は殆ど損傷なく、東大岸谷教授
によれば「お手本にしたいほどの
施工状況である」とのこと。半世
紀前の建物なので、当初よりシー
リングに頼っているところは1箇
所もなく、漏水等の事故も皆無で
あったようだ。今度の改修工事内
訳書にもシーリング関係の細目を
作る必要は全くなかった……。

(文部省大臣官房文教施設部技術
課課長補佐)

サイディング材の現況と課題

〈主として窯業系乾式防火サイディングについて〉

日本乾式防火サイディング協会技術部会

戦後の日本の住宅建築には、三つの大きな変革が行われたと言われている。

その一つは、内装分野への乾式構法の導入、即ち、合板、ボード類、石膏ボード等の採用と、クロス類の普及であった。この内装乾式構法の導入により工期は短縮され、カラー感覚の豊かな洋間普及に役立っている。

二つ目は、一般住宅へのアルミサッシの普及である。従来の木製サッシは、数少ない高級品として、特注品の形で残されているに過ぎない迄になっている。このアルミサッシの普及が、住宅の気密性を高め、石油ヒーター、エアコン等の冷暖房器具の発達と合せて、戦前では考えられなかった様な、快適な室内空間を作り出すことになった。ただこうした変化が、比較的多湿な日本の気候風土の中で、結露等の問題を生じさせ、別の課題をかかえることになっている。この点については後段で今少し言及してみたい。

第三の大きな変革が、現在進行中の住宅外装分野における乾式構法の普及、とりわけ窯業系乾式外装材の発展である。

日本では、特に都市部に於いて比較的狭い土地に、住宅が密集して建てられている。古来伝統的な建築としては、土塗壁に下見板張りという構法が典型的な様式であったが、特に大正12年の関東大震災を契機に、防火建築への移行が建築法規や行政指導によって進められ、戸建住宅の外壁仕上げは、ラスモルタル塗りが一般化し、大きく普及した。戦後も建築

基準法の精神は、防火の観点が強まりこそすれ弛められることなく、今日に至っている。一時期、合板下見板やボード系サイディング、鉄板系外装材の普及を見た時期もあったが、依然としてモルタル塗壁が外壁の主流であった。しかし、この10年間を振り返って見ると、そこに大きな転換が進められて来ていることが判る。次頁に、昭和50年度と60年度に於ける住宅の外壁材シェアの比率を図示してみる。

この図からも判る様に、モルタル塗壁のシェアが後退し、特に窯業系乾式防火サイディングの普及の著しい点が、明確である。この様な転換が進んだ背景を一言で言えば、時代の要求にマッチしていたということになるだろうが、もう少し分析して考えてみると、次の様に整理することが出来よう。

第一は、品質面でモルタル塗壁に比べて優位な位置を占めるようになったことである。モルタル塗壁には、ヒビ割れ、剝離の欠点がある上に、防火上必要とされる塗厚2cmが確保されているかどうかのチェックも困難である。その点窯業系乾式防火サイディングでは、必要な防火性能はもちろんのこと、ヒビ割れの入らない耐久性、寸法安定性を備えた材料である上に、従来の工具で施工出来る点が評価されて来た。特に釘打ち施工が出来る利点大きい。

第二は、そのデザイン性が、多様な建築様式にマッチしている点があげられる。和風にも洋風にも、また、縦張りにも横張りにも対応出来、更にラップタイプとして伝統建築に近いよゝい張り構法にも対応出来ている。板表面のデザインもエンボスを含め

多彩である。

第三は、工期の短かさがある。従来のモルタル塗壁の場合、湿式構法の為天候に左右されることが多く、また塗上げ後の乾燥時間を待たねばならないが、乾式構法ではこうしたモルタル塗構法に於ける3～5工程を一度に施工出来る為、明らかに工期が短縮出来る。更に外壁工事も大工職でこなせる為、職域間の調整に要する手間がはぶけることも利点である。

これは、近年の住宅着工の低迷期に於いては、仕事量の確保が大切になるが、この点でも大工職に有利に作用してきた。一方、プレハブ住宅の比率は年々上昇して来ており、規格化住宅でのパネル構法が増える程、乾式材料が益々採用される様になっている。

この様に見てくると、現在進行中の建築業界に於ける“第三の波”（外壁の乾式化）は更に進み、その中で主流にのし上って来た窯業系乾式防火サイディングは益々そのシェアを高め、遠からずモルタル塗壁を逆転して、外壁シェアの50%以上を占めることは確実と見られている。

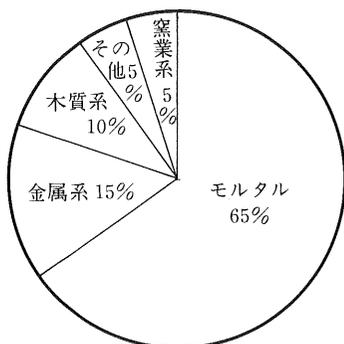
と称している材料にも、その原料、製法等により、種々の相違点が存在している。原料面では、セメント系を筆頭に、ケイ酸カルシウム系、マグネシウム系、スラグ石膏系、硬質木片セメント板系等があり、製造方式でも、抄造法と押出法の差、オートクレーブ工程の有無等、極端に言えば各社各様の原料、製法を持っているという状況である。

建物の外壁にとって大切なことは、言うまでもなく外からの火災を防ぎ、風雨をしのぐことにあるが、日常的には、特に雨仕舞、内部結露水の処理が非常に大切になって来る。窯業系乾式防火サイディングの様な板物外壁材は、適切なシーリング材、塗料等と標準施工法を組合せることによって初めて所期の性能を発揮出来る材料なのである。

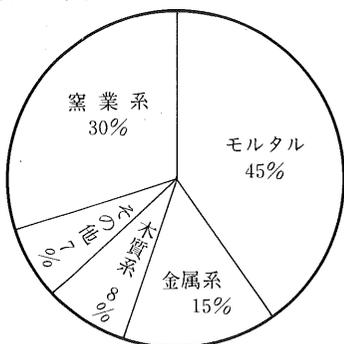
この点比較的歴史が新しく、近年の急速な普及を見せている窯業系乾式防火サイディングの分野では、正しいシーリング材との組合せや施工法、塗料とのコンビネーション、サッシ回りの施工法等、まだまだ研究開発することは多い。一つには材料相互に関する基本的な知識が、施工段階に徹底していない側面もある様である。例えば、「油性コーキング材を使って3カ月程経ったら表面が汚れてきた」とか、「シリコンシーリング材を使ったが塗料が剥落した」などの問合せがよせられる場合である。これなど正しい材料知識が普及してさえいれば防げる問題であろう。

日本乾式防火サイディング協会では、横浜国立大学工学部建築学科の飯塚研究室による「窯業系防火サイディング調査研究」を、当協会の技術資料 Vol. 1として発行し、正しい建築材料知識の普及に務めている他、「防火サイディングによる外壁通気構法」(Vol. 2)の開発や、標準施工書の発行などによる普及活動を行っているが、更に「日本シーリング工業会」や「日本サッシ協会」の方々と共に、研究開発を行い、外壁分野の主流としての地歩を固め、発展させていきたいと願っている。こうした活動が必ずや、建築業界の発展に繋るものであると信じている次第である。

昭和50年度



昭和60年度



外壁材シェア推移

SREJUL

- S70 1液変成シリコン系シーリング材
- S50 2液変成シリコン系シーリング材
- U73 1液ポリウレタン系シーリング材
- U31 2液ポリウレタン系シーリング材

PHOTOボンド

#100 #500 感光性接着剤

エッジエール

網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全硝連推奨品)

JIS表示工場 第581036号 (JIS・A・5758)

RISE サンライズメイセイ株式会社

- | | | |
|--------|--------------------------|------------------|
| 本社 | 堺市浜寺石津町中1丁4-7 | |
| 関西営業所 | 電話 (0722)44-7500(代表) | FAX 0722-44-8183 |
| 関東営業所 | 横浜市神奈川区三枚町2-9-5 | |
| | 電話 (045)383-4651(代表) | FAX 045-383-4869 |
| 熊谷営業所 | 埼玉県熊谷市宮町2-1-3 林ビル | |
| | 電話 (0485)25-1822(代表) | FAX 0485-25-2491 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市中区一社3丁目9番地 テサンビル202号 | |
| | 電話 (052)703-2061(代表) | FAX 052-704-1978 |
| 九州営業所 | 福岡市博多区博多駅前4丁目2-11 鐘芳ビル | |
| | 電話 (092)472-2143(代表) | FAX 092-411-1076 |
| 広島営業所 | 広島市南区比治山町5-1-2 | |
| | 電話 (082)263-4461(代表) | FAX 082-263-8195 |

建築土木用

発泡プラスチック製品

成型プラスチック製品

●営業品目

- ①目地材
- ②断熱材
- ③防音材
- ④防水シート
- ⑤機密材
- ⑥防振シート
- ⑦養生マット
- ⑧結露防止マット
- ⑨接着シート
- ⑩ガasket各種

複合資材で用途開発をお引受する

株式会社 **新和商会**
新和化工株式会社

本社 東京都荒川区西日暮里2丁目24番14号
TEL. 03(803)1411(代表)

工場 埼玉県浦和市町谷20-1
TEL. 0488(64)1751(代表)

全会員の参画意識高揚にきめ細かい配慮

総務委員会

業界を取巻く市場環境が厳しさを増す中において、61年度の当委員会は当工業会の経費効率を高め、財政基盤の安定化を計りつつ、工業会の各活動の活性化を促す重大な役割を担って運営して参りました。

その結果は必ずしも当初の計画通りに達成出来たとは言いかねますが、いくつかの具体的な成果を収めることが出来ました。以下に主な運営状況をまとめて報告致します。

1. 組織運営の活性化推進

1-1 理事・幹事会の活性化

本年度（61年4月～12月現在）は理事会4回、幹事会6回を開催するとともに、必要に応じて合同会議を開くことにより（2回）、合理的な運営会議体が定着出来た。毎月の会報にも記載しているように、活動範囲も多岐に亘り、審議事項のボリュームも増加した為に、定例会では全員出席による積極的参画をモットーに活性化に努め、一応所期の成果が得られた。

1-2 地域との連携強化

61年12月、全国支部長会を調査委員会と合同で開催し、各支部の抱えている問題を共通の場で討論し、解決策を見い出すべく努力し合った。

かかる討論を通じ、本部と支部間のコミュニケーションギャップがかなり解消出来、今後の支部活動の活性化の一助となった。

2. 安定的財政基盤の定着化

2-1 費用効率の向上

前年に引続き事務合理化迅速化を進め、ファックス、ワープロを最大限に活用し、通信費等の経費の低減基調を堅持。更に夏からはコピー機を新型に切替え効率化を図っている。

2-2 新規会員の加入促進

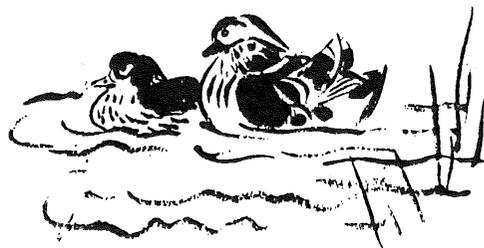
61年10月より、正会員として新規に1社の加入があった。

2-3 財務管理の徹底

前年に引続き、外部の会計事務所に割安な料金での財務管理と監査を毎月実施している。その結果経理処理は極めて厳正である。

3. その他

今後、一層、工業会活動の充実を指向して、全ての会員が参画意識を醸成出来る様、組織運営方法や情報伝達方法等の面できめ細かい配慮をして行くことが肝要である。



成果の普及に伴い研究活動も広範化

技術委員会

昭和61年は昨年度に収穫した多くの成果の普及と、従来からの懸案事項の処理の推進に重点を置いた1年であった。

前者の普及活動のうち最も具体的な成果として残ったものは、シーリング材ハンドブックの全面改訂であり、これは技術委員会を挙げて協力した賜である。新 JIS, 新 JASS, 総プロ等の成果に加えて最新の技術水準に合わせた情報を盛り込んだ内容は、編集にもよるが改訂版というよりは新刊と呼ぶに相応しい出来映えと考えるのは自画自賛であろうか。

新 JIS は 8 月に公示になった事から、東工大・小池教授を中心にして改正内容の説明会を開いた。60 余名の参加を得、小池教授のシーリング材に関する最近の研究成果とその応用に関する講義もあり、参加者にとって極めて有意義であったと思われる。

技術の発展や社会の情勢に対応した品質の向上や品質評価法の改善に向けて、JIS の改正は今後益々重要課題となろう。

総プロに端を発した日本三地区での暴露試験は10年まで継続することが確認され、昨年度は3年8ヶ月目のサンプリングと試験が実施された。詳細は未発表であるが、建設省建築研究所で研究中の耐久性予想マップにも関連して貴重な基礎資料となる筈である。静的暴露である所から組成面からの考察を加える事が我々の研究課題となろう。

最近、特に顕在化したシーリング材上の仕上塗材の異常発生を調べるための日本建築仕上材工業会、外壁塗膜防水材協議会（現・日本アクリルゴム防水材工業会）との共同曝露試験は1年目の観察を終えて第1段階が終了した。概要についてはシーリングニュースに発表しているが、大略の傾向を把握する

ことが出来たと考える。既に学会等の報文はあるものの、主要シーリング材を網羅する試料数と各種仕上塗材別に何種類かの試料を組合せた総合的な試験は前例がなく、業界の関心の深さを反映した協力活動の成果と言える。今後の進め方もさることながら、シーリング材が各種被着体や仕上塗材との関連の中でその機能を発揮するからには、このような活動は今後の委員会活動の重要な分野を占めるに違いない。その表われの一つとして昨年は日本乾式防火サイディングボード協会とも技術協力を進めて来た。シーリング材の正しい使い方を求める努力の一端である。

昨夏より委員会内に新たに試験法ワーキンググループを発足させた。これは新 JIS への改正作業を通じて我々の反省として生まれたもので、昭和65年までの長期計画に基づいて活動するものである。計画の概要はシーリングニュース28号に紹介した通りであるが、要は次回の JIS 改正への準備とはいうもののシーリング材の品質の向上と品質評価法の改善、確立を目指すもので、具体的には QC 手法で云う PDCA の C から改めて手を染めて行こうとする計画である。従って会員各位は勿論、関連する設計、施工に至る全ての分野の方々から意見を求め、諸外国の例も参考にしながら作業を進める事となるので誌上を借りてご支援、ご協力をお願いする次第である。

技術委員会の委員数は20名を越えてはいるが、委員会、WG、或いは他の委員会委員の兼任等もあって多忙を極めている現状である。然し、これも工業会の技術レベルの向上とシーリング防水の信頼性の確保に結び付く活動である事にご理解とご認識を頂き、奮って参加されることを願うものである。

材販工運営正常化への足固め

調査委員会

ここ数年、日本経済は安定低成長で推移してきたが、本年は急激な円高による影響で全般的に不景気ムードが吹き荒れ、波乱含みの中で終ろうとしている。

円高は業種間に大きな損益差をもたらし、経済の変遷はまことに速く、そしていかに厳しいものであるかを痛感させられる。

我々の関連する建築業界においては、最近、東京とその周辺部及び関西新空港などの都市再開発等ビッグプロジェクトが大々的に取り上げられ、新聞紙上等をにぎわしているが、実際はまだ計画段階であり、実施は数年先のこと。当面の建築着工面積、個人住宅着工件数等は今年も低迷状態が続き、前年比較では僅かな増加を見せるにとどまり、近々の好転も期待出来ない。

我々メーカーにおける円高の恩恵を考えてみても、原油からの末端材料となると、材料価格の値下げにつながらず、利益アップなどは夢の状態である。

このような状況の中で、本年も前年に引き続き過当競争による販売価格の下落傾向が避けられず、業界としては好ましくない結果と言わざるを得ない。

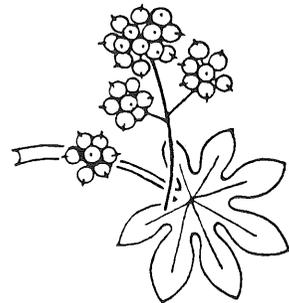
当委員会としては、材・販・工の会合、支部活動の活性化等に全力をあげて取り組んできた。

一方、当委員会の主業務であるシーリング材の本年度販売推定量の集計を終了したが、建築用途における総計においては対前年比で104.2%となり、建築着工面積等の微増にほぼ一致した数字となっている。

例年減少する塑性系に比較し、弾性系の伸びが本年も見られるが、変成シリコン、ポリウレタン系の伸びが目立つ結果となっている。総体的に弾性系1成分形の伸びが特徴として見られ、日本のシーリング業界における1成分形の定着、向上の兆しが徐々に表われてきているものと思われる。

工業会の活動現況において、技術面での成果は誰もが認めるところであるが、一方で会員会社の利益向上につながる成果は残念ながら得られているとは言い難い。

当委員会としては、当分続くであろう需要の低迷状態において、材・販・工が正常に取り組める環境作りに努力しなければならないと考えている。



「シーリング管理士」制度10年を迎えて

検定委員会

本年は「シーリング管理士」の第10回生を送り出す記念すべき年となった。(「シーリング技術管理士」は第8回目となる)この間、多数の方々が養成講習を受講され、すでに214名の「シーリング管理士」の誕生をみている。近年、関連業界内外での「シーリング管理士」の必要性の高まりと地位の認識がなされているのは、とみに「管理士」の方々の適正かつ安全なより良いシーリング施工の実践活動による社会的信頼の向上によるものとする。当委員会も養成活動を通し、わずかなりとも、この信頼向上に関与できたことを喜びとするものである。

昔流に言うところ「十年一昔」になるわけであるが、この間に着実に定着化し、効果を上げることができたのは、諸先輩の並々ならぬご努力とご苦労によるものであり、心から敬意を表したい。また学会、官界、関連業界そして会員各位の多大なご指導、ご支援に深く感謝をする次第である。

さて、下表(日本シーリング工業会事務局調査資料より作成)は過去9回の講習で管理士の認定登録者数と「日本シーリング工事業団体連合会」加盟会

社数の関係を示すものである。ご覧のごとく、地区間の格差が大きくなっていることと、全国平均でも管理士のいる会社数と加盟会社数の比率は38%であり、50%をこえているのは関西地区の73%のみであることが判る。当委員会としては少なくとも加盟各社に1名以上の「管理士」を目標とし、まだまだ地道な活動を続ける必要があると考えている。「管理士」の少ない地区においては、ぜひ奮って参加されることを、また、「日シ工連」に未加入の施工会社にあつては、一社でも多く「日シ工連」に加入いただき、この「管理士制度」を活用していただきたいと切望している。

ところで本年も2月7日から10日までの4日間に養成講習会と認定試験が計画されている。本年は講習内容の充実をはかり'83年版テキストの改訂を行った。各界でご活躍、ご多忙の方々のご協力により完成したものであり誌面を借り心よりお礼申し上げたい。このテキストをより有効に生かすためにも、講習を受けられない方も入手いただき、手元に置き活用いただきたいものと願っている。

管理士登録数(日本シーリング工業会事務局調査資料)

地区	北海道	東北	東日本	中部	関西	中国	九州	全国
加盟会社数* (全国比%)	41 (14.2)	33 (11.5)	53 (18.4)	54 (18.8)	44 (15.3)	42 (14.6)	21 (7.3)	288 (100.0)
管理士数 (全国比%)	10 (4.7)	5 (2.3)	73 (34.1)	34 (15.9)	63 (29.4)	17 (7.9)	12 (5.6)	214 (100.0)
管理士のいる 会社数	8	4	25	20	32	12	9	110
管理士数/ 会社数比%	24.4	15.2	137.7	64.8	146.5	40.5	57.1	74.6
管理士会社数/ 会社数比%	19.5	12.1	47.2	37.0	72.7	28.6	42.9	38.2
61年度申込者数**	9	3	11	16	10	11	4	64

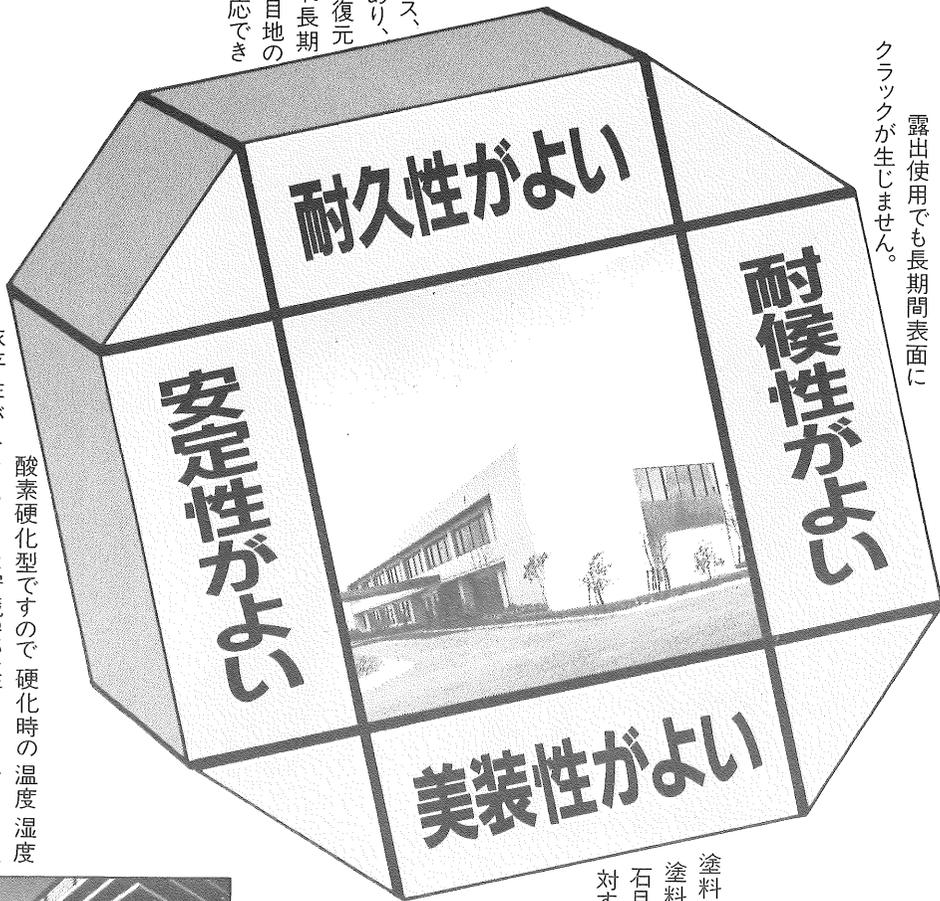
* 会社数はシーリングNo23に準ずる。

**61年12月20日現在の数

高性能カルテット「パーマポールシーラント」

パーマポールポリマーを主成分とした酸素硬化型一成分形シーラント。昨年から数社で製造販売が開始され、高い評価を得ています。

露出使用でも長期間表面にクラックが生じません。

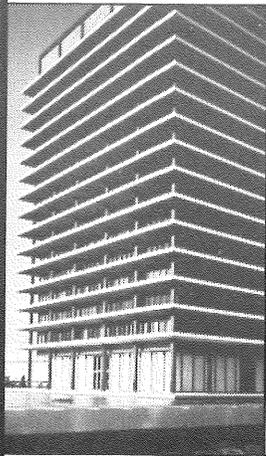


低モジュラス、高伸びであり、耐疲労性、復元性にすぐれ長期にわたって目地の伸縮に対応できます。

酸素硬化型ですので硬化時の温度湿度依存性が少ない。また貯蔵安定性もすぐれています。

塗料との密着性がよく塗料を汚しません。しかも石目地、タイル目地などに対する汚染がありません。

パーマポールシーラントは、建築・複層ガラスシーラントとしてアメリカをはじめ世界各国で20年以上の実績があります。



変成ポリサルファイド系ポリマー

パーマポール®

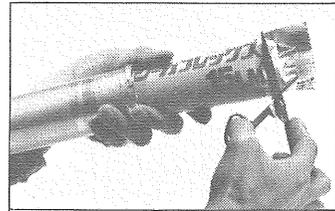
日本触媒

日本触媒化学工業株式会社

樹脂事業開発部 ● 東京(03)798-7071 東京都港区三田3-11-36(三田日東大ビル) ● 大阪(06)202-6031 大阪市東区高麗橋5-1(興銀ビル)

どんな気候・風土にも耐えぬく抜群の耐候性!!

シーカフロックス15LM



- 1成分形ポリウレタン弾性シーリング材
- 低モジュラス
- 肉やせしない
- カートリッジ、モノソーセージ、缶タイプ

酷暑

極寒



日本シカ株式会社

本社 / 〒105 東京都港区新橋4-2-1 第29森ビル ☎(03)436-4131(代)

- 東京営業所 ☎(03) 436-6031(代)
- 仙台営業所 ☎(022)267-2501(代)
- 大阪営業所 ☎(06)-315-7851(代)
- 札幌営業所 ☎(011)221-6331(代)
- 名古屋営業所 ☎(052)733-7353(代)
- 福岡営業所 ☎(092)472-1684(代)
- 富山営業所 ☎(0764)42-3232(代)
- 沖縄出張所 ☎(0988)85-3987(代)

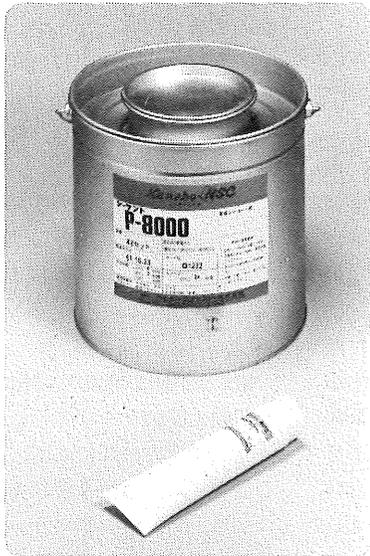
Kanebo-**NSC**

グレードアップされた
新しいMSポリマー
を使用しています

変成シリコーン系
2成分形シーリング材
カラートナー方式

変成シリコーン系のノンタックタイプ初登場!!

カネボウ® P-8000 MS-2-9030-A-N



特 長

性能バランスのよい従来のP-8000の特性を
すべて備えもつシーリング材です

ノンタックタイプのためあざやかな色調が
いつまでも保たれます

カラートナー方式(MSカラー)を採用した
作業性がよい使い易いシーリング材です

カネボウシーラントシリーズ

デュアリボンMS・ベルエースMS・P-5000・P-6000・P-6200・P-6500・P-4000・P-3000

カネボウ・エヌエスシー株式会社

本 社 大阪府箕面市船場西1-6-5(カネボウ千里ビル)
〒562 TEL (0727)28-4701(代)
東京営業所 東京都千代田区平河町2-8-2
〒102 TEL (03)263-4701
名古屋出張所 名古屋市中村区名駅4-17-19(鐘紡ビル内)
〒450 TEL (052)583-8606
広島出張所 広島市中区大手町3-5-11
〒730 TEL (082)249-6615
福岡出張所 福岡市中央区大手門3-7-19
〒810 TEL (092)752-0024

各地からのたより

● 本部事務局だより

新年、明けましてお目出とうございます。シーリング業界も多難な年を送り、今また多難な年を迎えました。

昨年の当工業会のヒットは「シーリング材ハンドブック」と「シーリング管理士用テキスト」を全面的に改訂し、面目を一新した立派な書物として発行したことでありましょう。「シーリング材ハンドブック」は皆様方より可成り広い範囲の方々に配布され、重宝されていることと思われませんが、「シーリング管理士用テキスト」はほんの一部の方しか活用されず、折角の労作が眠っていると思われ誠にもったいないことだと思います。この「テキスト」をもっともっと業界の方々に知って頂き、活用して頂けるように皆様方のお力をお借りしたいと思います。

これらの刊行物が業界に知れ渡ってこそ、シーリング工業会の地位も向上するものと思います。

● 北海道支部の動き

新年を迎え、千里を駆ける寅にあやかった活動計画でありましたが、成果のあがらぬままの昨年であったにも拘らず、今年は二兎をも追わねばならなくなった現状です。

支部会員相互の連携・親睦活動も、低迷せる市況に各位多忙を極め、出席参加者数も減少傾向にあります。計画の一部である北シ協共同のJIS・JASS改正・改定研修、現場施工管理等の活動施策については僅かとは言うものの前進をみました。加えて今年は北シ協会員よりシーリング管理士の受講受験に10名近くの申し込みがあ

り、ますます本制度に対する認識が高まってきたことと非常に心強く嬉しく感じ全員の合格を期待しております。いずれにしても今年は前年策定の計画のうち技術面においては北シ協との協調・共同の研修の充実・加速と、支部会員相互の信頼性をより高め、本道特有の体質を充分ふまえた活動努力を続け、関係先各位の御認識と御協力を得つつ業界の健全なる発展を期したく御支援を賜りますようお願い申しあげます。

● 仙台支部の動き

はや初雪のたよりも聞かれ冬の訪れも例年より早く駆足でやってきそうです。

本年度は会員相互の緊密化、東北シーリング工事業協会との協調連携を軸に支部活動を推し進めて参りましたが、十分な成果を得るまでに至らず、次年度への継続課題となりそうです。残された期間全力を挙げることは当然ですが…。会員相互の緊密化が業界全体のレベルアップ、問題解決に不可欠との共通認識のもと、話し合い、親睦の場の設定に努めて参りましたが、なかなか全員参加とはいかず、“まず参加し、話し合いの中に入る”ことにより相互理解を深める努力を継続していかなければならないと痛感しております。

東北シーリング工事業協会も創立10周年を迎え、会員数も46社となりました。10月には創立10周年記念のセレモニーも盛大に催し、今後益々の活躍が期待されます。それぞれの役割を担いながら更に協調・連携の絆を強固なものとし共に業界の発展、向上のため寄与したく存じます。

● 東京支部の動き

東京支部では、東シ協・7日会各位と市場懇談会を定期的に開催し、材販工の三者が寄合ってシーリング業界の地位向上に役立てばと真剣な討議を行っています。

ℓ表示による販売の普及もこの会合から生まれており、最近では標準色の名称統一に関しても効果があがっています。

なお東京支部では33社の会員がありますが、組織変更及び人事異動等の為、メンバーの方々が不明確になった部分もあり、改めて最新の名簿を作成いたしました。

こうした活動を中心に昨年の11月18日には、桜ヶ丘カントリークラブでコンペを開催し、楽しいひとときを過ごしました。

今年も昨年以上に大変な年になりそうです。更に業界の地位向上の為に頑張るつもりであります。

● 名古屋支部の動き

厳しい円高状況の中で61年度支部活動の開始となりましたが、シーリング業界の地位向上に少しでも役立てばと事業を続けています。○7月下旬、中部シーリング工事業連合会10周年記念総会が長良川で開催され、懇親会の鶴飼見物に工業会メンバーも出席し、料理と河畔の夜を楽しむ。

○8月下旬、愛知県シーリング工事業協同組合の第3回総会の懇親会に招かれ、懇親を深める。

○10月下旬、愛知県シーリング工事業協同組合の新事務所が独立移転。支部としてお祝いを贈呈、新事務所材販工合同の懇談会が開催された。

今後の予定として、前年好評を得たシーリング研修会を61年度も開催すべく検討中です。

● 広島支部の動き

当支部は61年4月17, 18日の支部総会で次の4項目を今年度の事業計画として定めました。

- ①中国シ協との連携による材工一体の勉強会と対外的技術研修会等のPR
- ②シーリング管理士, 技能士の増員を図り, 地位の確立を図る
- ③情報交換とPR活動
- ④未加入会員の加盟促進

上記の基本計画に沿い実施した事及び特筆すべき点は次の通りです。

- ①支部総会(4/17), 臨時総会(11/26)による会員相互の親睦と

連携 ②中国シ協幹部との合同幹事会による問題事項の解決, 研修会等の打合せ ③官公庁等の施主, 設計事務所, 建築会社に対する最新シーリング技術のPR, 研修会の実施。9/16山口地区(小郡町), 11/14岡山地区(岡山市), 11/26広島地区(広島市), いずれも数十名, 特に広島では県, 市, 郵政省, 広大等の関係者が約100名参加された。④有志メンバーによる隔週1, 2度の情報交換等。

以上, 今後とも会員一同一致協力, 意欲的にかんばってゆく所存です。

● 福岡支部の動き

61年7月23日郵便貯金会館で, 当支部主催によるシーリング材技術説明会を本部より笹谷技術委員を講師として招き開催, 九州地方建設局・福岡県市の建築関係担当者及び建設会社・設計事務所の方々約150名の出席で, 現状でかかえておられる問題等の質問及び体験された意見等が出され大へんもり上りを見せた。当支部としても初めての説明会であったが, 出席者より今後も継続開催してほしいとの意見がかなりあり心強く思った。9月26日志摩にて工業会, 工事業協同組合, ディーラー部会材販工の3団体合同幹事会を開催。工事業協組青野理事長, 松村理事より現在までの活動として①共同購入(シーリングテープ)②共同受注の幹旋(福岡県青少年文化センターシーリング工事打替え工事)等の実績が出ている旨報告があった。また, 建設省の認可を受けられるため, 特に宮崎, 大分, 佐賀の各県での施工業者の入会幹旋の協力依頼があり, 今後は官公庁, 特に文部省, 住都公団, 九地建等に対して特記仕様への記載を働きかけることが活動方針とのこと。景況全般がいま一つ思わしくなく新築物件も前年比では決して回復はしていない。著名な新築物件もほとんどなく補修物件が増加傾向にあるのが市場の動向と言える折組として青少年文化センターのシーリング打ち替え工事を幹旋受注出来た事は業界浮上の一つのきっかけともなり, 今後進んでいく道であると思われる。

● 大阪支部の動き

新年おめでとうございます。当支部では毎月幹事会等を開催しておりますがこの報告は次の機会として, 正月と言えば少しは日頃のイヤな気分を忘れてホロ酔い気分でも過ごしたいところ。ところがちょっとした油断で起りやすいのが不慮の事故, そこで血液型でわかるあなたのドライブタイプについて支部報告といたします。(以下の資料はある損害保険会社が調査したものです)

- A型: ルールや秩序を重んじて

慎重に几帳面に事を運ぶのがA型の特長。免許とりたてが危険。

○O型: 自己主張が強く個性的なことを好み, 達成力もずば抜けているのがO型の特長。中堅クラスが要注意。

○B型: 縛られることが大嫌いなB型。考エナガラ運転に用心。

○AB型: ドライに見えるほど合理的な反面, メルヘンチックな趣味性持つAB型。イライラと睡眠不足が事故の元。

さあ, あなたも自己の血液型の弱点を理解した上で安全運転を行いましょう。

日本人の平均的血液型分布	事故率	起こしやすい事故
A型 38.1%	34.4%	単独事故(電柱, ガードレール)
O型 30.7%	35.6%	走行者に対する人身事故
B型 21.8%	20%	交差点における出会い頭事故
AB型 9.4%	10%	追突事故

新築・改修……あらゆるニーズに即応します



品質管理・迅速配達

- 営業品目 —
- シーリング材
 - 各種メンブレン防水材
 - 躯体防水材
 - 塗床材
 - 各種吹付材
 - 樹脂注入材
 - 止水材
 - 断熱材
 - 各種副資材具



化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3-8-1
(第2鈴丸ビル)

TEL 03(436)3011(代)
FAX 03(433)3914



技術で奉仕する——ヤマモトの PAT.

コーキングガン

新製品

YSG-750W

YSG-900W

(ワンタッチ高圧二段切換え)

YSGシリーズ

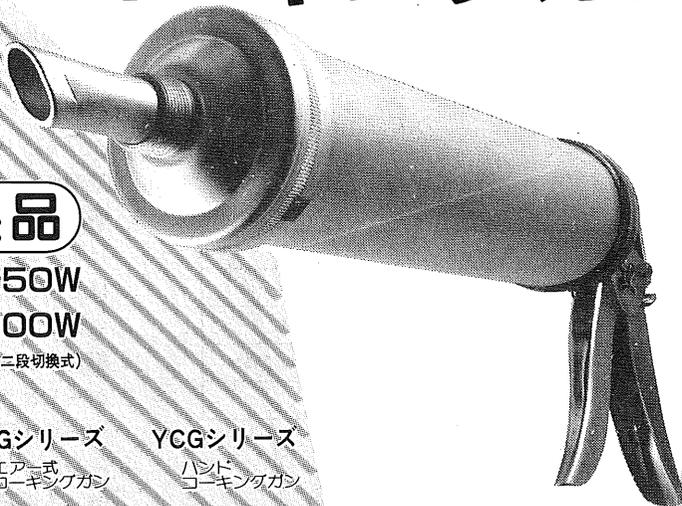
ハンドスターガン

YPGシリーズ

エアースターガン

YCGシリーズ

ハンドコーキングガン



コーキングガンの専門メーカー
株式会社 **山本製作所**

本社 〒545 大阪市阿倍野区松崎町2丁目7-10
技術研究所 TEL 06(623)5170(代表) FAX 06(623)6155

建築用シーリング材参考標準設計価格

昭和62年1月

(単位：m当り円)

材料区分	積算基準 (円/ℓ)	目地寸法 (幅×深さmm)	材料価格	材料ロス	労務費	副資材費	諸経費		施工単価	備考
							直接経費	間接経費		
シリコン系 1成分形	5,100	10×10	510	153	380	149	95	283	1,570	
		15×10	765	230	461	182	131	391	2,160	
		20×10	1,020	306	521	216	165	489	2,720	
シリコン系 2成分形	4,350	10×10	435	87	430	149	88	261	1,450	
		15×10	653	131	504	182	118	352	1,945	
		20×10	870	174	590	216	148	442	2,440	
		20×15	1,305	261	698	254	201	601	3,320	
		25×15	1,631	326	826	289	246	732	4,050	
		30×15	1,958	392	972	327	292	869	4,810	
40×20	3,480	696	1,294	399	470	1,391	7,730			
変成 シリコン系 1成分形	5,000	10×10	500	150	380	149	94	237	1,510	
		15×10	750	225	460	182	130	323	2,070	
		20×10	1,000	300	521	215	160	404	2,600	
変成 シリコン系 2成分形	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
40×20	3,200	640	1,294	399	443	1,314	7,290			
ポリサル ファイド系	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
40×20	3,200	640	1,294	399	443	1,314	7,290			
アクリル ウレタン系	3,400	10×10	340	68	430	149	79	237	1,300	
		15×10	510	102	504	182	104	316	1,720	
		20×10	680	136	590	216	130	389	2,140	
		20×15	1,020	204	698	254	174	522	2,870	
		25×15	1,275	255	826	289	212	635	3,490	
		30×15	1,530	306	972	327	251	752	4,140	
40×20	2,720	544	1,294	399	397	1,190	6,540			
ポリウレタン系 1成分形	2,700	10×10	270	81	380	149	70	210	1,160	
		15×10	405	122	461	182	94	276	1,540	
		20×10	540	162	521	216	115	346	1,900	
ポリウレタン系 2成分形	2,300	10×10	230	46	430	149	68	207	1,130	
		15×10	345	69	504	182	88	262	1,440	
		20×10	460	92	590	216	109	323	1,790	
		20×15	690	138	698	254	142	418	2,340	
		25×15	863	173	826	289	172	507	2,830	
		30×15	1,035	207	972	327	203	606	3,350	
40×20	1,840	368	1,294	399	312	927	5,140			
アクリル系	1,100	10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
		20×10	220	44	372	216	68	200	1,120	
SBR系	900	10×10	90	18	272	149	42	129	700	
		15×10	135	27	317	182	53	156	870	
		20×10	180	36	372	216	64	192	1,060	
ブチルゴム系	1,100	10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
油 性	850	10×10	85	17	272	18	31	97	520	
		15×10	128	26	317	27	40	122	660	
		20×10	170	34	372	37	49	148	810	
		30×10	255	51	435	45	63	191	1,040	

注) 上記価格は製造業者、地域、JIS規格合否等により多少変動することがあります。

建築用シーリング工事参考標準設計価格付帯条件

1. 施工時の材料を次のように設定する。
 - (1) 2成分形シーリング材のロス率は20%とする。
 - (2) 1成分形シーリング材のロス率は30%とする。(仕上げ時にはみだした材料の再使用ができない)
 - (3) ガラス：ガラスのジョイントに1成分形シリコンを使用した場合のロス率は下記の通りとする。

- (a) ガラス：ガラス突付け……………50%
- (b) ガラス：ガラス+リブ付……… 100%

〔ガラス上下の中間にプレ止め用の器具を取り付け、気泡が混入しないよう2～3方向から同時に充填し、同時にヘラ仕上げをする。その際、はみだした材料は再使用できない。またプレ止め部のダメ工事がある。〕

2. ゴンドラ使用の場合は、次の通りとする。
 - (1) ゴンドラは無償供与とし、揚重、取付け点検費用は、別途とする。
 - (2) 階層割増しは、下記のように設定する。

項目	階高	12階以下	13階以上	備 考
a 労務費		40%アップ	50%アップ	・ゴンドラの盛替え作業 ・未作業昇降時間、大規模現場の場内運搬、その他の管理業務等の費用がa, bに含まれる。
b 直接経費		25%アップ	50%アップ	
c 間接経費		a, bに準じてアップする		
作業日稼動日数の平均		18日/月	16日/月	

※ゴンドラ作業の計算例

(単位：m当り円)

階高	項目	材 料	積 算 格 価	目 地 寸 法	材 料 価 格	ロ ス	労 務 費	副 資 材	諸 経 費		施 工 格 価	ア ッ プ 率
									直 接	間 接		
12階以下		ポリフ サイド サルド (2成分)	4,000 円/㎡	20×10	800	160	826	216	176	481	2,659	14.1%
				20×15	1200	240	977	254	239	643	3,553	12.8%
13階以上				20×10	800	160	885	216	211	502	2,774	19.0%
				20×15	1200	240	1,047	254	286	669	3,696	17.3%

3. 本価格の適用は目地長さ500m以上とする。
4. 施工体系



注) シーリング工事の流れは非常に複雑で上図のようにいくつかの段階を経て工事業者に発注される場合が多い。図中の関連業者とは防水、サッシ、PC、カーテンウォール、ガラス業者等を指す。
また1次工事業者は施工管理のみを行ない実際の工事は2次工事業者以下が行なう場合が一般的である。

上表に示す価格はゼネコンが施主から請負う段階での標準的な価格である。

建築用シーリング材市販製品一覧

シリコン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株)エービーシー商会	ABCシリコンカートリッジ	クリアー, ホワイト, グレー, ブラック, ダークブラウン, アイボリー	333mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
コニシ(株)	ボンドシリコンコーク	グレー, クリアー, ホワイト, ダークブラウン, アルミ, 黒, アイボリー, アンバー	330mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
サンスター技研(株)	ペンギンシール2505	クリアー, ホワイト, アイボリー, グレー, ダークブラウン, ブラック	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス
	ペンギンシール2520	ホワイト, グレー, アイボリー, ブラック	3ℓセット	10:1	低モジュラス
	ペンギンシール2510	ホワイト, グレー, アンバー, ブラック	500mlフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	ペンギンシール2530	グレー, アンバー	500mlフィルムパック	1成分形	マッシュクタイプ
シャープ化学工業(株)	シャーピーシールS	クリアー, グレー, アンバー, アイボリー, ホワイト, アルミ	330mlカートリッジ	1成分形	
信越化学工業(株)	KE42	透明, 白, 黒, グレー, アルミ, アンバー, ダークブラウン, アイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	酢酸型
	シーラント45	透明, 白, 黒, グレー, アルミ, アンバー, アイボリー, ダークブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	オキシム型汎用
	KE422	透明	330mlカートリッジ	1成分形	酢酸型, 水槽用
	KE420	高透明	330mlカートリッジ	1成分形	超高透明, 酢酸型
	KE4288	白	330mlカートリッジ	1成分形	防かび性, 酢酸型
	シーラント4588	白, アイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	防かび性, オキシム型
	シーラント72	グレー, ダークブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	中モジュラス, アルコール型
	シーラント90	グレー, ダークブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス, アルコール型
	シーラント80	白, グレー, 黒, ブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス, アミド型
	シーラント70	白, グレー, アンバー, 黒	3ℓセット	10:1	低モジュラス(☑), アミノキシ型
	シーラント701	白, グレー, 黒, アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント77	白, グレー, 黒, アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント79	グレー, アンバー	3ℓセット	100:10 :0.71	塑性シーラント, 3成分形, アミノキシ型
	シーラント74	白, ライトグレー, ダークグレー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, 60分耐火シーラント, アミノキシ型
(株)スリーボンド	スリーボンド5211	ホワイト, クリアー, アルミ, グレー, アイボリー, アンバー, ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	スリーボンド5241	ホワイト, クリアー, アンバー, グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	スリーボンド5271B	グレー	3ℓセット	10:1	低モジュラス
世界長(株)	セカイチョーシーラーS I	クリアー, ホワイト, ダークブラウン, グレー, アイボリー, アルミ, グレー, 黒	333mlカートリッジ	1成分形	オキシム型

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
セメダイン(株)	セメダイン シリコーンシーラー-8060	クリアー, アルミ, ホワイト, アンバー, ナチュラルストーン, ダークアンバー, グレー	333mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
	セメダイン シリコーンシーラー-8065	クリアー, シルバー, ホワイト, アンバー, ナチュラルストーン, グレー, ブラック	333mlカートリッジ	1成分形	酢酸型
テイパ化工(株)	ボニーシリコーンSE5050	グレー	4ℓ	1成分形	マッシュクタイプ 表面のみ硬化
	ボニーシリコーン3011	グレー, クリアー, ホワイト	1/3ℓ	1成分形	酢酸型
	ボニーシリコーン3010	ホワイト, アイボリー, グレー, クリアー, アンバー	1/3ℓ	1成分形	無酸型
(株)東 郊 産 業	ハイシーラー #5000	クリアー, ホワイト, アンバー, アイボリー, グレー, ブラック	330mlカートリッジ	1成分形	
東 芝 シ リ コ ー ン(株)	トスシール361	ホワイト, ライトグレー, グレー, ダークブラウン, ブラック	3ℓセット	100:3	◎9030 低モジュラス
	トスシール62	グレー, ダークブラウン, ブラック	3ℓセット	100:3	中モジュラス ガラス用
	トスシール63	ホワイト, アイボリー	3ℓセット	100:3	防かび性
	トスシール64	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック	3ℓセット	100:3	準不燃性
	トスシール67	グレー	16ℓセット	100:3	流動性
	トスシール10	ライトグレー, グレー, ダークブラウン, ブラック	0.5ℓフィルムパック 4ℓ丸缶	1成分形	◎9030 低モジュラスアミ ノキシム型
	トスシール371	クリアー, ホワイト, グレー, アルミグレー, ブラック, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 速硬性
	トスシール17	クリアー, グレー, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 高モジュラス, 遅硬化性
	トスシール73	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	防かび, 酢酸型
	トスシール78	クリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	高透明, 酢酸型
	トスシール381	クリアー, ホワイト, グレー, アルミグレー, ダークブラウン, ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	トスシール83	ホワイト, アイボリー, ライトアイボリー, ダークアイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	防かび, オキシム型
	トスシール380	ホワイト, グレー, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ 4ℓ丸缶	1成分形	低モジュラスアル コール型
	トスシール90	ライトグレー, グレー, ダークブラウン	3ℓセット	100:3:0.64	油性目地補修 用, 3成分形
ト ー レ ・ シ リ コ ー ン(株)	S H 780	クリアー, ホワイト, グレー, アイボリー, ニューアイボリー, アルミ, アンバー, ブラック, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	S H 781	クリアー, ホワイト, グレー, アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	S E 788	クリアー, グレー, ホワイト, アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型, 中モジュラス
	S E 789	クリアー, グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 中モジュラス
	S H 790	ホワイト, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック, アイボリー	1/2ℓフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	S H 792	ホワイト, アイボリー, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック	3ℓセット	10:1	低モジュラス ◎9030
	S E 555	グレー, アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	脱アルコール中 モジュラス
	S E 777	スーパークリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	S E 5003	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	準不燃性
	S E 5010	ホワイト, アイボリー, ニューアイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型, 防かび 性

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
トーレ・シリコン(株)	SE5011	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,防かび性
	SE9090	グレー	1/3ℓカートリッジ 4ℓ	1成分形	マスチックタイプ (表面のみ硬化)
	SE794	グレー,アンバー	3ℓセット	100:3	準不燃性
	SE796	グレー,アンバー	3ℓセット	100:3	中モジュラスガラス用
	SE792	ホワイト,アイボリー,グレー, ナチュラルストーン,アンバー, ブラック	1/3ℓセット	100:2.5	低モジュラス
	SE9500	ブラック	1kg缶	10:1	脱アルコールタイプ
日東ポリマー工業(株)	ニューワイドシーラー	クリアー,グレー,ホワイト,アンバー, シルバー,アイボリー,ブラック	330mlカートリッジ	1成分形	
日本タイルメント(株)	タイルメント シリコンシーラント	クリアー,ホワイト,グレー,アンバー, アイボリー,アルミ,ブラック, ガラスクリアー(100mlチューブは ホワイトのみ)	330mlカートリッジ 100mlチューブ	1成分形	
	防水シリコンゴム	クリアー,ホワイト	150mlスクリュウカートリッジ, チューブ	1成分形	
日本フランチール(株)	ロードシルV-2	クリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,中モジュラス
	ロードシル3-B	クリアー,グレー,ホワイト,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	ロードシルV-70	クリアー,グレー,ホワイト,ダーク ブラウン,アイボリー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	ロードシル5C	グレー,ホワイト,ブラック,ダーク ブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
バイエル合成シリコン(株)	バイエル合成シリコン シーラント BA-10	アイボリー,グレー,アンバー, ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型,低モジュラス
	バイエル合成シリコン シーラント AP-20	クリアー,ホワイト,グレー,アンバー, ダークブラウン,ブラック,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	バイエル合成シリコン シーラント AP-22	ガラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,超透明
	バイエル合成シリコン シーラント BO-50	クリアー,ホワイト,アイボリー, グレー,アンバー,ダークブラウン, ブラック,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコン シーラントBO-50GC	ガラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコン シーラントBL-40	クリアー,ホワイト,グレー,ダーク ブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
	バイエル合成シリコン シーラントMS-60	グレー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	マスチック型
横浜ゴム(株)	ハマタイトSS-310	ホワイト,グレー,ダークブラウン, アイボリー,ブラック,クリアー	333mlカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	ハマタイトシリコン70	ホワイト,グレー,ダークブラウン, ブラック	4ℓセット	10:1: (0.48-0.57)	(0.48-0.57)は カラーマスター

変成シリコン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株)エービーシー商会	ABC変成シリコンM	ホワイト,ライトグレー,グレー, ブラウン,ダークブラウン	4ℓ	10:1	☉9030
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P-8000	グレー,ブロンズ,ホワイト	4ℓセット	100:10:(3.8)	☉9030 (3.8)は カラーマスター
	ベルエースMS	グレー,ブロンズ,アンバー, ベージュ,ホワイト	4ℓセット	100:10:(3.5)	☉8020 (3.5)は カラーマスター
	デュアリボンMS	ホワイト,グレー,アイボリー, ベージュ,ブロンズ	333mlカートリッジ	1成分形	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
関西パテ化工(株)	セルスーパー	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ベージュ	333mlカートリッジ	1成分形	
	セルシールMS	ホワイト, グレー, アンバー	4ℓセット	2成分形	
コニシ(株)	ボンドMSシール	ホワイト, アイボリー, グレー, アンバー, ブロンズ, ブラック	4ℓセット	100:10:(0.3)	㊟9030 (0.3)は カラーマスター
	ボンド変成シリコンコート	グレー, ホワイト, アイボリー, ベージュ, ブロンズ	333mlカートリッジ	1成分形	
	ボンド変成シリコンコートLM	ホワイト	333mlカートリッジ	1成分形	中モジュラス
	ボンド変成シリコンコートLM-S	ホワイト	333mlカートリッジ	1成分形	㊟8020 低モジュラス
サンスター技研(株)	ペンギンシール2500	グレー, アンバー, ホワイト, ベージュ, ブラック	4ℓセット トナー200g	10:1:0.4	㊟9030
	ペンギンシール2555 (パワーファイブ)	グレー, アンバー, ホワイト, ベージュ	320mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス
	ペンギンシール2550 (パワーファイブH)	グレー, アンバー, ホワイト, ベージュ, ブラック, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス
三洋工業(株)	スリーコーンB-3000	ホワイト, グレー, ダークブラウン	3ℓセット	10:1	
	スリーコーンC-320	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー	320mlカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ(株)	S Rシール S50	グレー, 白	3ℓセット×4	10:1	㊟9030
	S Rシール S70	グレー, 白	333mlカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラー M	ホワイト, グレー, ブラウン, アイボリー, ベージュ	320mlカートリッジ	1成分形	
	シャープシーラー M-2	グレー, ホワイト, ブラウン	4ℓセット	10:1	㊟9030
昭石化工(株)	メトリック	グレー, ブラック, ホワイト, ベージュ, ダークアンバー	4ℓセット	100:10:3	㊟9030
(株)スリーボンド	スリーボンド5222	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ	1成分形	
世界長(株)	セカイチョーシーラーMS	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030 (3)はカラーマスター
	セカイチョーシーラーHS	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	100:10:(3)	㊟8020 (3)はカラーマスター
セメダイン(株)	POSシールLM	ホワイト, グレー	333mlカートリッジ	1成分形	㊟8020
	POSシールタイプII	ホワイト, グレー, ブラック, ブロンズ, アンバー, アイボリー	4ℓセット	100:3	㊟9030
テイパ化工(株)	ボニーシーラー MS-3000	グレー, ブラウン, ホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030
	ボニーシーラー MS-8000	グレー, ブラウン, ホワイト	1/3ℓ	1成分形	
日興化学工業(株)	ニッシーラーMS	白, グレー, アンバー, ブロンズ, 黒	5ℓセット	10:1	
日東ポリマー工業(株)	ニットーク5000MS	ホワイト, グレー, ブラウン	3ℓセット	10:1	
日本タイルメント(株)	スーパーシール	ホワイト, グレー	330mlカートリッジ	1成分形	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo500	グレー, ダークブラウン, ホワイト, ブラック	4ℓセット カラーマスター	100:3:(5)	㊟9030 (5)はカラーマスター
(株)服部商店	サンシール #801	グレー, ホワイト, アイボリー, ダークブラウン	4ℓセット	10:1	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 2000	グレー, アイボリー, ブロンズ, ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030 (3)は カラーマスター
横浜ゴム(株)	ハマタイトスーパーII	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ダークアンバー, ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030 (3)は カラーマスター
	ハマタイトスーパーワン	ホワイト, グレー, ベージュ, ダークブラウン	333mlカートリッジ	1成分形	

ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
アサヒボンド工業(株)	101~109	グレー、黒、白、ブロンズ、ライトブロンズ、アンバー、ライトグレー、クリーム、その他	3.47ℓセット	10:1	
(株)エービーシー商会	チオコーク	グレー、ライトグレー、ブラウン、ダークブラウン、ブラック	4ℓセット 7ℓセット	10:1	㊟9030
カネボウ・エスエスシー(株)	カネボウP-5000	グレー、ブロンズ、アンバー	4ℓセット	10:1	㊟9030
関西パテ化工(株)	ハイトシール	ダークグレー、ブロンズ、ホワイト、アンバー、ブラック	3.4ℓセット	10:1	
コニシ(株)	ボンドシール #10	グレー、ブロンズ、アンバー、ブラック、ベージュ	4ℓセット	100:1:(0.6)	㊟9030 (0.6)は カラーマスター
サンスター技研(株)	ベタシール 169	グレー、ホワイト、アンバー、ブラック	4ℓセット	10:1	㊟9030
三洋工業(株)	スリーコールB-4000	グレー、アンバー、オフホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030 ㊟8020
サンライズメイセイ(株)	SRシールT27	グレー	3ℓセット	10:1	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーT-35	グレー、ライトグレー、ダークブラウン、ブラック、ホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030
昭石化工(株)	フジチオコール	グレー、ブラウン、アンバー、アイボリー、ダークアンバー、ブラック	4ℓセット	10:1	㊟8020
住友スリーエム(株)	ウェザーバンシーラー	ブラック、グレー	4ℓセット	ブラック 100:1 グレー 100:1	
世界長(株)	セカイチョーシーラーTH	シーリングホワイト、グレー、アンバー、ダークブラウン、ブロンズ、黒	4ℓセット	グレー100:10 シーリングホワイト 100:5 その他 100:10:(4)	㊟9030 ㊟8020 (4)は カラーマスター
セメダイン(株)	ポリシール	グレー、ブラック、ブロンズ、アンバー2、アンバー3	4ℓセット	10:1	㊟9030
大日化成(株)	サンシーラーP	グレー、アンバー、ブラウン、黒	4ℓセット	100:8	㊟8020
テイパ化工(株)	ボニーシーラー PS-2000	グレー、ブロンズ1、ブロンズ2、ブラック、アンバー5	4ℓセット	100:8	㊟9030
(株)東亜応用化工	エポコールシーラ	グレー、ブロンズ、黒、白、アイボリー	3.2ℓセット	100:8	
東レチオコール(株)	トプコールS	ホワイト、アイボリー、グレー、ブラウン、ブラック	333mlカートリッジ	1成分形	汎用タイプ
日興化学工業(株)	ニッシール	白、グレー、アンバー、ブロンズ、黒	3ℓセット	10:1	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク300S	グレー、アンバー、ブラウン	3.3ℓセット	10:1	
(株)日本化学研究所	チオシールニッカ #3151	グレー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ #501	ブロンズ	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ #1000	アイボリー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ #300	アンバー	4ℓセット	10:1	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNa300	グレー、ダークブラウン、ブラック、クリームホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #501	グレー、各色	3.75ℓセット	10:1 1:1(土木用)	㊟8020
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNa4000	グレー、ブロンズ、ブラック他	3.3ℓセット	10:1	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 1000	グレー、ブロンズ、アイボリー、アンバー、ブラウン、ブラック、(ホワイト)	4ℓセット	10:1	㊟8020
三星産業(株)	三星シール PS	グレー、ブロンズ、アイボリー	4ℓセット	10:1	㊟8020
横浜ゴム(株)	ハマタイトSC-500	オフホワイト、グレー、ダークブラウン、ブラック、アンバー	4ℓセット	20:1	㊟8020 ㊟9030

アクリルウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日東電気工業(株)	ニトシールA2000	グレー, ダークブラウン, アイボリー, ブラウン, ブラック, ホワイト	5.5ℓセット	1:2.5	
山内ゴム工業(株)	トップシーラー#7	グレー, 白, その他	6ℓセット	1:3	

ポリウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
アサヒボンド工業(株)	アサヒシール651~659	黒, 白, ブロンズ, グレー, ライト トロンズ, クリーム, アンバー, ライトグレー, その他	4.4ℓセット 7.35ℓセット	1:3	
(株)エービーシー商会	ABCコーキングウレタン 70	グレー, アイボリー, ホワイト, ダークブラウン	6ℓ	1:3	㊦8020
	ABCコーキングウレタン カートリッジ	ホワイト, グレー, アイボリー, ダークブラウン	333mlカートリッジ	1成分形	
オート化学工業(株)	オートンシーラー101A	グレー, ホワイト, アイボリー, アンバー	320mlカートリッジ 4ℓ缶 12ℓペール缶	1成分形	㊦9030 一般汎用
	オートンシーラー101LM	ホワイト	320mlカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	低モジュラス
	オートンシーラー101N	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	ノンフリージング タイプ
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P-6000	グレー, ブロンズ, ホワイト	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊦8020 (0.1)は カラーマスター
	カネボウ P-6500	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工(株)	セルシール PU	グレー	12.5ℓ	1成分形	
	セルシール PU	グレー, アンバー, 白, アイボ リー	4.6ℓセット	1:2	
	セルシール PU	グレー, アンバー, 白, アイボ リー	333mlカートリッジ	1成分形	
コニシ(株)	ボンドUシール	グレー, ブロンズ, アイボリー, ホワイト	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊦8020 (0.1)は カラーマスター
	ボンドウレタンコーク	グレー, ホワイト, アンバー, アイ ボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 980	グレー, ホワイト, ベージュ, アン バー	6ℓセット トナー300g	1:2.9:0.15	㊦8020
	ペンギンシール 970	ブラック, グレー	12ℓセット	1:1	
	ペンギンシール 955	グレー, ホワイト, アンバー, ベ ージュ	14ℓ 320mlカートリッジ	1成分形	
三洋工業(株)	スリーウレッチ 103	グレー, ナチュラルストーン	4.6ℓセット	1:3	㊦8020
	スリーウレッチ C320	グレー, アイボリー, ホワイト, アンバー	320mlカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ(株)	SRシール U31		7.1ℓセット	1:3	
	SRシール U73		320mlカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業(株)	シャープシールU	グレー, ホワイト, アイボリー, ブラウン	320mlカートリッジ	1成分形	
	シャープシールU-75	グレー, ホワイト, アイボリー, ブラック	6.8ℓセット 7.2ℓセット・ペール缶	1:2 1:3	㊦8020

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
昭石化工(株)	ユーゼット	グレー、アイボリー、ブラウン、 ダークブラウン	8ℓセット 3.4ℓセット	1:2	㊟8020
	ユーゼット 103	グレー、アイボリー、ブラウン、 ダークブラウン	8.2ℓセット 5.4ℓセット 2.7ℓセット	1:3	㊟8020
(株)スリーボンド	PANDO412A	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
世界長(株)	セカイチョーシーラー U-1	ホワイト、グレー、アイボリー、 ダークブラウン	320mlカートリッジ	1成分形	
	セカイチョーシーラー PU-213	グレー、アイボリー、ダークブ ラウン	8ℓセット 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊟8020 (0.1)は カラーマスター
セメダイン(株)	S-750	ホワイト、アイボリー、ブロン ズ、アンバー、グレー、ブラッ ク	7.25ℓセット	1:3	㊟8020
	S-700	ホワイト、グレー、アンバー、ブ ラック、アイボリー、	333mlカートリッジ	1成分形	
大日化成(株)	サンシーラー U-13	白、グレー、アイボリー、ブラウ ン	5.8ℓセット	1:3	㊟8020
	スカイシール U	白、グレー、アイボリー、ブラウ ン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
大和高分子工業(株)	ダイワシール #100	グレー、ホワイト、アイボリー、 アンバー、グリーン	320mlカートリッジ	1成分形	
	ダイワシール #500	グレー	7.14ℓセット	1:2	
テイパ化工(株)	ポニーシーラーU-2000	グレー、ブラウン、 アイボリー、ブラック	7ℓセット	1:2	㊟8020
	ポニーシーラーU-3000	グレー、ブラウン、アイボリー、 ブラック	6ℓセット	1:3	㊟8020
	ポニーシーラーU-8000	グレー、ホワイト、アイボリー、 アンバー	1000mlカートリッジ 320mlカートリッジ	1成分形	
(株)東亜応用化工	エポコール U-3	グレー、ブロンズ、黒、白、アイ ボリー	5.6ℓセット	1:3	
(株)東郊産業	ハイシーラーハイレタン	グレー、ホワイト、アンバー、ア イボリー	320mlカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンジャンボ	グレー、ホワイト、アンバー、ア イボリー	1000mlカートリッジ	1成分形	特注色
日興化学工業(株)	ニッシーラーウレタン	白、グレー、アンバー、ブロン ズ、黒	5ℓセット	1:3	
日東電気工業(株)	ニトシール A 2100	グレーほか	7ℓセット	1:8	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク200U	グレーほか4色	4.3ℓセット	1:3	
	ニットーウレタン	グレーほか4色	320mlカートリッジ	1成分形	
(株)日本化学研究所	ニッカウレタイトシーラー	グレー、ホワイト、ブラック	6ℓセット	1:2 1:3	
日本シーカ(株)	シーカフレックス1 a	グレー、白、ダークアンバー、 ベージュ、黒	320mlカートリッジ 400mlモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	
	シーカフレックス15LM	グレー、白	320mlカートリッジ 400mlモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	低モジュラス
	シーカフレックス11FC	グレー、白、黒	320mlカートリッジ 400mlモノ・ソーセージ	1成分形	速乾型
日本タイルメント(株)	タイルメントウレタンシーラント	ホワイト、グレー、アンバー、ア イボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo200	グレー、ダークブラウン、ブラ ック、クリームホワイト	7ℓセット・ペール缶 3.5ℓセット	1:3	㊟8020
	ファインシーラーNo20	クリームホワイト、グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	A L C用
	ファインシーラー No200 水路用	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo2000	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo201	グレー、ダークブラウン、ホ ワイト	320mlカートリッジ	1成分形	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #401	グレー、各色	9ℓセット 4ℓセット	1:3	㊟8020 土木用、建築用

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNo3000	グレー、ブロンズ、ブラック、ホワイト	7.1ℓセット	1:3	
	ワンウレタン	グレー、アンバー、アイボリー、ホワイト他	320mlカートリッジ	1成分形	
(株)服部商店	サンシール #701	グレー、ホワイト、アイボリー、ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
	サンシール #903	グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー、ダークブラウン	7.5ℓセット	1:3	㊟8020
	サンシールAU	ホワイト、グレー、ダークブラウン	7.0ℓセット	1:10	ALC専用
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 5000	グレー、ブロンズ、オフホワイト、ブラック	4.4ℓセット 8ℓセット	1:3:(0.15)	㊟8020 (0.15)は カラーマスター
	ハイボン 5100	グレー、ホワイト	320mlカートリッジ	1成分形	
保土谷建材工業(株)	ミリオネートNS-III	グレー、白、黒、茶、アイボリー	6ℓセット	1:2.9:0.1	㊟8020
	ミリオネートNS-26	グレー、白、黒、茶	5.8ℓセット	1:3	㊟8020
	ミリオネートシーラー	グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー	320mlカートリッジ	1成分形	
三星産業(株)	三星シールAU	グレー、ブロンズ、ホワイト	3.7ℓセット 7.2ℓセット	1:3	㊟8020
山内ゴム工業(株)	トップシーラー #U2	グレー、白	6ℓセット	1:3	
横浜ゴム(株)	ハマタイトUH-30	アイボリー・ホワイト、グレー、ダークブラウン、ブラック、ベージュ	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020 (0.1)は カラーマスター
	ハマタイトシールエース	ホワイト、グレー、ダークブラウン、ベージュ	320mlカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	

アクリル系シーリング材・SBR系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P-4000	ホワイト、グレー	18ℓ 320mlカートリッジ	㊟7020
関西パテ化工(株)	ハイトコーク	白、アイボリー、アンバー	17.3ℓ 333mlカートリッジ	
	ハイトコークボンド	白、アイボリー、グレー、アンバー、木色地各色	500g	
コニシ(株)	ボンドアクリルコーク	ホワイト、アイボリー、グレー	17.4ℓ 330mlカートリッジ	㊟7020 (缶タイプのみ)
	ボンドコークホワイト	ホワイト	320mlチューブ	
	ボンドコークアイボリー	アイボリー	320mlチューブ	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 1250	ホワイト	333mlカートリッジ 340mlチューブ 18ℓ	
三洋工業(株)	スリーラント	ホワイト	18ℓ 333mlカートリッジ 500c.c.チューブ 1000c.c.カートリッジ	㊟7020
サンライズメイセイ(株)	SRシールY60A	白、グレー	17ℓ 320mlカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーA	ホワイト、グレー	17ℓ 330mlカートリッジ	㊟7020
昭石化工(株)	アクリルエース	ホワイト	18ℓ 330mlカートリッジ	
世界長(株)	セカイチョーシーラーEA	ホワイト	17ℓ	㊟7020
	セカイチョーシーラーEAカートリッジ	ホワイト	340mlカートリッジ	㊟7020
	セカイチョーシーラーEAチューブ	ホワイト	500gチューブ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン(株)	メジシール S-10 S-20	ホワイト	18ℓ	S-10 一般用 S-20 蔽寒用
	メジシール	ホワイト	333mlカートリッジ	
大日化成(株)	サンシーラー A	白, グレー	17ℓ	
	サンシーラー AK	白, グレー	1/3ℓ カートリッジ	
テイパ化工(株)	アクリルコーク A-100	ホワイト	330mlカートリッジ 17ℓ	
(株)東郊産業	ハイシーラー #2000	ホワイト, グレー, アイボリー	17ℓ 330mlカートリッジ 500gチューブ	㊦
	アクリルジャンボ	ホワイト, グレー	1.4kg ジャンボカートリッジ	㊦ 特注色
日東ポリマー工業(株)	エラスコーク	ホワイト, グレー, アンバー	17ℓ 330mlカートリッジ 330mlチューブ	㊦7020W-15 凍結防止品
	エラスコークブリット	ホワイト	700mlフィルムパック 350mlフィルムパック	㊦7020
(株)日本化学研究所	ニッカシール A	白	17ℓ	ALC, PC専用
日本タイルメント(株)	タイルメントアクリルシーラント	ホワイト, ウスチヤ, ベニア, アイボリー, ウグイス, ニス(330ml カートリッジはホワイトのみ)	330mlチューブ 330mlカートリッジ	
	ホワイトコーク	白	17ℓ 缶 330mlカートリッジ	
	アクリルコークジャンボ	白	900mlカートリッジ	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラー No.1000	ホワイト, グレー	17ℓ 缶	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク # 301	グレー, 白	18ℓ 330mlカートリッジ	㊦8020
(株)ハイケミカル	ハイケミコーク No.5000	ホワイト	17ℓ	
(株)服部商店	サンシール # 5001	ホワイト, グレー, アイボリー	1/3ℓ カートリッジ 17ℓ	㊦7020
三星産業(株)	三星シール AC	ホワイト, グレー	18ℓ 333mlカートリッジ 333mlチューブ	㊦7020
山内ゴム工業(株)	トップシーラー # 5000 # 5000N	白, グレー	17ℓ 330mlカートリッジ	㊦7020 N:凍結防止品

ブチルゴム系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エスエスシー(株)	カネボウ P-3000	グレー	18ℓ 320mlカートリッジ	
関西パテ化工(株)	セルシール B	グレー, 新茶	18ℓ 333mlカートリッジ	
コニシ(株)	ボンドシールパテ	グレー	18ℓ	
	ボンドブチコール	グレー, 新茶, 赤茶, 青	330mlカートリッジ	
サンスター技研(株)	ペンギンシール 850	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	
三洋工業(株)	ブチラー	グレー, 新茶, ブラウン, ブルー	18ℓ 333mlカートリッジ	
サンライズメイセイ(株)	S Rコーキング R-40	グレー	18ℓ 320mlカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラー B	グレー, ホワイト, ブラック, ブラウン	18ℓ 330mlカートリッジ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
住友スリーエム(株)	リボンシール	グレー	300mlカートリッジ	
世界長(株)	セカイチョーシーラーRB	グレー、アルミグレー、ホワイト	320mlカートリッジ 18ℓ	
セメダイン(株)	ブチルシール S-620	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	
大日化成(株)	サンシーラーB	グレー	17ℓ	
	サンシーラーBK	グレー、ブラウン、黒	1/3ℓカートリッジ	
テイパ化工(株)	ブチルコーク B-100	グレー	330mlカートリッジ 18ℓ	
(株)東郊産業	ハイシーラー #3000	グリーン、ホワイト、ブラウン、シルバー、ブルー、グリーン、アイボリー、ブラック	330mlカートリッジ	
日興化学工業(株)	ブレンシール	グレー、黒	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
日東ポリマー工業(株)	ニューゴムコーキング	グレー、シルバー、青、深茶、れんが	330mlカートリッジ	
日本タイルメント(株)	タイルメントブチルシーラント	白、グレー、アルミ、レンガ、シンチャ	330mlカートリッジ	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo150	グレー	18ℓ缶 330mlカートリッジ	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #201	グレー、各色	18ℓ 330mlカートリッジ	土木用、防水用
(株)ハイケミカル	ハイケミコークNo1020	グレー	330mlカートリッジ	
(株)服部商店	サンシール #601	グレー、新茶、レンガ、青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
早川ゴム(株)	ミケロンコーク	黒、グレー	330mlカートリッジ 16ℓ 330mlチューブ	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン 310	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
三星産業(株)	三星シールブチル	灰、新茶、赤、青	17ℓ(灰) 333mlカートリッジ	
山内ゴム工業(株)	トップシーラー #30	グレー、黒、茶ほか	18ℓ 330mlカートリッジほか	用途別多品種取揃

油性コーキング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
(株)エービーシー商会	ABCコーキング	グレー	18ℓ	
関西パテ化工(株)	Kコーク	グレー、新茶	18ℓ 333mlカートリッジ 720mlチューブ 280mlチューブ	㊟
コニシ(株)	ボンド油性コーク	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
	ボンドコーキング	グレー、白	310mlチューブ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
サンスター技研(株)	ペンギンシール 750	グレー	333mlカートリッジ 18ℓ	㊟
三洋工業(株)	スリーコーキング	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ 800mlチューブ	㊟
サンライズメイセイ(株)	S RシールB20G	グレー	17ℓ 670mlチューブ 333mlチューブ 320mlカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャープシーシールP	グレー、ホワイト、ブラウン	18ℓ 330mlカートリッジ 288gチューブ 575mlチューブ	㊟
昭石化工(株)	エパーシール	グレー	18ℓ 600mlチューブ	㊟
世界長(株)	ケミコーク	グレー	320mlカートリッジ 18ℓ	㊟
セメダイン(株)	ポリコーク	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	㊟
大日化成(株)	サンコーク	グレー	17ℓ	
	サンコークK	グレー、ブラウン	1/3ℓカートリッジ	
テイパ化工(株)	グレイコート	グレー	330mlカートリッジ 18ℓ	㊟
(株)東亜応用化工	ポリシール #100	グレー、ブロンズ、白	18ℓ入 330mlカートリッジ	㊟
(株)東郊産業	ハイシーラーハイコーク	グレー	17ℓ 330mlカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	㊟
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク#100G	グレー、ホワイト	17ℓ 330mlカートリッジ	
(株)日本化学研究所	ニッカシール	グレー	18ℓ	
	ニッカシールカートリッジ	グレー	400mlカートリッジ	
日本タイルメント(株)	タイルメントコーキング	灰白	800mlチューブ 400mlチューブ 320mlカートリッジ	
日本添加剤工業(株)	ファインコーク	グレー	16.5ℓ缶 300mlカートリッジ	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク #101	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	㊟
(株)ハイケミカル	ハイケミコーク	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
(株)服部商店	サンシール #101	グレー、新茶、レンガ、青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㊟
三星産業(株)	三星コーキン	グレー	18ℓ 800mlチューブ 500mlチューブ 360mlカートリッジ	

新基材

変成ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
三洋工業(株)	スリコールC-320	グレー、ホワイト	320mlカートリッジ	

日本シーリング工業会

会 員 名 簿

事務局所在地

〒101 東京都千代田区外神田2-2-17 共同ビル 電話 03 (255) 2841

1. 正 会 員 44

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
アサヒボンド工業(株)	東京都板橋区大谷口北町3-7	173	(03) 972 4929
(株)エービーシー商会	〃 千代田区永田町2-12-14	100	(03) 507 7111
オート化学工業(株)	〃 港区西新橋2-23-1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー(株)	大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
関西パテ化工(株)	〃 東大阪市日下町3-7-36	579	(0729)82 2131
コニシ(株)	大阪市東区平野町2-10 沢の鶴ビル	541	(06) 228 2970
サンスター技研(株)	大阪府高槻市明田町7-1	569	(0726)81 0351
三洋工業(株)	東京都江東区亀戸6-20-7	136	(03) 685 3452
サンライズメイセイ(株)	大阪府堺市浜寺石津町中1-4-7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業(株)	〃 堺市築港浜寺西町13-12	591	(0722)68 0321
昭石化工(株)	東京都品川区南大井1-7-4	140	(03) 761 4291
信越化学工業(株)	〃 千代田区神田美倉町1 プルミエK Iビル	101	(03) 256 3651
住友スリーエム(株)	〃 世田谷区玉川台2-33-1	158	(03) 709 8111
(株)スリーボンド	〃 八王子市狭間町1456	193	(0426)61 1333
世界長(株)	兵庫県西宮市津門大箇町8-39	663	(0798)26 5724
セメダイン(株)	東京都品川区東五反田4-5-9	141	(03) 442 1341
大日化成(株)	大阪市鶴見区焼野3-1-13	538	(06) 911 0251
大和高分子工業(株)	東京都千代田区平河町2-4-16 平河中央ビル	102	(03) 230 4311
武田薬品工業(株)	大阪市東区修道町2-27	541	(06) 204 2480
テイパル化工(株)	〃 東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株)東亜応用化工	香川県坂出市室町1-3-32	762	(0877)46 2185
(株)東郊産業	愛知県春日井市森山田町7	486	(0568)33 5118
東芝シリコーン(株)	東京都港区六本木6-2-31 東日ビル	106	(03) 479 3501
トーレ・シリコーン(株)	〃 中央区日本橋室町2-8 三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レチオコール(株)	〃 中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845
日興化学工業(株)	〃 江東区白河4-9-5	135	(03) 642 7155
日東電気工業(株)	〃 千代田区内神田1-1-7 東大手ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業(株)	兵庫県尼崎市大浜町2-5-1	660	(06) 418 7421
(株)日本化学研究所	東京都中央区京橋1-6-13	104	(03) 564 5161
日本シーカ(株)	〃 港区新橋4-2-1 第29森ビル	105	(03) 436 4131
日本タイルメント(株)	名古屋市中村区宿跡町1-58	453	(052)412 5300
日本添加剤工業(株)	東京都板橋区前野町1-21-5	174	(03) 965 5731
日本フランシール(株)	〃 港区赤坂1-9-20 第16興和ビル別館	107	(03) 587 4711
(株)ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4-19-4	332	(0482)23 4511
バイエル合成シリコーン(株)	東京都港区芝公園2-4-1 秀和芝パークビルA 6	105	(03) 434 4141
(株)ハイケミカル	〃 品川区小山6-7-6 タク・シティハイツ西小山	142	(03) 781 9984
(株)服部商店(淀支店)	京都市伏見区淀美豆町705	612	(075)631 3128
早川ゴム(株)	東京都江東区佐賀1-16-10	135	(03) 642 9434

日立化成ポリマー(株)	〃 千代田区内神田1-13-7 四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業(株)	〃 港区浜松町1-18-14 スパックスビル	105	(03) 437 9471
三井東洋化学(株)	〃 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル	100	(03) 593 7905
三星産業(株)	〃 千代田区神田小川町3-28 三東ビル	101	(03) 292 1961
山内ゴム工業(株)	大阪府枚方市招提田近2-7	573	(0720)56 1131
横浜ゴム(株)	神奈川県平塚市中原上宿900	254	(0463)31 3002

(1) 北海道支部 13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株)エービーシー商会	札幌市中央区南三条西13丁目 柴田ビル	060	(011)231 7904
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産(株)内	060	(011)261 8271
コニシ(株)	〃 西区琴似一条5丁目 札幌松井ビル	063	(011)612 0211
サンスター技研(株)	〃 中央区北一条西4丁目 札幌東邦生命ビル	060	(011)271 0392
三洋工業(株)	〃 白石区南郷通21丁目南5-31	003	(011)864 5155
信越化学工業(株)	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011)221 6471
セメダイン(株)	〃 中央区北一条東9丁目	060	(011)261 1471
東芝シリコン(株)	〃 中央区北三条西1丁目 東芝札幌ビル	060	(011)214 2586
トーレ・シリコン(株)	〃 中央区北三条西3丁目 北三条三井ビル	060	(011)231 5281
日本シカ(株)	〃 中央区北二条西2丁目 加森ビル	060	(011)221 6331
日本添加剤工業(株)	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産(株)内	060	(011)261 8271
三星産業(株)	〃 中央区南五条西24丁目	061	(011)551 3781
ヨコハマゴム工業品北海道販売(株)	〃 中央区大通東7丁目	060	(011)241 5111

(2) 仙台支部 13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
コニシ(株)	仙台市卸町1-6-15 卸町セントラルビル	983	(022)235 3178
サンスター技研(株)	〃 本町1-9-6 利根川ビル	980	(022)261 3391
三洋工業(株)	〃 扇町5-9-1	983	(022)232 5311
信越化学工業(株)	〃 本町2-10-33 第2オフィスビル	980	(022)264 2777
昭石化工(株)	〃 一番町4-1-1 仙台セントラルビル 昭和シェル石油(株)内	980	(022)267 5319
(株)スリーポンド	〃 六丁の目西町8-8	983	(022)287 2905
世界長(株)	〃 小田原弓ノ町31 青葉商工第一ビル	983	(022)295 7051
セメダイン(株)	〃 卸町2-12-14	983	(022)284 6167
東芝シリコン(株)	〃 国分町2-2-2 東芝仙台ビル	980	(022)264 7496
トーレ・シリコン(株)	〃 一番町2-3-20 第3日本オフィスビル	980	(022)227 9528
日立化成ポリマー(株)	〃 一番町1-5-5 日立仙台別館	980	(022)227 8665
三星産業(株)	〃 本町1-3-20	980	(022)262 5201
ヨコハマゴム工業品東北販売(株)	〃 萩野町3-1-8	983	(022)284 0437

(3) 東京支部 33

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株)エービーシー商会	東京都千代田区永田町2-12-14	100	(03) 507 7240
オート化学工業(株)	〃 港区西新橋2-23-1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 千代田区平河町2-8-2 エターナル・モーヴビル	102	(03) 263 4701
コニシ(株)	〃 中央区日本橋室町4-5 近三ビル	103	(03) 245 6941
サンスター技研(株)	〃 港区三田1-3-36	108	(03) 453 9301
三洋工業(株)	〃 江東区亀戸6-20-7	136	(03) 685 2101
サンライズメイセイ(株)	横浜市神奈川区三枚町299-5	221	(045)383 4651
シャープ化学工業(株)	東京都江東区東陽5-26-1 小川ビル	135	(03) 649 8103
昭石化工(株)	〃 品川区南大井1-7-4	140	(03) 761 4171
信越化学工業(株)	〃 千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル	100	(03) 246 5091

(株) スリーボンド	〃 八王子市狭間町1456	193	(0426)61 1333
世界長(株)	〃 渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル	150	(03) 462 5161
セメダイン(株)	〃 品川区東五反田4-5-9	141	(03) 442 1311
大和高分子工業(株)	〃 千代田区平河町2-4-16 平河中央ビル	102	(03) 230 4311
テイパ化工(株)	〃 港区新橋6-10-3 遠江ビル	105	(03) 431 9357
東芝シリコーン(株)	〃 港区六本木6-2-31 東日ビル	106	(03) 479 3501
トーレ・シリコーン(株)	〃 中央区日本橋室町2-8 三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レチオコール(株)	〃 中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845
日興化学工業(株)	〃 江東区白河4-9-5	135	(03) 642 7155
日東電気工業(株)	〃 千代田区内神田1-1-7 東大手ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業(株)	〃 千代田区外神田2-2-17 共同ビル	101	(03) 255 6338
(株)日本化学研究所	〃 中央区京橋1-6-13	104	(03) 564 5161
日本シーカ(株)	〃 港区新橋4-2-1 第29森ビル	105	(03) 436 6031
日本添加剤工業(株)	〃 板橋区前野町1-21-5	174	(03) 965 5731
(株)ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4-19-4	332	(0482)23 4511
バイエル合成シリコーン(株)	東京都港区芝公園2-4-1 秀和芝パークビルA 6	105	(03) 434 4141
(株)ハイケミカル	〃 品川区小山6-7-6 タク・シティハイツ西小山	142	(03) 781 9984
早川ゴム(株)	〃 江東区佐賀1-16-10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー(株)	〃 千代田区内神田1-13-7 四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業(株)	〃 港区浜松町1-18-14 スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東庄化学(株)	〃 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル	100	(03) 593 7905
三星産業(株)	〃 千代田区神田小川町3-28 三東ビル	101	(03) 292 1961
横浜ゴム(株)	〃 港区新橋5-36-11	105	(03) 432 7111

(4) 名古屋支部 20

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株)エービーシー商会	名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル	460	(052)251 4411
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中村区名駅4-17-19 鐘紡ビル	450	(052)583 8606
コニシ(株)	〃 西区菊井2-6-5	451	(052)563 6551
サンスター技研(株)	〃 千種区萱場町2-4-7 サンスタービル	464	(052)722 6815
三洋工業(株)	〃 緑区鳴海字母呂後26	458	(052)623 0061
サンライズメイセイ(株)	〃 名東区一社3-90 秀サンビル202号	465	(052)703 2061
昭石化工(株)	〃 中区丸の内1-17-19 長銀ビル	460	(052)231 6568
信越化学工業(株)	〃 中村区名駅4-27-23 新名古屋三井ビル東館4 F	450	(052)581 6511
世界長(株)	〃 東区矢田町8-20	461	(052)722 3301
セメダイン(株)	〃 千種区井上町34	464	(052)781 3166
テイパ化工(株)	大阪市東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
東芝シリコーン(株)	名古屋市中区栄2-6-12 白川第1ビル8 F	460	(052)201 8541
トーレ・シリコーン(株)	〃 中村区名駅3-25-9 堀内ビル8 F	450	(052)563 3951
日本シーカ(株)	〃 千種区内山3-10-17 今池セントラルビル	464	(052)733 7353
日本添加剤工業(株)	〃 中村区太閤通り2-40 フタバビル	453	(052)451 8632
(株)服部商店	〃 中区丸の内2-18-1	460	(052)221 9461
日立化成ポリマー(株)	〃 中村区名駅南1-24-21 名古屋三井ビル別館5 F	450	(052)581 2967
保土谷建材工業(株)	〃 中区錦1-17-13 名興ビル	460	(052)231 7225
三星産業(株)	〃 東区泉2-29-19 第2大野ビル	461	(052)931 3390
横浜ゴム(株)	〃 中区錦1-17-13 名興ビル3 F	460	(052)231 4321

(5) 大阪支部 25

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株)エービーシー商会	大阪市淀川区西中島4-2-9	532	(06) 305 1181
カネボウ・エヌエスシー(株)	大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
コニシ(株)	大阪市東区道修町2-6	541	(06) 228 2961

サンスター技研(株)	大阪府高槻市川西町1-35-8	569	(0726)84 0600
サンライズメイセイ(株)	〃 堺市浜寺石津町中1-4-7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業(株)	〃 堺市築港浜寺西町13-12	591	(0722)68 0321
昭石化工(株)	大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル	530	(06) 341 6395
信越化学工業(株)	〃 北区小松原町27 富国生命ビル	530	(06) 313 4821
世界長(株)	兵庫県西宮市津門大筒町8-39	663	(0798)26 5724
セメダイン(株)	大阪市南区島之内1-15-14	543	(06) 251 3555
武田薬品工業(株)	〃 東区道修町2-27	541	(06) 204 2481
テイパ化工(株)	〃 東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株)東亜応用化工	香川県坂出市室町1-3-32	762	(0877)46 2185
東芝シリコン(株)	大阪市東区本町3-27-1 センバセントラルビル	541	(06) 251 6272
トーレ・シリコン(株)	〃 北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル9 F	530	(06) 376 1251
日東ポリマー工業(株)	兵庫県尼崎市大浜町2-5-1	660	(06) 418 7421
日本シーカ(株)	大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業(株)	〃 西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
バイエル合成シリコン(株)	〃 東区安土町2-10 新トヤマビル	541	(06) 266 0091
(株)服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
日立化成ポリマー(株)	大阪市東区北浜4-6 日生日立ビル	541	(06) 202 6341
保土谷建材工業(株)	〃 東区高麗橋5-45	541	(06) 203 4651
三星産業(株)	〃 西区京町堀1-10-17 大栄ビル	550	(06) 443 9721
山内ゴム工業(株)	〃 東淀川区東中島2-8-6 日本ペトラ(株)内	533	(06) 324 0518
横浜ゴム(株)	〃 北区堂島1-5-17 堂島グランドビル	530	(06) 345 1425

(6) 広島支部 15

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株)エービーシー商会	広島市中区鉄砲町1-20 ウエノヤビル3号館	730	(082)221 3096
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中区大手町3-5-11	730	(082)249 6615
コニシ(株)	〃 西区上天満町3-14 渋谷ビル	733	(082)294 8811
サンスター技研(株)	〃 西区商工センター5-15-25	733	(082)277 8444
三洋工業(株)	〃 東区曙町4-50	730	(082)261 9321
サンライズメイセイ(株)	〃 南区比治山町5-12	732	(082)263 4461
信越化学工業(株)	〃 中区中町7-32 日本生命広島ビル	730	(082)248 3931
世界長(株)	〃 中区江波二本松1-14-1	733	(082)295 0371
セメダイン(株)	〃 中区鶴見町12-13 昇和ビル	730	(082)249 0941
東芝シリコン(株)	〃 中区大手町2-7-7 小松ビル	730	(082)247 0951
トーレ・シリコン(株)	〃 中区大手町2-7-10 広島三井ビル	730	(082)249 7811
日本シーカ(株)	大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業(株)	〃 西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
(株)服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
横浜ゴム(株)	広島市中区鉄砲町5-16 広島サンケイビル	730	(082)227 8105

(7) 福岡支部 18

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株)エービーシー商会	福岡市博多区博多駅前3-10-24 藤井ビル	812	(092)451 5541
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中央区大手門3-7-9	810	(092)752 0024
コニシ(株)	〃 南区清水3-24-19 日吉ビル	815	(092)551 1761
サンスター技研(株)	〃 博多区店屋町8-24 九勸日産ビル	812	(092)281 3581
三洋工業(株)	〃 博多区大字板付866	816	(092)581 3438
サンライズメイセイ(株)	〃 博多区博多駅前4-26-11 鐘芳ビル	812	(092)472 2143
昭石化工(株)	〃 博多区網場町2-2 福岡第1ビル	812	(092)291 0008
信越化学工業(株)	〃 博多区網場町2-2 福岡第1ビル	812	(092)291 8442
世界長(株)	〃 博多区博多駅前3-13-28 世界長ビル	812	(092)474 5582

セメダイン(株)	// 中央区大手門1-9-22 大手門ビル	810	(092)741 7188
テイパ化工(株)	大阪市東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
東芝シリコン(株)	福岡市中央区長浜2-4-1 東芝福岡ビル	810	(092)713 3691
トーレ・シリコン(株)	// 中央区天神2-13-7 福岡長銀ビル	810	(092)712 6158
日本シーカ(株)	// 博多区博多駅前3-19-14 ビーエスビル博多	812	(092)472 1684
日本添加剤工業(株)	大阪市西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
日立化成ポリマー(株)	福岡市中央区天神1-14-16 三栄ビル	810	(092)712 4243
保土谷建材工業(株)	// 中央区大名2-9-25 わこうビル	810	(092)751 3506
ヨコハマゴム工業品九州販売(株)	// 中央区薬院1-7-4	810	(092)711 8541

2. 賛助会員

(1) 日本シーリング工業会賛助会員 20

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業(株)	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
(株)井上製作所大阪支店	大阪市淀川区三津屋南3-6-20	532	(06) 301 2637
(株)小野田	東京都台東区上野5-15-14 御徒町CYビル8F	110	(03) 837 0912
化研マテリアル(株)	// 港区西新橋3-8-1 第2鈴丸ビル	105	(03) 436 3011
鐘淵化学工業(株)	// 港区元赤坂1-3-12	107	(03) 405 6063
(株)菅野製作所	// 北区志茂3-3-26	115	(03) 903 3140
光栄商事(株)	// 練馬区上石神井1-20-6	177	(03) 928 5811
(株)芝浦製作所機工事業部	// 港区赤坂1-1-12 溜池明産ビル	107	(03) 589 3505
白石工業(株)	// 中央区日本橋茅場町1-11-3 岡本ビル	103	(03) 639 5066
(株)新和商会	// 荒川区西日暮里2-24-14	116	(03) 803 1411
大進商工(株)	// 北区東十条3-13-9	114	(03) 912 8447
タカビシ化学(株)	大阪市東区平野町1-29	541	(06) 231 8751
(株)日本カーテンウォール工業会	東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
日本バックアップ工業(株)	// 中野区中央1-12-9	164	(03) 369 0215
日本ポリウレタン工業(株)	// 港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平会館	105	(03) 508 0621
日本触媒化学工業(株)	// 港区三田3-11-36 三田日東大ビル	108	(03) 798 7071
野口興産(株)	// 練馬区豊玉北2-10	176	(03) 994 5601
(株)野村事務所	// 港区西新橋1-1-15 物産ビル別館	105	(03) 502 1466
フヨ一(株)	// 墨田区業平5-5-6	130	(03) 626 3371
ミキスタ工業(株)	// 中央区日本橋蛸殻町1-33-7	103	(03) 669 9471

(2) 日本シーリング工業会大阪支部賛助会員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
大阪御国商事(株)	茨木市横江2-1-12	567	(0726)34 8214
鐘淵化学工業(株)	// 北区中の島3-2-4 朝日新聞ビル	530	(06) 208 6219
鐘工業(株)	// 都島区高倉町1-11-12	534	(06) 921 4231
岸田資材工業(株)	神戸市兵庫区中道通り5-10-13	652	(078)575 2953
(株)旭栄	大阪市北区天神橋筋1-1-1 中塚ビル354号	530	(06) 354 0356
三省物産(株)	// 南区順慶町通り4-25	542	(06) 252 5541
白石工業(株)	兵庫県尼崎市元浜町4-78	660	(06) 417 3131
(株)ジャビコ	大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル本館	530	(06) 345 6871
竹原化学工業(株)	// 北区梅田1-12-17 梅田ビル	530	(06) 343 0591
(株)野村事務所	// 南区南船場4-12-8 関西心斎橋ビル	542	(06) 243 0341
フヨ一(株)	// 淀川区宮原5-6-10	532	(06) 395 0201
(株)前田精市商店	// 東区道修町1-17	541	(06) 203 4641
三国金属工業(株)	大阪府豊中市豊南町西4-7-20	561	(06) 332 0251
(株)宮崎商店	大阪市東区平野3-18	541	(06) 231 5891
モリシタ化学産業(株)	// 天王寺区勝山通り1-121	543	(06) 771 3929
(株)山本製作所	// 阿倍野区松崎町2-7-10	545	(06) 623 6155
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	// 此花区西九条3-12-17 みづほビル	554	(06) 468 3521

- 屋上防水工事
- 補修, 改修工事
- シーリング工事
- ライニング工事

責任施工

- 防水及補修全般
結露防止・改修工事
- 赤外線建物診断
- 漏水現場診断・施工設計

日本シーリング工業事団体連合会会員
 全日アスファルト防水事業協同組合会員
 日本樹脂施工協会会員
 サンスター会会員
 リフリート工法普及会会員
 TVS 赤外線建物診断協会会員
 (広島県知事許可般-60第4809)



株式会社サンゼオン

〒733 広島市西区中広町3丁目17-16
 TEL 082-291-1631(代) FAX 082-291-1739

IT'S JUST SEALANT!

Ⓢ JIS A 5758 許可番号576247

フジチオコール

液状ポリサルファイドをベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

Ⓢ JIS A 5758 許可番号381074

ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活かして、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

アクリルエマルジョンをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

アクリルエース

JIS A 5758 耐久性区分 9030該当

メトリック

変成シリコーンポリマーをベースに耐熱性、耐久性は抜群、経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のバネ状にした油性コーキング材です。

エバーシール

Ⓢ JIS A 5751 許可番号368206



昭石化工株式会社

本社 東京都品川区南大井1-7-4 TEL. (03) 761-4291

札幌出張所 011(251)7912 東京営業所 03(761)4271

仙台出張所 022(267)5319 新潟営業所 0252(25)2331

名古屋営業所 052(231)6568

大阪営業所 06(341)6395

広島出張所 082(283)9226

福岡営業所 092(291)0008

あらゆる防水工事・外壁改修 工事は当社にお任せ下さい。

調査診断、改修計画、改修工事、効果測定まで数多くの実績とスタッフがおまちしています。

- ◆日本シーリング工事業団体連合会
- ◆東北シーリング工事業協会
- ◆CCR工法研究会
- ◆TVS建物診断研究会
- ◆ピングラウト協議会

関連会社
株式会社 **ヴィクトル**
建設関係資材販売・リース
TEL 022-284-6681 FAX 022-231-8777
代理店 住友スリーエム株式会社
横浜ゴム株式会社

株式会社 丸本工業所

本社 〒983 仙台市扇町1丁目3-6 TEL 022-284-6662(代)
出張所 〒020-01 盛岡市下太田沢田67-16 TEL 0196-58-1420

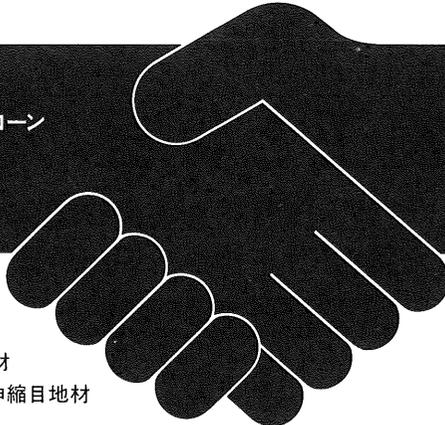
建築防水資材の名コンビ

シーリング材

シリコン1液2液 変成シリコン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル プチル 油性

バックアップ材

角型 丸棒 超硬質 特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材



- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社

本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(626)3371(代)
大阪支店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel.06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982仙台市一本杉町37-18 Tel.0222(98)7334(代)



日本シーリング工事業 団体連合会の歩み

山本 勇

私たちの団体略称は、日シ工連と呼称いたします。組織形態は全国を七地区にわけ、各地区に地区団体を置き、東京本部において総括運営いたしております。目的は全国会員会社の技術、技能のレベルアップを目指す教育事業の推進と、企業力安定のための団結力の醸成にあります。昭和44年4月に、メーカー団体である日本シーリング工業会（略称日シ工）の施工部会より材工体制の確立を目指し、同工業会の協力のもとに施工業者のみの独立団体を結成誕生させたのが始まりであります。爾来、現今に至るまで、各地区団体を指導し、昭和53年12月、東北地区を包括することで全国組織の体制作りを完了したわけであり、現在は、事業目的達成の目標に邁進中で、材工一体の協調精神をもって、日シ工の援助を得て活動しております。シーリング管理士と防水技能士の確保は、業界発展の基となるべきものと信じておりますので、関連業界皆様の理解とご支援を切にお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

（日本シーリング工事業団体連合会会長）

日本シーリング工事業団体連合会

（旧・日本シーリング工事業協会）

本 部 〒105 東京都港区浜松町1-11-11 アルファ産業(株)内
電話 03(432)5735(代)

“責任施工と保証の確立”

シーリング防水施工の発注は優秀な技術管理（シーリング管理士）と国家認定技能（防水技能士）を持つ、下記所属団体会員へ。

北海道地区 北海道シーリング工事業協会	近畿地区 関西シーリング工事業協同組合
住 所 〒064 札幌市中央区北2条東2-1 浜野ビル 電 話 011(251)3364	住 所 〒550 大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル 電 話 06(531)8107
東北地区 東北シーリング工事業協会	中国地区 中国シーリング工事業協会
住 所 〒983 仙台市扇町1-3-6 (株)丸本工業所内 電 話 022(284)6662	住 所 〒733 広島市西区中広町3-17-16 (株)サンゼオン内 電 話 082(291)1631
関東地区 東日本シーリング工事業協同組合	四国地区 四国シーリング工事業協会
住 所 〒135 東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル 電 話 03(641)9561	住 所 〒790 松山市居相町450-4 四国ビルサービス(株)内 電 話 0899(58)1222
中部地区 中部シーリング工事業協同組合	九州地区 九州シーリング工事業協同組合
住 所 〒460 名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4F 電 話 052(201)7086	住 所 〒810 福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号 電 話 092(781)5660・5676

日本シーリング工事業団体連合会

会 員 名 簿

本部・支部所在地

区 分	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
本 部	東京都港区浜松町1-11-11 アルファ産業(株)内	105	(03) 432 5735
北海道シーリング工事業協会	札幌市中央区北2条東2-1	060	(011)251 3364
東北シーリング工事業協会	仙台市扇町1-3-6 (株)丸本工業所内	983	(022)284 6662
東日本シーリング工事業協会	東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル内	135	(03) 641 9561
中部シーリング工事業連合会	名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4 F	460	(052)201 7086
愛知県シーリング工事業協会	名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4 F	460	(052)201 7086
関西シーリング工事業協会	大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル	550	(06) 531 8107
中国シーリング工事業協会	広島市西区中広町3-17-16 (株)サンゼオン内	733	(082)291 1631
四国シーリング工事業協会	松山市居相町450-4 四国ビルサービス(株)内	790	(0899)58 1222
九州シーリング工事業協会	福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号	810	(092)781 5660

1. 北海道シーリング工事業協会々員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
柏 工 建 (株)	旭川市神楽岡6条3丁目	078	(0166)65 0121
(株)片岡コーキング	札幌市西区西野9条5-863-11	063	(011)664 1488
(株)カトウシーリング工業	〃 北区屯田4条8-1-5	001	(011)772 3377
(株)北日本コーキング	苫小牧市しらかば町2-4-5	053	(0144)73 4697
(株)協栄シール	〃 緑町1-24-8	053	(0144)33 6256
熊 谷 興 業 (株)	札幌市北区篠路9条3-5-6	002	(011)771 9381
(株)光建シール	〃 南区川沿1条2-4-7	005	(011)572 0820
(株)互建防水工業	帯広市西10条南11丁目2	080	(0155)25 5776
(有)札幌コーキング	札幌市豊平区月寒東2条20丁目	061-01	(011)851 3782
サッポロ防水工業(株)	〃 北区北14条西1丁目 磯田ビル	001	(011)736 7486
佐 藤 研 究 所	函館市時任町22-13	040	(0138)51 3586
サ ン 美 工 (有)	旭川市北門町20丁目	070	(0166)52 3309
(株)スズケン興業	〃 東光5条6-188	078-11	(0166)31 8902
(有)セントラル・ビル・サービス	釧路市材木町14-28	085	(0154)41 1010
第一コーキング工業	札幌市白石区菊水1条2丁目	003	(011)812 9121
第一ブロック建設(株)	北見市南町1-8-33	090	(0157)23 4155
(有)タケイチ工業	札幌市北区新川593-63	001	(011)764 2884
(株)中央コーキング	〃 豊平区西岡1条10-334	062	(011)854 0222
(有)トーケン工業	砂川市宮川町1-6	073-01	(01255)4 2843
東 邦 興 業 (株)	札幌市北区篠路7条6-5-27	002	(011)772 3272
道北シール工業(株)	旭川市豊岡8条2-11	078-11	(0166)34 2845
中 田 工 業 (株)	室蘭市東町2-1-16	050	(0143)43 2220
中 林 防 水 工 業 (株)	帯広市西17条北1-14	080	(0155)35 5511
(株)日 研	札幌市豊平区平岸1条2丁目	062	(011)841 6101
函館イーシー工業(株)	函館市花園町41-17	041	(0138)54 0421
(株)浜 建	札幌市中央区北3条東5-5	060	(011)261 5676
藤シーリング工業(株)	函館市美原3-40-16	041	(0138)46 2223
フタバ工業(株)	札幌市中央区北2条東10-15 すずかけビル	060	(011)231 0046
北星シール工業(株)	〃 白石区本通り6丁目北28	003	(011)863 5226

(有) 北斗美装工業	砂川市西3条北2丁目	073-01	(01255)2 2918
(有) 北洋コーキング	札幌市白石区中央2条4丁目 勝見コーポ112	003	(011)821 7947
(有) 北海コーキング	// 中央区北1条東9丁目	060	(011)281 2885
(有) 北海シール工業	// 東区北7条東3丁目	065	(011)742 1248
(有) 北海道コーキング	// 北区太平9条2-53-89	002	(011)771 3191
(有) 北海道サン工業	// 中央区北2条東9丁目	060	(011)251 3648
(有) 北海道タイホー	// 東区北20条東2-15-41	065	(011)731 6351
(有) 北海防水	旭川市末広町3条7丁目	071-13	(0166)57 2163
(有) 北眺防水工業	札幌市豊平区北野7条4-1-13	061-01	(011)882 5987
(有) 山川工業	函館市榎本町14-1	042	(0138)57 1870
(有) ヤマト工業	札幌市豊平区美園1条6丁目	062	(011)812 6347

2. 東北シーリング工事業協会々員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(有) 旭シーリング	宮城県志田郡鹿島台広長字内の浦21-12	989-41	(0229)56 4305
(有) 旭日産業	// 宮城郡宮城町下愛子字原4-1	989	(022)392 6122
青葉エービーシー建販(有)	仙台市大町2-15-24	980	(022)265 3051
大島金属商事(有)	// 名掛丁8番地	980	(022)291 2288
(有) 進建シーリング工業	// 若林1-10-23	982	(022)286 1423
(有) 仙台高分子工業	// 青山2-27-9	982	(022)229 5102
中外商工(有)東北支店	// 台原4-7-20	980	(022)271 2171
トップ工業(有)	// 新寺3-4-31	980	(022)257 5023
(有) 久光商会	// 八木山本町2-32-18	982	(022)229 6560
(有) 丸伊工業所	泉市南光台南2-11-10	983	(022)252 1971
(有) 丸本工業所	仙台市扇町1-3-6	983	(022)284 6662
我妻工業所	// 鈎取3-4-13	982	(022)244 5544
(有) 旭防水工業	名取市増田3-2-20	981-12	(022)382 2814
東北化研工業(有)	仙台市中倉3-18-16	982	(022)236 1802
イトウ防水工業(有)	米沢市城南3-3-10	992	(0238)23 8321
奥羽シーリング工業	山形市大字沼木121-64	990	(0236)44 0632
(有) 秋田コーキングセンター	秋田市四ッ小屋船場前50-53	010	(0188)39 1297
(有) 環清工業	秋田県湯沢市字砂田95-1	012	(01837)2 0038
東北化工(有)	// 鹿角郡小坂町上谷地47-18	017	(018629) 2349
(有) 三国工業	秋田市土崎港相染町中谷地36-6	011	(0188)45 7576
(有) 井村工業	青森市大矢沢字里見502	030	(0177)38 5042
(有) 池田防水工業	八戸市新湊1-15-4	031	(0178)31 3246
(有) 興伸総業	青森市三内字里見86-13	030	(0177)82 5800
(有) シーリングタナカ	三沢市大字三沢字下沢20-24	033	(0176)57 1643
(有) 泉クリーナー	盛岡市神子田9-26	020	(0196)51 4726
小山商店	// 上堂1-19-9	020-01	(0196)46 9162
(有) 氏家樹脂防水工業	福島県伊達郡桑折町大字南半田字鍛冶屋沢16	969-16	(0245)82 5056
(有) 郡山医療器製作所	郡山市大町2-16-17	963	(0249)32 1858
(有) 郡山シーリング	// 富久山町久保田字前田40-2	963	(0249)33 4212
(有) 光信工業	いわき市下荒川字剝町32-43	970	(0246)28 1200
紺野工業	// 泉町滝尻字泉町58	970-04	(0246)56 0379
(有) 渡辺防水	郡山市富田町字下堰1-11	963	(0249)52 0553
(有) タダキシール工業	福島市吉倉字谷地48-1	960	(0245)46 5222
(有) 福島防水	郡山市鳴神1-39	963	(0249)51 5612

3. 東日本シーリング工事業協同組合員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
アルファ産業(株)	東京都港区浜松町1-11-11	105	(03) 432 5735
(有)石黒建材社	〃 杉並区阿佐谷北5-12-2	166	(03) 338 0905
(株)石田シール工業	新潟市下場新町20-12	950	(0252)76 5991
伊藤建材(株)	東京都台東区西浅草2-15-9	111	(03) 842 1431
井上建築(株)	〃 北区豊島2-20-13	114	(03) 919 9420
内倉工業(株)	〃 練馬区上石神井4-9-6	177	(03) 928 0386
木元工業(株)	埼玉県志木市下宗岡4-31-6	353	(0484)73 8851
協和シーリング工事(株)	栃木県宇都宮市若草町字宮の関2647-22	320	(0286)24 7072
(株)栗崎工業	東京都葛飾区西亀有2-56-6	124	(03) 620 4901
クニ化学防水(株)	〃 中野区中央1-51-6 クニ防水ビル	164	(03) 362 9321
グローリー防水工業(株)	〃 江戸川区春江町2-34-1	132	(03) 678 4512
京葉シール(株)	〃 墨田区緑4-13-8	130	(03) 631 0106
光栄工業(株)	〃 練馬区上石神井1-20-5	177	(03) 928 2271
(株)工業技術研究所	〃 文京区本郷2-12-6	113	(03) 815 4421
興進工業(株)	〃 新宿区西新宿8-14-19 小林第2ビル	160	(03) 363 8741
山栄興業(株)	〃 渋谷区恵比寿1-13-10 恵比寿壱番館301	150	(03) 443 3321
三協防水(株)	〃 千代田区内神田3-4-9 上田ビル3 F	101	(03) 251 6476
三和工業(株)	千葉県市川市相ノ川1-20-20	272-01	(0473)57 5153
(株)ジックス	東京都渋谷区代々木1-30-1 代々木パークビル	151	(03) 370 0121
(株)シーラント	〃 豊島区東池袋3-5-7 ユニオンビル203号	170	(03) 981 7266
(有)新堂	〃 杉並区荻窪5-1-14 秋山ビル201	167	(03) 392 8621
清起工業(株)	〃 昭島市玉川町5-15-17	196	(0425)46 5311
タイガー工業(株)	〃 品川区戸越5-17-13	142	(03) 783 0151
大栄建材(株)	〃 板橋区板橋3-30-5	173	(03) 964 1901
(株)大栄興業	〃 練馬区大泉学園町7-19-43	177	(03) 925 3106
(有)泰成工業	長野市青木島町大塚1053-3	381-22	(0262)86 4290
大和興業(株)	東京都大田区池上7-30-5	146	(03) 758 0342
高萩興業(株)	〃 江戸川区西小岩5-4-11	133	(03) 650 5261
田代工業(株)	〃 練馬区大泉学園町5-17-23	177	(03) 925 0711
中央建材工業(株)	〃 中央区銀座7-14-3 安田松慶ビル	104	(03) 543 8106
東邦シール(株)	〃 文京区春日2-1-5	112	(03) 815 3047
東邦防水総業(株)	〃 中央区八重洲1-5-8 鳥居ビル	103	(03) 271 0176
(株)東邦レジナ	〃 練馬区中村北2-20-10	176	(03) 926 0007
(株)トミヨシ商会	〃 大田区南馬込5-33-7	143	(03) 775 2203
日本ビソー(株)外装工事部	〃 杉並区方南2-4-6	168	(03) 313 1281
日本防水工業(株)	〃 練馬区富士見台4-43-5	177	(03) 998 8721
パシフィック開発建工(株)	〃 港区新橋5-14-2 鈴工ビル2 F	105	(03) 437 0720
平沢コーキング工業(株)	新潟県長岡市前島町237	940-11	(0258)23 1529
ビルコン(株)	東京都文京区千駄木3-42-5	113	(03) 823 6061
北斗工業(株)	埼玉県上福岡市大字駒林680	356	(0492)61 2398
細田工業(株)	東京都港区芝大門2-1-8	105	(03) 432 8731
(株)マコト	〃 台東区台東1-6-3 東神ビル	110	(03) 834 6696
マサル工業(株)	〃 江東区佐賀1-9-14	135	(03) 643 5911
(株)マツダパライオータ	〃 杉並区高円寺北3-31-15	166	(03) 330 9312
三矢興産(株)	〃 品川区戸越3-11-6	142	(03) 787 0360
(株)山形防水	〃 渋谷区幡ヶ谷2-20-12	151	(03) 377 3481
理建工業(株)	〃 墨田区太平4-22-4	130	(03) 622 4081
瀝青建材(株)	〃 千代田区神田佐久間町2-4	101	(03) 861 2706
(有)レミントン工業	埼玉県大宮市大和田町1-1500-2	330	(0486)83 0161
(株)アートシーリング	東京都渋谷区東2-27-4	150	(03) 406 7535
池田防水工業(株)	〃 江戸川区西葛西6-22-18 伊勢崎ビル2 F	134	(03) 655 6770

吉田建設工業(株)	〃 港区六本木6-9-12	106	(03) 403 0851
(有) トミタ	〃 東久留米市下里7-7-4	203	(0424) 73 9237

4. 中部シーリング工事業連合会々員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(有) あいさんブルーフ	津島市申塚町1-89	496	(0567) 24 2004
愛知トヨタ興業(株)	名古屋市昭和区高辻6-8	466	(052) 871 1651
朝日建物(株)	金沢市泉が丘2-9-3	921	(0762) 42 1281
(有) 朝日コーキング	名古屋市西区八筋町347	452	(052) 502 8935
(有) 石原コーキング興業	小松市村松町19	923	(0761) 43 2201
石動コーキング(株)	富山市柳町4-1-9	930	(0764) 33 8966
石渡産業(株)	沼津市神田町6-3	410	(0559) 21 6061
(有) 大久保コーキング	春日井市如意申町字丸山878-1	486	(0568) 31 8775
大村商事(株)	静岡県榛原郡吉田町神戸3852-1	421-03	(05483) 2 2486
加賀防水工業(株)	金沢市増泉4-10-22	921	(0762) 42 1494
掛川シーリング工業	掛川市垂木2002-6	436-02	(05372) 4 0283
(有) 加藤防水工業	名古屋市名東区延珠町802	465	(052) 771 6691
北川防水工業所	〃 中区新栄2-48-11	460	(052) 241 7628
(株) 栗原	金沢市増泉3-7-1	921	(0762) 42 5101
(株) 三栄	名古屋市北区志賀本通2-24	462	(052) 981 2134
(有) 三栄コーキング	一宮市松降1-3-11	491	(0586) 24 1840
サン・シーリング工業(株)	富山市飯野134	930	(0764) 51 1511
三信建材工業(株)	豊橋市鴨田町52-1	440	(0532) 45 8211
(株) 志水化工	名古屋市西区稲生町3-37-1	451	(052) 531 5295
(株) 静岡コーキング工業	静岡市西島473-1	422	(0542) 81 1618
清水シール工業	清水市梅ヶ谷208-14	424	(0543) 47 3811
(株) シリコンエンジニア	名古屋市名東区上社3-102	465	(052) 703 6181
(有) シンコー工業	清水市北脇新田328-1	424	(0543) 46 7859
(有) 新静シーリング	静岡市敷地2-18-18	422	(0542) 37 2086
(有) 第一防水	名古屋市千種区中村中町3-45	453	(052) 482 1654
大栄工業(株)	焼津市石脇上133-2	425	(05462) 7 9400
大信工業(株)	愛知県海部郡甚目寺町山の浦65	490-11	(052) 442 5775
(株) 高坂工業	名古屋市千種区五反城町4-31	453	(052) 412 0857
隆志建工(株)	愛知県西春日井郡師勝町大字六ッ師500	481	(0568) 21 0794
タナカ工業(株)	伊勢市上地町2677-1	516	(0596) 23 3113
中央建材工業(株)	名古屋市千種区高見1-6-1	464	(052) 761 6181
長陽装業(有)	長野県下伊那郡上郷町飯沼349-1	395	(0265) 24 0378
津田硝子(株)	名古屋市天白区一ツ山1-2	468	(052) 801 1195
(有) ツカコ商行	浜松市白羽町2676	430	(0534) 41 2273
(株) 東海建材工業	静岡県浜名郡可美村増楽1481	432	(0534) 48 8711
(株) 東海工事	豊橋市岩屋町字岩屋下33-13	440	(0532) 62 7614
東海物産(株)	名古屋市千種区若水3-20-23	464	(052) 721 2211
名古屋ゼネラルボンド(株)	〃 千種区新西2-3-6	464	(052) 774 6621
名古屋日本化成(株)	〃 千種区本山町3-9	464	(052) 762 1596
(有) 中村コーキング工業	静岡県掛川市家代49-1	436-02	(05372) 3 1184
中村コーキング店	名古屋市昭和区車田町2-8	466	(052) 731 5059
(株) ナカムラシール	浜松市市野町933-1	433	(0534) 33 2434
(有) 名西商会	愛知県西春日井郡清洲町新清洲6-5-1	452	(052) 409 4629
(有) 西村工研	静岡市広野2-5-32	421-01	(0542) 58 7537
日満防水工業(株)	犬山市字角池57-3	484	(0568) 67 1810
日精工業(株)	金沢市新保本1-465	921	(0762) 40 1101
(株) 日本ビルサービス	富山県砺波市三郎丸313	939-13	(07633) 3 1202
(株) ノダキ	名古屋市西区名駅3-10-26	450-91	(052) 561 4371

(有) 浜松シーリング工業	浜松市長鶴町177-1	435	(0534)64 3839
(株) ビルメン	名古屋市西区琵琶里町1-22	451	(052)524 6141
不二化成(株)	清水市島坂327	424	(0543)45 7281
フジ工業(株)	名古屋市北区石園町3-21	462	(052)991 4741
不二興業(株)	金沢市法光寺町24	920-01	(0762)58 4755
北陸ビル防設(株)	富山市布瀬町1区3-6	930-11	(0764)21 6924
堀越コーキング(株)	富山県射水郡下村加茂3686	933-02	(0766)59 2308
(株) 前田コーキング	高岡市細池533	933	(0766)21 4034
丸協	富山市平吹町4-21	930	(0764)23 3754
ムツミ工業	金沢市八日市出町465	921	(0762)40 3131
ムラセ工業(株)	名古屋市守山区小幡3-2-14	463	(052)791 4465
(株) 名岐	岐阜市藪田3-63	500	(0582)73 2761
森建材商行	名古屋市西区松西町2-87	451	(052)562 1668
山新工業	土岐市旭ヶ丘47-34	509-54	(05725)9 4505
(有) 和興建材工業	浜松市向宿町212	430	(0534)65 1328

5. 関西シーリング工業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
エメール工業(株)	大阪市住吉区我孫子西2-8-28	558	(06) 695 0751
大阪アルファ産業(株)	// 淀川区西中島4-1-11 チサン第5ビル	532	(06) 301 5235
大阪工業(株)	// 西区南堀江3-13-11	550	(06) 531 4814
(株) 大阪シール	// 北区天満4-11-16	530	(06) 352 2895
(株) 大阪防水工業所	守口市梶町1-124-7	570	(06) 903 0016
大阪ユニロン(株)	大阪市福島区玉川2-11-21	553	(06) 448 2341
(株) 勝友商会	神戸市東灘区青木5-18-23	658	(078)411 4418
関西シーリング工業(株)	大阪府南河内郡太子町山田632	583	(0721)98 0239
(株) 関西住建	京都市伏見区石田大受町31-266	601-13	(075)571 0246
(株) 京都シール	// 山科区音羽八ノ坪町34-15	607	(075)501 1100
共立産業(株)	大阪市東区本町5-4 広和ビル	541	(06) 262 5845
(有) 高分子工材	高松市浜の町18-27	760	(0878)21 3010
神戸建設(株)	伊丹市荒牧字桑田60	664	(0727)81 5189
三幸物産(株)	大阪市住吉区万代3-5-9	558	(06) 671 2498
三大工業(株)	// 西区京町堀3-3-30 第2同盟ビル405号	550	(06) 443 2728
山陽シール工業(株)	姫路市八代宮前町18-15	670	(0792)97 0658
昌栄亀井(株)	尼崎市武庫之荘3-17-11	661	(06) 431 8429
新和化工(株)	豊中市南桜塚1-3-40	560	(06) 843 0356
セキシユウ技研(株)	大阪市東淀川区菅原2-11-35	533	(06) 326 1088
(株) 大一防水工業	大東市寺川2-1-1	574	(0720)71 8951
(株) 大協建材	大阪市浪速区元町1-13-7 第3カネイチビル	556	(06) 649 4105
大信防水工業(株)	神戸市長田区西丸山町3-3-16	653	(078)642 3760
高橋シーリング	大阪市旭区新森3-17-19	535	(06) 951 9585
(株) 東光商会	神戸市東灘区岡本4-4-6	658	(078)453 2211
(株) 東洋防水	大阪市阿倍野区文の里2-3-15	545	(06) 621 3741
徳島大三工業(株)	徳島市北矢三町1-2-61	770	(0886)31 4161
(株) 特殊技研	大阪市北区末広町3-21 星和地所扇町ビル	530	(06) 315 0701
トシダ工業(株)	高槻市芝生町1-14-1	569	(0726)77 1536
(株) 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6-1-1	652	(078)511 4501
(株) 中村商店	摂津市島飼下3-3-7	567	(0726)54 4538
日建瀝青工業(株)	神戸市兵庫区水木通8-2-7	652	(078)576 0851
日添工業(株)	大阪市北区天満4-3-9	556	(06) 357 8088
日本化成工業(株)	吹田市南金田1-4-46	564	(06) 385 3886
白洋建材(株)	大阪市都島区都島本通2-15-1	534	(06) 924 2536
富士化成工業(株)	// 城東区野江2-2-19	536	(06) 939 7149

(有) 豊栄シール	堺市奥本町1-74	591	(0722)55 0338
(株) 美作	守口市八雲西町4-69	570	(06) 991 0500
八尾コーキング	八尾市久宝寺5-4-31	581	(0729)92 3846
山下防水建設(株)	大阪市南区道頓堀2-3-24	542	(06) 211 0553
ユニオン商事	// 西区靱本町3-1-6	550	(06) 445 0735
(有) 吉川美装商事	滋賀県大津市中央3-2-2	520	(0775)24 8289

6. 中国シーリング工事業協会々員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイシン工業(株)	広島市西区楠木町3-6-9	733	(082)238 3883
青盛建材(株)	// 中区舟入幸町19-10	730	(082)292 3200
鳥城防水工業(有)	岡山市倉富494-34	703	(0862)77 0364
(株) 占部防水工業	福山市御船町1-11-7	720	(0849)21 1458
(有) 小野甚商店	岡山市丸の内1-13-13	700	(0862)25 4868
(有) 山陰シール工業	米子市両三柳165-4	683	(0859)32 2287
(株) サンゼオン	広島市西区中広町3-17-16	733	(082)291 1631
(株) 三洋技研 広島営業所	// 西区庚午南1-3-30	733	(082)271 9317
三和防水工業(株)	// 南区東雲本町2-4-21	734	(082)283 3366
(有) 昭和化学防水工業	岡山市下伊福1-3-24	700	(0862)53 4093
シーリング工業(株)	広島市西区横川町1-11-15	733	(082)294 6637
(有) スミ防工業	岡山市伊島町2-3-18	703	(0862)52 9311
第一化工(株)	広島市西区南観音町1-5-40	733	(082)293 3828
大和防水(株)	岡山市矢坂西町7-36	700	(0862)52 2642
高橋工業(株)	福山市野上町1-11-8	720	(0849)21 2570
千葉工業(株)	広島市西区山田新町2-11-27	733	(082)272 7600
中国特殊防水産業(有)	// 西区中広町3-11-9	733	(082)231 9958
中国富士化工建設(株)	// 東区矢賀町1-527-12	730	(082)284 3117
(株) ツキタニ工業	広島県安芸郡府中町本町1-11-3	735	(082)282 7019
日化工材(株)	岡山市表町2-6-21	700	(0862)25 2021
ニッテイ(株)	新南陽市大字富田4530	746	(0834)63 2532
日本シール工業(株)	広島市西区楠木町4-15-39	733	(082)238 7447
(株) はまはら	尾道市新浜1-3-4	722	(0848)23 2760
(有) 肥田工業	広島市東区戸坂新町2-3-5	732	(082)229 3411
広島アルファ産業(株)	// 西区中広町2-25-14	733	(082)293 6557
(株) 広島防水工業	// 西区東観音町12-14	733	(082)294 3238
(有) フヂ防工業	// 佐伯区海老園2-11-17	731-51	(0829)22 9757
フジミ工業(株)	広島県安芸郡府中町大須3-7-14	735	(082)282 2201
豊永建材(株)	広島市東区光町2-14-34	732	(082)264 1223
防長建材(株)	徳山市野上町2-15	745	(0834)21 0003
マルエ商工	防府市大字牟礼岸津4314-4	747	(0835)23 5123
(株) マルエス工業	広島市中区宝町8-26	730	(082)243 7474
丸福建材工業(株)	// 中区舟入町7-9	733	(082)232 6155
(株) 森本組	// 西区中広町3-22-12	733	(082)291 2629
(株) ヤマザキ技販	福山市横尾1-88	720	(0849)55 5353
(有) 吉田シーリング工業	徳山市楠木1-11-17	745	(0834)28 5788

7. 四国シーリング工事業協会々員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
朝日産業(株)	高知市南の丸町2-1	780	(0888)33 2100
(株) 香川シール工業所	香川県丸亀市垂水町3224-19	763	(0877)28 8651
岸防水工業(有)	// 塩屋崎町2-10-35	780	(0888)32 7731
(有) 高知防水センター	// 神田吉野1829	780	(0888)31 7324

(有) 齊藤防水工業	徳島市吉野本町6-9	770	(0886)22 2931
四国ビルサービス(株)	松山市居相町450-4	790	(0899)58 1222
大三工業(株)高知支店	高知市一宮2635	780	(0888)45 4800

8. 九州シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(有)岡村シーリング工事	福岡市南区清水2-15-30	815	(092)553 1881
九州特殊工事(株)	〃 博多区千代4-5-1	812	(092)611 0426
草野工業(株)	北九州市小倉北区霧ヶ丘1-5-11	802	(093)922 7631
(有)クロキ工業	鹿児島市下福元町6567-23	891-01	(0992)61 5361
(株)佐藤防水	〃 鴨池1-13-3	890	(0992)54 2704
三賀産業(株)	福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル	812	(092)471 1355
嶋田工業	北九州市小倉南区大字徳吉108-4	803-02	(093)452 0220
昭和日本化成(株)	福岡市早良区原4-8-11	814-01	(092)843 3311
(有)神栄工業	長崎市三川町800-40	852	(0958)46 0775
シンコー化成興業(株)	福岡市城南区別府6-3-6	814	(092)821 1546
(株)新日本樹脂化工	〃 博多区金隈303-3	816	(092)503 5070
須川防水工業	春日市一の谷3-149-2	816	(092)501 6101
大栄(株)	北九州市小倉北区西港町61-13	803	(093)571 4581
(有)ダイシン産業	福岡市城南区別府2-15-41	814	(092)851 8722
(有)高千穂建材	鹿児島県名瀬市佐大熊町24-4	894	(0997)53 8658
テイバ化工九州販売(株)	福岡市南区長丘5-11-20	815	(092)561 1675
(有)成建	熊本市健軍町2622-20	862	(096)367 3631
(有)日本シーラント工業	福岡市中央区渡辺通り2-8-3	810	(092)741 5050
(有)野田工業所	福岡県大野城市仲畑1-260	816	(092)572 3859
博栄工業(株)	長崎市川平町1389-2	852	(0958)49 2232
B J 工事(株)	那覇市前島町2-14-11 松ビル	900	(0988)63 2164
福岡アルファ産業(株)	福岡市博多区博多駅前3-9-5 チサン博多ビル316号	812	(092)451 1073
南日本化成(株)	鹿児島市中山町2037-5	891-01	(0992)67 6121
宮本産業(株)	福岡市早良区賀茂1-7-12	814-01	(092)862 3331
(株)ムトウ	〃 早良区昭代3-2-5	814	(092)851 0111

建設大臣許可(60-般)第9885号(更新)

総合防水

武山工業株式会社

本社 山梨県甲府市幸町26-12 出張所 福島県白河市巡り矢3-34
 電話 0552-35-3551(代) 電話 0248-22-5139
 F A X 0552-35-3559 F A X 0248-22-5139

超高層ビルでの実績と信用

シーリング工事 責任施工

日本化成工業株式会社

許可番号 大阪府知事許可(般-59) 第34549号
吹田市南金田1-4-46
〒564 電話 06(385)3886(代)
FAX06(385)3055

昭和日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-56) 第12100号
福岡市早良区原4-59-8-11
〒814 電話 092(843)3311(代)
FAX092(843)3314

名古屋日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-59) 第31454号
愛知県尾張旭市桜丘町北184
〒488 電話 05615(2)0315
FAX05615(2)0316

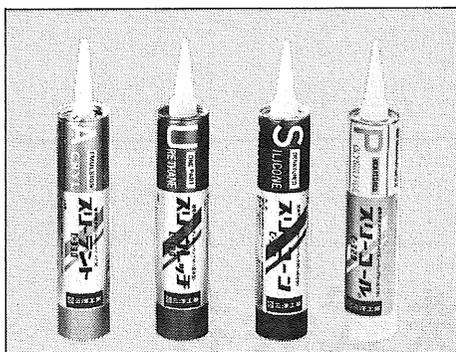
南日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-61) 第4182号
鹿児島市中山町2037-5
〒891-01 電話 0992(67)6121(代)
FAX0992(67)6125

「守りはかたく」

プロのニーズに応える

三洋の建築用シーリング材。



- スリーウレッチ(ポリウレタン系シーリング材)
- スリーラント(アクリル系シーリング材)
- スリーコーン(変成シリコーン)
- スリーコール(ポリサルファイド系シーリング材)



シーリング材の専門メーカー

三洋工業

本社・東京都江東区亀戸6-20-7 TEL.685-3452

関 連 会 社、団 体 一 覧 表

1) バックアップ材メーカー

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
旭 化 成 工 業 (株)	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
化 研 マ テ リ ア ル (株)	〃 江東区新木場1-17-6 東邦港運内	136	(03) 521 7439
光 栄 加 工 (株)	〃 練馬区上石神井南町18-11	177	(03) 920 2671
(株) 新 和 商 会	〃 荒川区西日暮里2-24-14	116	(03) 803 1411
積 水 化 学 工 業 (株)	大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル	530	(06) 365 2111
大 進 商 工 (株)	東京都北区東十条3-13-9	114	(03) 912 8447
日 本 バ ッ ク ア ッ プ 工 業 (株)	〃 中野区中央1-12-9	164	(03) 369 0215
野 口 興 産 (株)	〃 練馬区豊玉北2-10	176	(03) 994 5601
日 立 化 成 工 業 (株)	〃 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル	163	(03) 346 3111
フ ヨ ー (株)	〃 墨田区業平5-5-6	130	(03) 626 3371

2) 施工用具メーカー

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
大 竹 工 業 (株)	東京都中央区新富1-7-4 阪和ビル	104	(03) 553 7501
(株) 菅 野 製 作 所	〃 北区志茂3-3-26	115	(03) 903 3140
巴 工 業 (株)	〃 中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル	103	(03) 271 4093
日 本 ソ セ ー 工 業 (株)	名古屋市南区南野1-39	457	(052) 612 7321
ミ キ ス タ 工 業 (株)	東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7	103	(03) 669 9471
(株) 山 本 製 作 所	大阪市阿倍野区松崎町2-7-10	545	(06) 623 5170

3) 建材関連団体

団 体 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
板 硝 子 協 会	東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル	100	(03) 212 8631
A L C 協 会	〃 港区元赤坂1-1-15 ニュートヨビル	107	(03) 403 7767
(財) 化 学 品 検 査 協 会	大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-6-5	543	(06) 771 5157
(財) 建 材 試 験 セ ン タ ー	東京都中央区日本橋小舟町1-3 太田ビル	103	(03) 664 9211
建 築 ガ ス ケ ッ ト 協 会	〃 港区西新橋2-2-10 三喜ビル	105	(03) 501 2906
コンクリートカーテンウォール工業会	〃 中央区京橋1-9-4 京和ビル	104	(03) 264 3708
全国板硝子商工協同組合連合会	〃 千代田区神田神保町3-4 総合板硝子会館	101	(03) 262 6737
(株) 日 本 カ ー テ ン ウ ォ ー ル 工 業 会	〃 港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
(株) 日 本 建 設 材 料 協 会	〃 中央区銀座2-6-4 プレイガイドビル	104	(03) 567 2996
日 本 建 築 仕 上 材 工 業 会	〃 千代田区神田和泉町1-6 インターナショナルビル	101	(03) 861 3996
(財) 日 本 建 築 セ ン タ ー	〃 中央区晴海1-14-16	104	(03) 531 6351
(財) 日 本 建 築 総 合 試 験 所	大阪府吹田市藤白台5-8-1	565	(06) 872 0391
(株) 日 本 サ ッ シ 協 会	東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 1308
日 本 接 着 剤 工 業 会	〃 千代田区内神田1-15-10 福島ビル	101	(03) 291 3303
(株) プ レ ハ ブ 建 築 協 会	〃 港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル	105	(03) 431 1481

4) 防水団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
全国防水工事業団体連合会	東京都中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 369 7351
九州アスファルト工事業協同組合	福岡市中央区舞鶴2-8-2 村上ビル	810	(092) 713 5263
合成高分子ルーフィング工業会	東京都中央区新川1-3-2 新東京ビル	104	(03) 552 8479
ゴムアスファルト防水工事業協同組合	〃 品川区南大井1-7-4	140	(03) 761 4378
シート防水工事業団体連合会	〃 中央区日本橋人形町3-6-2 細田ビル 2 F	103	(03) 661 5787
西部アスファルト工事業協同組合	大阪市西区江戸堀1-20-11 辻川ビル	550	(06) 445 1138
全国アスファルト工事業協同組合連合会	東京都中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
全国塗膜防水工事業団体連合会	〃 中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 363 9718
全日本プレハブ建築防水協会	〃 品川区南大井1-17-20 勝島パークハイツ	140	(03) 768 8495
東部アスファルト工事業協同組合	〃 中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
(株)日本アスファルト同業会	〃 中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 2208
日本ウレタン建材工業会	〃 港区新橋6-13-3 島田ビル	105	(03) 438 0988
日本塗布防水工事業協同組合	〃 中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 367 1611
(株)日本薬液注入協会	〃 文京区後楽1-2-7 全通会館	112	(03) 816 2681
東日本建設防水協同組合	〃 新宿区歌舞伎町2-1-2	160	(03) 200 3584

シーリング防水／PCプレハブ住宅防水／屋上防水／外壁化粧防水／各種樹脂注入工事／商業ビル・集合住宅
外装改修工事と総合診断

新築工事、改修・補修工事の防水施工に28年の実績を持つ、技術のマサル工業が責任を持ってお手伝い致します。

- ・ **新築工事** —— お客様のニーズに合ったシーリング防水の納まり・目地設計・材料選定を致します。優れた品質管理下で、良心的な施工を致します。
- ・ **補修・改修工事** —— 実績のある技術陣の調査によって、適切な診断を致します。適切な施工方法で、外装全体のシーリング防水・外壁化粧防水・面防水施工をし、建物を老朽化から守ります。

加入団体

日本シーリング工事業団体連合会	ゴムアスファルト防水工事業協同組合
東日本シーリング工事業協同組合	日本アスファルト防水工業協同組合
全日本プレハブ建築防水協会	外壁補修工事業協同組合
東日本ロンブルー防水事業協同組合	全国アロンコート・アロンオール
フジクラプラスウォール会	防水工事業協同組合

豊富な実績で新しい防水技術に挑戦する

マサル工業株式会社

〒135 東京都江東区佐賀1-9-14 ☎03(643)5911(代)





ダブミ・フェーズⅢビル
(クアラルンプール・マレーシア)

シーリング工事

ビル用改装サッシ工事
店舗の企画・設計・施工

Rのマークは、

理建工業

のマークです。

建設大臣許可番号(般-60)第9923号
一級建築士事務所 (知事登録第20035号)

理建工業株式会社

本社 東京都墨田区太平4丁目22番4号
☎03(622)4081(代表) FAX03(622)4779
横浜営業所 横浜市西区岡野1丁目15番7号
(店装部) ☎045(313)1371(代表)

大好評!! 3成分形 (カラー) マスター方式

ファイシテ-No.500

変成シリコン系シーリング材

- 混練状態が一目でわかり、混練不良がなくなります。
- 在庫調整・在庫管理の手間が大幅に軽減。

JIS A5758 9030合格品

- 標準色(グレー、ダークブラウン、ホワイト、ブラック)のほか、各色注文に応じます。
- 容量・荷姿：4ℓセット×2/カートン (段ボール箱入り)

優れた品質，優れた施工性，豊富な経験と実績！

ポリウレタン系シーリング材(3.5ℓ 7ℓ簡便型1点セット)

ファイシテ-No.200

JIS A 5758 8020 合格品

ポリサルファイド系シーリング材(4ℓセット)

ファイシテ-No.300

JIS A 5758 9030 合格品

販売代理店(50音順)

潮物産(株)	011(261)8271
化研マテリアル(株)	03(436)3011
光栄商事(株)	03(928)5811
野口興産(株)	03(994)5601
フヨ一(株)	03(626)3371



日本添加剤工業株式会社

営業部 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(965)5731(代)
大阪支店 〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル) 電話 06(443)6231(代)
名古屋支店 〒453 名古屋市中村区大崗通2-40(フタバビル) 電話 052(451)8632(代)
本社・工場 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(960)8621(代)

「シーリング技術管理士」に関する規約

(昭和57年7月28日改訂)

第1条 (目的)

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり、水密、気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ、設計・施工を通じた技術の向上に併せて、業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第2条 (職務)

シーリング技術管理士（以下技術管理士という）は、シーリング工事に関して、防水設計、シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し、技術指導を行なう。

第3条 (技術管理士の認定)

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第2条に基づき、講習ならびに検定試験を毎年1回実施し、これを受講し試験に合格した者を工業会は技術管理士として認定する。

第4条 (受験資格)

受験資格者は工業会々員会社に所属する者、および会員会社が推薦し理事会が承認した者とする。ただし施工会社に所属する者は除く。

技術管理士の受験資格は次の通りとする。

イ. 年齢22歳以上の者

ロ. 実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であって卒業証明書またはその写を提出した者、ただし中学卒業者はその限りではない

学 歴	経 験 年 数	
大 学 卒 業	普 通	2 年
	専 門	1 年
高 専 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
短 大 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
高 校 卒 業	普 通	5 年
	専 門	3 年
中 学 卒 業	普 通	7 年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

第5条 (資格の更改)

技術管理士は4年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間1年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し、次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング技術管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は、その資格は取消される。

第 6 条 （証明書の返却）

技術管理士が所属する会社を退職する場合は、速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条 （証明書の再交付申請）

第 6 条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は、改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条 （証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合、工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条 （資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は技術管理士の資格を取消することができる。

1. 第 2 条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他技術管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条 （その他の事項）

前各条の他、運営上必要な細部事項については別に定める。

「シーリング管理士」に関する規約

（昭和57年 7 月28日改訂）

第 1 条 （目 的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり、水密、気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ、設計・施工を通じた技術の向上に併せて、業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条 （職 務）

シーリング管理士（以下管理士という）は、現場施工能力を有し、かつ防水設計、シーリング材の性能・品質・施工方法について十分な知識を活用し、シーリング工事について施工及び技術指導を行なう。

第 3 条 （管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第 2 条に基づき、講習ならびに検定試験を毎年 1 回実施し、これを受講し試験に合格した者を工業会は管理士として認定する。

第 4 条 （受験資格）

受験資格者は日本シーリング工事業団体連合会（以下日シ工連という）会員会社に所属し、人格識見を有する者で、所属する会社代表者の推薦を必要とする。

管理士の受験資格条件は次の通りとする。

- イ. 年齢22歳以上の者

ロ、実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であって卒業証明書またはその写を提出した者、ただし中学卒業者はその限りではない

学 歴		経 験 年 数
大 学 卒 業	普 通	2 年
	専 門	1 年
高 専 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
短 大 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
高 校 卒 業	普 通	5 年
	専 門	3 年
中 学 卒 業	普 通	7 年

注：専門とは建築、化学の専門課程修了者、普通とは専門以外の課程修了者をいう。

ハ、ゴンドラ運転の特別教育修了証所持者であって、特定化学物質等作業主任者の資格を有する者

第 5 条 （資格の更改）

管理士は 4 年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間 1 年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し、次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。

原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は、その資格は取消される。

第 6 条 （証明書の返却）

管理士が所属する会社を退職する場合は、速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条 （証明書の再交付申請）

第 6 条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は、改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条 （証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合、工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条 （資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は管理士の資格を取消することができる。

1. 第 2 条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条 （その他の事項）

前各条の他、運営上必要な細部事項については別に定める。

シーリング技術管理士名簿

(290名)

会社名	氏名
愛知住宅工業(株)	瀬ノ上正一
(有) アイワ工業	白地幸男
アサヒボンド工業(株)	徳田精久
(株) エーピーシー商会	芥川慎一 仁多見憲二 磯部文男 小泉雅二
オート化学工業(株)	高木紀英 笠原 哲 塚田正博 森田栄一 伊藤彰彦 谷川邦彦
大阪御国商事(株)	吉村和弘
近江YKK工業(株)	山田哲雄 藤井久和
オギノセメン(株)	加藤幹也
化研マテリアル(株)	郷間隆一
鐘工業(株)	越賀恒雄
カネボウ・エヌエス(株)	脇 健答
カネボウ化成(株)	森重幸雄
木島ゴム工業用品	萩原昭文
共信商事(株)	古田裕康
コニシ(株)	河端次彦 谷口雅俊 勝又賢次 小林保夫 林信義 中野信二 井谷 誠 加藤昭彦 小杉誠一 福永陽一 山崎一昭 赤松郷也 日下部悟
小林通商(株)	小林 剛
讀岐YKK工業(株)	轟 清
サンスター技研(株)	石田謹吾 笹尾卓弘 石川真一 花田健治 榎本教良 三川孝信 加川順一 田村耕三 平井孝典 鳥山頭一夫 水野隆司 田島哲夫 市川隆吉 大 中義夫 西村良雄 金長祥光 和田裕 田中美樹夫 田中宏侍 野村昌弘 堀 恒美 佐藤 修 福元 寛 原田康裕 野口伸一郎 上田政則 川上一三 猪俣節雄 多田羅晋由 井上陽介 内藤彰彦 川井亮一 平生澄男 岩本康良 田中愛益
三洋工業(株)	藤里 稔 西野俊幸 小笠原利男 谷田部利夫 杉山博樹 斉藤健二 東 池田正博
昭石化工(株)	富田健一 山田明宏 勝井基雄 山田一洋 竹田和幸 佐山 滋 豊田耕二 渡辺 大 加賀見修由 大関守彦
信越化学工業(株)	河野純一 小林 勲 坂詰功晃 増田 透 鏈水寿博 石坂和夫 佐藤和治 鳥屋幸男 浅見嘉信 布施雅己

世界長(株)	西沢 修 里二 三夫 夫二 上田 文 沢 健 健 夫 横塚 貞 野 上 隆 野 夫 秋原 隆 辻 仁
セメダイン(株)	井上 久 世 橋本 剛 一 中村 光 隆 松田 修 蔵 森本 隆 良 松井 潤 介 小形 考 一 田 英 己 八代 秀 雄 松田 田 豊 小林 日 男 峰 岸 清 志 後藤 均 熊谷 建 基 川辺 征 善 川 端 博 安斉 忠 男 五 村 秀 樹 中田 欽 也 新 村 由 行 池谷 勝 巳 大 給 近 尚
ソニーケミカル(株)	大塚 浩 史
テイパ化工(株)	上田 武 北 野 真 一 山崎 保 充 堀 河 哲 雄 小池 弘 関 野 士 郎 小倉 臻 杉 中 肇 市川 益 己 井 口 幸 一
東芝シリコーン(株)	齊藤 修 渡辺 修 二 小笠原 義 治 小 野 部 盛 雄 清水 千 之 篠 沢 一 義 細川 清 大 工 園 昭 二 高井 直 夫 安 藤 秀 秋 吉川 敏 夫 仲 野 聖 樹 神崎 聖 下 屋 敷 惠 治 浜砂 岩 男 分 部 康 平 福島 通 一 大 木 直 也 横川 健 山 本 直 治 金子 啓 之 大 神 田 裕 司
(株) 東北協和工商	菅原 久 志
トーレ・シリコーン(株)	市橋 弘 雄 笠 井 慎 年 沢村 直 文 椎 名 健 介 久野 二 郎 広 田 正 行 空本 宏 吉 水 毅 山田 孝 男 吉 中 孝 次 伊比 輝 男 小 田 喜 幸 菅沼 紀 一 米 谷 敏 夫 藤井 秀 一 高 木 忠 雄 藤 春 奏 泉 寺 利 一 土 橋 善 雄 岩下 惠 立 岡 道 広 石田 忠 雄 近 藤 秀 俊 鈴木 輝 幸 大 石 泰 彦 須原 勇
東レチオコール(株)	窪 正 一 佐 藤 修 二 藪 穰 佐 々 木 幸 男 柳沼 由 夫 増 田 道 夫
(株) トクハン	山口 良 治
日東ポリマー工業(株)	与 義 守 信
日興化学工業(株)	篠田 正 己 松 村 博
ニッセイ技研(株)	岸原 淳 川 崎 隆 実
日東化成工業(株)	紺木 忠 興
日東電気工業(株)	山口 龍 之 助
日東電材(株)	加藤 一 美
日本添加剤工業(株)	古谷 健 一 山 本 浩 一 石田 博 岡 田 安 正 田中 昭 南
日本フランシール(株)	船越 力
野口興産(株)	野口 裕 二 広 瀬 貴 一

日立化成ポリマー(株)	舟木保雄	渋谷ミツ子	ヨコハマゴム工業品中部販売(株)	高森 寛	高木良知
福岡YKK工業(株)	山室義行	中田勝哲	ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	大原光良	斉藤章徳
フヨ一(株)	竹本富夫	北川 進		西村龍夫	藤原利夫
保土谷化学工業(株)	山中 明	古新居敦		秋原 優	深尾正幸
(有)三河英建	浜野幸市	立花豊松		沖 昌弘	大塚政幸
三星産業(株)	笹原信行	深堀圭介	ヨコハマゴム工業品中国販売(株)	武田善史	横山雅彦
八代YKK工業(株)	山根高志		ヨコハマゴム工業品九州販売(株)	井上哲二	
山内ゴム工業(株)	小嶋三郎		吉田工業(株)	渡辺英治	松本 智
	太田 誠			宮袋武裕	我妻道男
	矢島克美			千原 淳	在塚 均
	福原孝司			竹村正巳	山下康広
	梅野雅孝	鈴木典夫	(株)吉田産業青森	小鍛治秀明	鹿野裕市
	山田 博	渡部高久	(株)吉田産業久慈	中 雅之	三井田満男
	石山悦隆	尾野本末昭	(株)吉田産業建材センター	泉谷昇二	広野利昭
	羽原吉雄	井部才輝	(株)吉田産業五所川原	横谷 功	
	庄田 守	鎌田正徳	(株)吉田産業水沢	福津聖二	三上幸雄
	塩田 実	森 輝明	(株)吉田産業盛岡	下石畑信一	
	細田新也	五十嵐稔一		下斗米勝彦	長谷川政弘
ヨコハマゴム工業品北海道販売(株)	小林伸一	中川仁公		今川秀男	玉川 武
ヨコハマゴム工業品東京販売(株)	秋沢充敏	松居幸男		千田正志	
	松田敏行			吉岡一男	

シーリング管理士名簿

北海道支部

(10名)

会社名	氏名	
(株)協栄シール	吉無田泰長	
中林防水工業(株)	石田誠二	
(株)浜建	下井 守	
藤シーリング工業(株)	五十嵐努	
北海コーキング(株)	村上康夫	平塚安弘
北海道タイホー(株)	鳴海忠義	長尾忠幸
北眺防水工業(株)	菊地 薫	
(有)ヤマト工業	小山毅芳	

仙台支部

(5名)

会社名	氏名	
(有)泉クリナー	花村卓次	
大島金属商事(株)	高橋卓孝	
(株)郡山医療器製作所	安斉国紀	
(株)丸本工業所	本吉和康	千葉忠男

東京支部

(67名)

会社名	氏名	
アルファ産業(株)	山本 勇	秦 達也
	宮代 博	吉原直行
石黒建材社	石黒勝己	
(株)石田シール工事	石田 実	鈴木隆男
	田中義一	鈴木芳英
木元工業(株)	神尾 健	
協和シーリング工事(株)	手塚 透	
(株)栗崎工業	栗崎堅司	

京葉シール(株)	木下義晴	木下 剛
光栄工業(株)	内田鶴鶴	
(株)工業技術研究所	鈴木裕二	
興進工業(株)	五十嵐志郎	山村辰志
	高宮昇二	小山忠夫
	大坪徳夫	
山栄興業(株)	宇山広道	柏瀬謙一
	鶴田正行	上田稠身
(株)ジツクス	名倉 茂	松田英男
	岩崎元廣	
(有)新堂	神 繁夫	
タイガー工業(株)	堀 亨	
中央建材工業(株)	渡辺昭悟	
東邦防水総業(株)	広瀬忠夫	戸田 裕
	深津富正	
(株)トミヨシ商会	富岡勝人	富岡陸男
日シ工連	加藤由之助	
日本ビソー(株)	小松幹久	竹間由孝
平沢コーキング工業(株)	平沢敏男	勝視益明
北斗工業(株)	高橋和彦	大関 勉
マサル工業(株)	操上弘昌	鈴木賢一
	宮川文雄	大辻勇七郎
	雪入 毅	塚本 弘
	佐藤義政	中沢文隆
	木村芳孝	村山美二
	野垣善輝	斉藤誠一
	細谷英雄	小峰 茂
	坪山和幸	中島一三
	苅谷 純	
(株)マツダパラウオータ	福山政隆	松田和彦
(株)山形防水	竹内利三	東海林幸作
理建工業(株)	木村正一	室井幸雄
瀝青建材(株)	嶋崎裕一	

名古屋支部

(37名)

会社名	氏名
朝日建物(株)	朝倉英心 梅村 浩
石動コーキング(株)	仁村 孝 萱原 寛
加賀防水工業(株)	諸橋茂一 八田次郎
(株) 栗原	藤尾 寛
(株) 三栄	栗原 真 山下晴夫
山新工業(株)	原 友次 関 博夫
(株) 静岡コーキング工業	堀 忠夫 村 武和
(株) 志水化工	安藤時敏 沢田洋行
(株) シリコンエンジニア	加藤忠司
(有) シンコー工業	堀川信昭 太田広道
津田硝子(株)	清水茂喜
中央建材工業(株)	匂坂良造
(株) 東海工事	新保喜美雄 山口英夫
名古屋日本化成(株)	竹田正治
(株) 日本ビルサービス	阿野田卓男 犬飼健一
北陸ビル防設(株)	橋本孝由 杉田好隆
(株) ビルメン	勘解由信幸
フジ工業(株)	山口孝志
不二興業(株)	坂口 貢
丸協	田崎 隆
	守山彰治 清水洋紀
	岡 徳
	河原昇一
	松本 勉
	見角 弘

大阪支部

(63名)

会社名	氏名
大阪アルファ産業(株)	内田勝久 袖山衛彦
大阪工業(株)	中田安信 長棟利彦
(株) 大阪シール	阪井敏夫
(株) 大阪防水工業所	水口峰彦 野上條司
	佐伯忠雄 塩谷昭文
大阪ユニロン(株)	金山満昭
大芝建材(株)	中山親治
(株) 京都シール	竹田征司
共立産業(株)	木寺玄太
(有) 高分子工材	益田憲司 松川光雄
	山本武雄
神戸建設(株)	高木 修
三幸物産(株)	横谷興彦
三大工業(株)	大西利昭
椎名コーキング商会	歳川 博
鳴沢シリング商会	北川和弘
昌栄亀井(株)	亀井一身
新和化工(株)	黒木俊行
セキシュウ技研(株)	田中秀徳
(株) 大一防水工業	上田正義 上田三郎
(株) 大協建材	安東延治 吉田 功
	上西雅司 川井一哉
	浅田政幸
(株) 東光商会	志水利達 高月春彦
	和田俊治 長江誠一
	早平淳一 北野裕一

(株) 東洋防水	谷口忠文 横道哲幸
	村田康保
(株) 特殊技研	西山義雄
徳島大三工業(株)	塩月辰男
(株) 中出商会	中出敏一
日本化成工業(株)	松下 実 三谷孝一
	岡田良平 山村博司
	岡田城治 山下雄治
	岡田誠治 小森 勝
	久保欣也 香西 進
	北田勝行 北田勝行 大平利久
日添工業(株)	浅見和宏
白洋建材(株)	井上信夫 小阪幸治
(有) 豊栄シール	笹崎幹雄
(株) 美作	小林三千勝
八尾コーキング	中元幸弘
ユニオン商事	杉原良一
(有) 吉川美装商事	渡部俊夫

広島支部

(17名)

会社名	氏名
青盛建材(株)	月本満俊 秋山 喆
	齊藤秀峰
朝日産業(株)	小川隆三
(有) 鳥城防水工業	原 俊之
(株) サンゼオン	佐々木守 佐々木淳
	梅本祐二
シーリング工業(株)	小田野哲夫 林 利明
中国特殊防水産業(有)	海部信章
(株) ツキタニ工業	世羅敏則
広島アルファ産業(株)	狭間述史
ホーアン産業(株)	田中秀幸
(株) マルエス工業	小野田真治
丸福建材工業(株)	長島隆良
(株) ヤマザキ技販	山崎雅弘

福岡支部

(14名)

会社名	氏名
(有) 仮屋防水工業所	仮屋紘一
(株) 佐藤防水	佐藤良一
昭和日本化成(株)	吉川繁満 山嶺知行
	嘉村 昇
テイパ化工九州販売(株)	龍 健一
(有) 野田工業所	諏訪憲雄
B J 工事(株)	下田敏彦
南日本化成(株)	柳橋国博 白坂和也
	東 正博
宮本産業(株)	宮本宣博
(株) ムトウ	武藤 貞 檜原行雄

変成シリコン系 2 成分形シーリング材

ニッシーター・MS

ポリサルファイド系 2 成分形シーリング材

ニッシーール

ポリウレタン系 2 成分形シーリング材

ニッシーター・ウレタン

ブチル系 1 成分形シーリング材

スレニシール

〈製造元〉

日興化学工業(株)

■ 135 東京都江東区白河 4-9-5
■ 105 東京都港区新橋 6-10-3 (遠江ビル)

実績と信頼のシーリング材

ポリサルファイド系シーリング材

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーター PS 2000

ポリウレタン系シーリング材

JIS-A-5758 8020認定品

ボニーシーター U 3000

変成シリコン系シーリング材

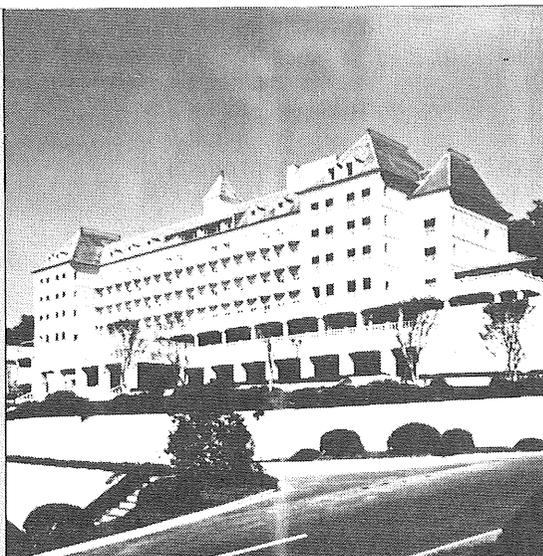
JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーター MS 3000

エポキシ系注入剤

JIS-A-6024規格合格品

エポセット RH 200D



テイパ化学株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄 3-11-28
TEL 大阪 (06) 328-1118 (代表)
東京営業所 〒105 東京都港区新橋 6-10-3 (遠江ビル)
TEL 東京 (03) 431-9357 (代表)

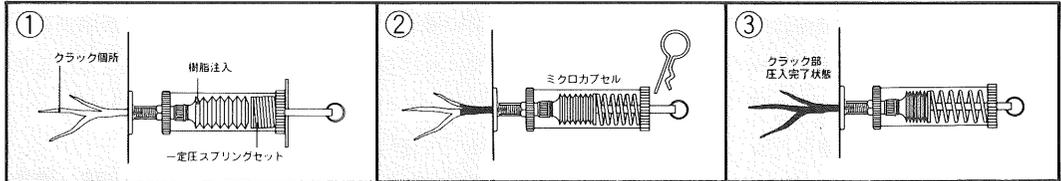
特許・実用新案・意匠・商標登録出願中

浮き・クラック……外壁の注入補修なら

東海のマイクロカプセル工法

〈TOHKAI'S MICRO TECHNICS 略称：東海のマイクロ工法(TMT)〉

TMTは注入工法の革命！貴社の21世紀へのスタートです！！

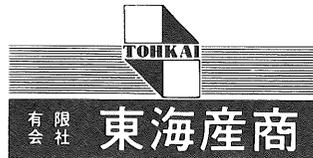


モルタル、タイルの
浮き注入には

マトロン システム

東海のマイクロ工法樹脂供給メーカー

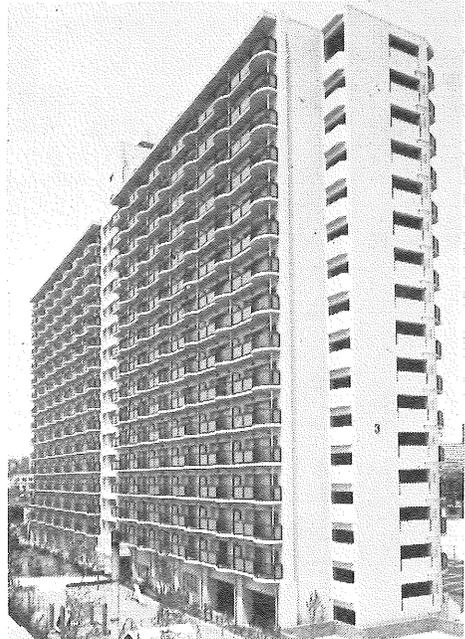
アイカ工業(株)	サンスター技研(株)
アサヒボンド工業(株)	セメダイン(株)
カネボウ・エヌエスシー(株)	東邦天然ガス(株)



〒536 大阪市城東区蒲生4-7-18
電話 06(931)0246 FAX 06(931)0566

- 屋上防水工事
- 外壁防水工事
- シーリング工事

外壁補修工事業協同組員
 全国パラテックス防水工事業協同組員
 東日本建設防水協同組員
 東日本シーリング工事業協同組員
 ゴムアスファルト防水工事業協同組員
 全日本プレハブ建築防水協会会員
 全国アロンコート・アロンウォール
 防水工事業協同組員
 東京都知事許可 般59第36279号



株式会社 ズックス

取締役社長 出水秀夫
東京都渋谷区代々木1-30-1
TEL 03 (370) 0121 (代)



シーリング 編集後記

振り返ってみるとアツと言う間の1年間で、やはり年をとるほどに時間の経過も早くなるものなのか。目の覚めるような景気のない話にはとんとご無沙汰で、ただ慌しさのみに追いまわられてきたような毎日。会員の皆様方におかれても似たり寄つたりの状況とご推察申しあげる次第で、お隣さんの芝生の色も……。しかし、当広報委員会としては、充実の年であったと自負すると

ころで、一応の成果を挙げ得たものと確信している。まず、何と言っても全力投球で取組んだ「シーリング材ハンドブック」の発刊。最新情報を盛込んだ実用書として当委員会の永年の念願が実現したのと言え、清水建設・松本洋一氏ら関係各位のご指導、ご協力は感謝に堪えない。一方、お詫びしなければならないのは、ハンドブックへの傾注でシーリングニュース夏号の発行が果せず、秋号との合併となったこと。また、技術委員会とNSK、外防協との共同試験「シーリング材と仕上塗材と

の取合い」については、本誌ならびにシーリングニュースでその結果を発表、関係各方面からの反響も出始めているところである。本誌ならびにシーリングニュースについては「役に立つ広報誌」を目指し、技術的成果の効果的な掲載を心掛けてきたが、本年も皆様にご活用頂ける内容で取組んで行きたく、よろしくお願い申しあげたい。

昭和62年1月

広報委員長
広報副委員長
広報委員
広報委員

山内 雅夫
齊藤聡一郎
小林 茂之
船越 力

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカーおよび取扱業者が加入しており、全国に支部を有する全国的組織であります。

事業

- シーリング管理士の養成
- 日本シーリング工事業団体連合会と連携、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS、JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究

発行図書

- 機関誌「シーリング」(年1回)
- シーリングニュース(年3回)
- 建築用シーリング材とその正しい使い方
- シーリング材ハンドブック
- シーリング管理士用テキスト

シーリング
SEALING

第24号 (第19巻・第24号)

発行/日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田2-2-17 (共同ビル万世)

TEL 03 (255) 2841~2 FAX 03 (255) 2183

編集/日本シーリング工業会広報委員会

制作協力・広告/新 樹 社 東京都中央区銀座8-15-4

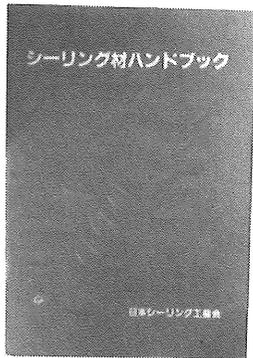
☎03 (542) 9011(代)

昭和62年1月15日印刷
昭和62年1月20日発行

非 売 品

< 禁 無 断 転 載 >

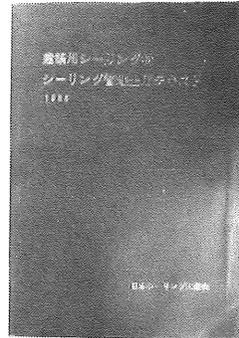
新装・シーリング材 ハンドブック



従来のシーリングハンドブックを全面的に内容改訂、最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書が完成しました。シーリング材とその選び方に重点を置き、誌面もA5判に拡大、解り易く見易い構成になっています。お申込みはお早目に！

頒布価格 900円

新・建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1986



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を旨とした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,000円

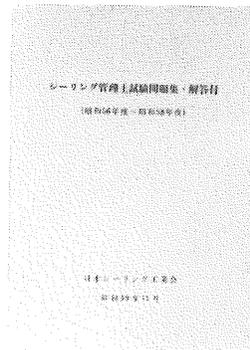
積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

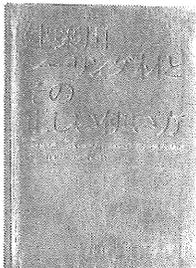
シーリング管理士試験 問題集・解答付(56~60年度)



問題集として最近5年間(56~60年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,500円

建築用シーリング材と その正しい使い方

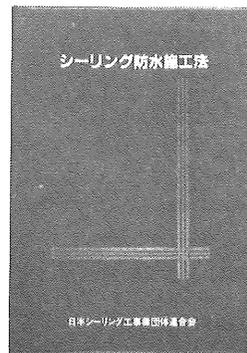


わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリ

ング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授 小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめ、わが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)

シーリング防水施工法



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▶建築物の基礎知識▶シーリング防水の基礎知識▶良いシーリング防水工事のためのディテールシート▶故障と補修一の構成。

日本シーリング工事団体連合会発行
頒布価格 1,500円

(送料は別途申し受けます)

未

知

へ

の

挑

戦

光栄会

〈防水材、シーリング材、
工器具、関連資材販売〉

光栄
ショールーム (b)

TEL 03(928)1342

光栄建設株式会社

TEL 03(928)2257 (代)

〈防水材、シーリング材、
関連資材販売〉

光栄商事株式会社

TEL 03(928)5811 (代)

光栄加工株式会社

TEL 03(920)2671 (代)

〈関連企業提携団体〉

グローリー会

光栄グループ

取締役会長 内田 鶴 鶴

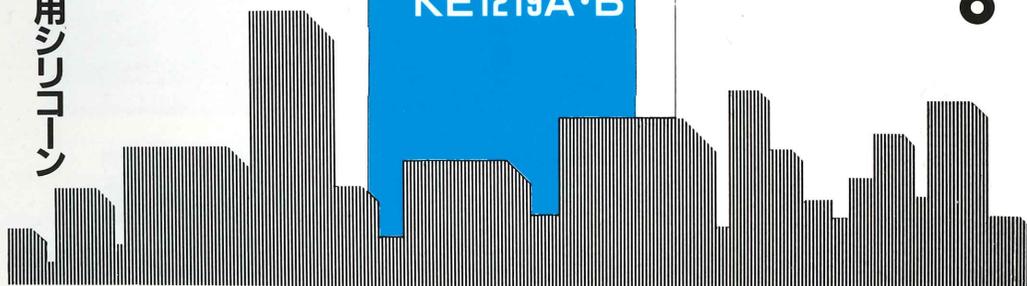


信越シリコーン

多彩に実績を築いて20余年。

よりキメ細かく、信頼にお応えする建築・土木用シリコーン

●1成分形 一般用 酢酸タイプ	KE42
●1成分形 一般用 オキシムタイプ	KE45
●1成分形 高透明 酢酸タイプ	KE420
●1成分形 防カビ用 酢酸タイプ	KE4288
●1成分形 防カビ用 オキシムタイプ	KE4588
●1成分形 プラスチック用 アルコールタイプ	シーラント72
●2成分形 建築・土木用 アミノキシタイプ	シーラント70
●2成分形 水平目地用 アミノキシタイプ	シーラント701
●2成分形 耐火目地用 アミノキシタイプ	シーラント74
●3成分形 油性補修用 アミノキシタイプ	シーラント79
●1成分形 コーティング用 水性タイプ	Mコート56
●1成分形 コーティング用 溶液タイプ	Sコート57
●1成分形 ライニング用 オキシムタイプ	KE4573
●2成分形 難燃・充填シール用(フォーム)	KE52A・B
●2成分形 難燃・充填シール用(ゴム)	KE1219A・B



信越化学工業株式会社

シリコーン事業本部 東京シーラント部

〒101 東京都千代田区神田美倉町1番地 (ブルミエK1ビル)

03-256-3651

大阪支店 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル) 〒530 (06) 315-3071
 名古屋支店 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館) 〒450 (052) 581-6511
 福岡支店 福岡市博多区綱場町2-2(福岡第一ビル) 〒812 (092) 291-8442

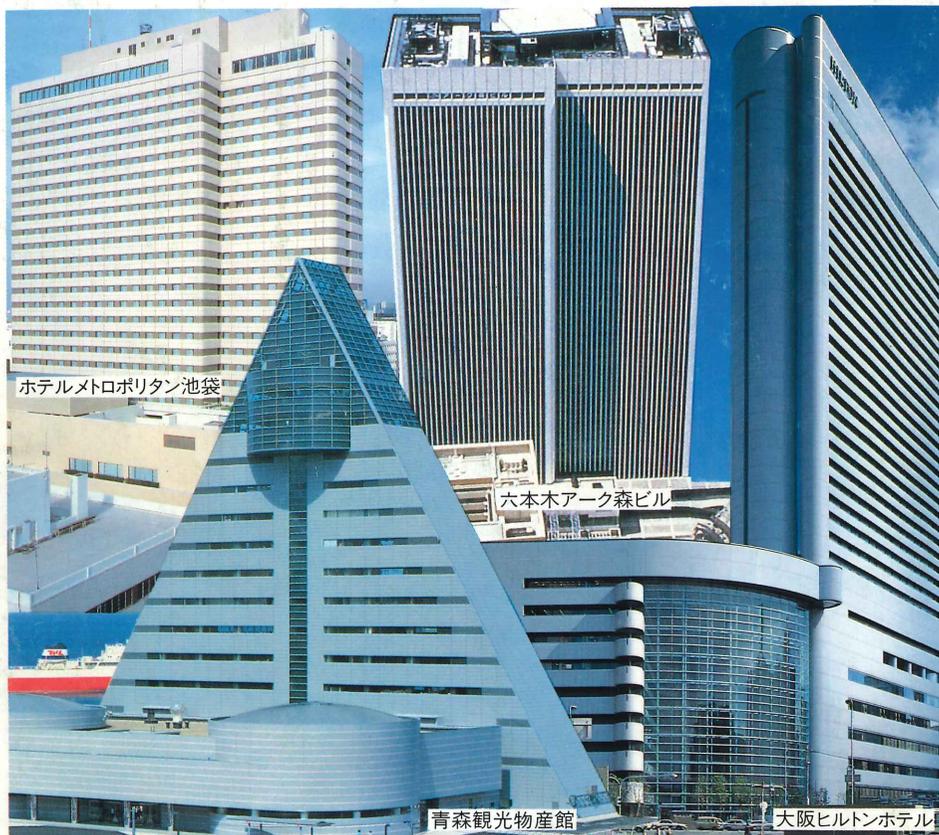
札幌営業所(011)221-6471 長野営業所(0262)28-9104
 仙台営業所(0222)64-2777 北関東営業所(0273)63-2731
 新潟営業所(0252)47-3321 広島営業所(082)248-3931
 北陸営業所(0776)26-1551 高松営業所(0878)22-3613

sunstar

耐候力。

変化する、長年のきびしい気候風土に耐えること。サンスターのシーリング技術は耐候性の追求を基本テーマとしています。

耐候性で選ばれる、サンスターのシーリング材。



急速に進歩する、建築の様式、工法、部材の要求にこたえて、サンスターのシーリング材は、いま7系統17品種。
サンスターは、シーリング材の総合メーカーです。

建築用弾性シーリング材

ベタシール[®]
ペンギンシール

サンスター技研株式会社

本社：大阪府高槻市明田町7番1号 TEL. 0726(81)0351
東京支店：東京都港区三田1丁目3番35号(ヤナヒビル) TEL. 03 (453)9301
名古屋支店：名古屋市中千種区萱場2丁目4番7号 TEL. 052(722)6815
大阪支店：大阪府高槻市川西町1丁目35-8 TEL. 0726(84)0600